第1種指定化学物質（新規追加候補に対する有害性根拠）

参考資料4②

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

■発がん性

番号	物質名	化管法クラス	IARC	産衛学会	ACGIH	EPA			NTP	EU	
						1986	1996	2005			
P002	アクリル酸2－エチルヘキシル	2	2B								
P011	4－アリル－1，2－ジメトキシベンゼン	2	2B						R		
P021	9，10－アントラキノン	2	2B	2B						1B	
P048	N－（ホスホノメチル）－グリシン	2	2A			D					
P065	2，2’－イミノジエタノール	2	2B	2B	A3						
P076	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	2	2B	2B						1B	
P081	5,5-ジフェニル-2,4-イミダゾリジンジオン（別名：フェニトイン）	2	2B						R		
P083	1，2－ジブロモエタン	2	2A	2A	A3			L	R	1B	
P103	炭化ケイ素	2	2A		A2						
P109	1，1，2，2－テトラクロロエタン	2	2B	2B	A3			L			
P111	テトラフルオロエチレン	2	2A	2B	A3				R		
P119	テトラヒドロフラン	2	2B		A3			S		2	
P126	トリブロモメタン	2	3		A3	B2					
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	2	2B								
P138	トリナトリウム＝2，2’，2’’－ニトリロトリアセタート	2	2B							2	
P138	ニナトリウム＝水素＝ニトリロトリアセ	2	2B								
P138	ナトリウム＝[ビス（カルボキシメチル）アミノ]アセタート	2	2B								
P145	N，N－ビス（ヒドロキシエチル）（ココ－アミド）	2	2B								
P172	2，2，3，3，4，4，5，5，6，6，7，7，8，8－ペンタデカフルオロオクタン酸	2	2B	2B						2	
P184	メチルイソブチルケトン	2	2B	2B	A3			I			
P202	メラミン	2	2B								修正（番号を訂正）
P206	ジメチル＝スルファート	2	2A	2A	A3	B2			R	1B	修正（番号を訂正）

備考
発がん性に関するIARC等の分類はハザードによる分類であり発がん性の強さや発がんリスクの大きさを示すものではない。
以下に各機関における発がん性のクラス分類の定義を記す。
IARC
1 ：作用因子はヒト発がん性がある
2A：作用因子は恐らくヒト発がん性がある
2B：作用因子はヒト発がん性の可能性がある
3 ：作用因子はヒト発がん性については分類することができない
4 ：作用因子は恐らくヒト発がん性がない

日本産業衛生学会
1：人間に対して発がん性があると判断できる物質
2：人間に対しておそらく発がん性があると判断できる物質
2A： 証拠が比較的十分
2B： 証拠が比較的十分でない
ACGIH
A1 ：確認されたヒト発がん性因子
A2 ：疑わしいヒト発がん性因子
A3 ：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
A4 ：ヒト発がん性因子として分類できない
A5 ：ヒト発がん性因子として疑えない
NTP
K：ヒト発がん性因子であることが知られている
R： 合理的にヒト発がん性因子であることが予測される
EU CLP
1A：ヒトへの発がん性が知られている物質。
1B：ヒトへの発がん性があるとみなされるべき物質。
USEPA
2005 年 ガイドライン
CaH：ヒト発がん性である
L：ヒト発がん性である可能性が高い
S：発がん性を示唆する証拠がある
I：発がん性を評価する情報が不十分
NL：ヒト発がん性の可能性が高くない因子
1996年 草案ガイドライン
K/L：ヒト発がん性が知られている/可能性が高い
CBD：ヒト発がん性を決定できない
NL：ヒト発がん性の可能性が高くない
1986年 ガイドライン
A：ヒト発がん性因子
B：恐らくヒト発がん性因子
B1：疫学的研究で限定されたヒト発がん性の証拠がある作用因子
B2：動物での十分な証拠があり、かつ疫学的研究でヒト
での発がん性の不十分な証拠があるか、またはない作用因子
C：ヒト発がん性の可能性がある因子
D：ヒト発がん性に分類できない
E：ヒト発がん性なしという証拠がある

■変異原性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源	データの有無			キースタディの該否	試験方法														試験結果・結論				文献	備考	メモ	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源名	データの有無		掲載ページなど		試験物質			系	方法		材料		処理条件	用量	TGなど	GLP	その他	試験結果・結論	備考	引用原文	信頼性ランク				
							物質名	溶媒	純度(%)		方法	その他	動物種・系統など	細胞種・株など														
P007	アセチルアセトン	NITE化学物質評価促進事業					アセチルアセトン			in vivo	in vivo 小核試験		mouse	Peripheral blood cells				no data		positive				US NTP			1
P007	アセチルアセトン	NITE化学物質評価促進事業					アセチルアセトン		99.2	in vivo	in vivo 小核試験		mouse	blood				yes		positive				OECD: SIAR (SIDS Initial Assessment Report)		2003	1
P007	アセチルアセトン	化審法スクリーニング評価結果								in vivo	小核試験									陽性				SIDS, NTP,Patty, IUCLID,GHS,安衛法,ECHA		平成30年11月16日	1
P007	アセチルアセトン	政府GHS分類																			区分2	In vivoでは、ラットの吸入ばく露による優性致死試験で軽微な影響がみられたが、対照群と被験物質投与群の間で値のばらつきが大きく、統計学的有意差が得られたと評価されておらず、陽性の判断はされていない（SIDS (2003)）。マウス精原細胞の染色体異常試験で、陰性（SIDS (2003)）。マウス、ラットの吸入ばく露あるいは腹腔内投与による骨髄細胞を用いた小核試験では、マウスの腹腔内投与による試験のみで陽性。他は全て陰性（SIDS (2003)、ACGIH (7th, 2011)、PATTY (6th, 2012)）。マウスの強制経口投与による末梢血を用いた小核試験では、陽性結果が報告されている（NTP DB (Access on July 2015)）。In vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験では概ね陰性であるが、哺乳類培養細胞の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験では陽性である（SIDS (2003)、PATTY (6th, 2012)、ACGIH (7th, 2011)、NTP DB (Access on July 2015)）。以上より、in vivoではマウスの小核試験では経口投与、腹腔内投与で陽性結果が存在すること、in vitroで染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性であることから、本物質は染色体異常を誘発すると考えられ、区分2とした。 なお、旧分類の区分を見直した。			平成27年度	1
P055	1-((6-Chloro-3-pyridiny)methy)-N-nitro-2-imidazolidinimine	EU ECHA Information on Registered Substance	あり		001 Other | No specified result type	x				in vivo										陽性	Toxicity: yes			[Reference Type]:other, [Title]:Unnamed	「Toxicity: yes」が陽性を示すかは不明。		1
P055	1-((6-Chloro-3-pyridiny)methy)-N-nitro-2-imidazolidinimine	EU ECHA Information on Registered Substance	あり		002 Other | No specified result type	x				in vivo										陽性	Toxicity: yes			[Reference Type]:other, [Title]:Unnamed	「Toxicity: yes」が陽性を示すかは不明。		1
P109	1，1，2，2－テトラクロロエタン	政府GHS分類								in vivo/vitro											区分2	In vivoでは、ラットの優性致死試験で陰性、ラットの骨髄細胞の染色体異常試験で弱陽性（雄）、陰性（雌）、マウス（雄雌）の末梢血の小核試験で陽性、マウス肝細胞の不定期DNA合成試験で陽性、陰性、マウス及びラットの肝臓、腎臓、胃、胃のDNA結合試験で陽性である（環境省リスク評価第8巻（2010）、ATSDR (2008)、SIDS (2005)、NTP DB (Access on September 2014)、IARC 71 (1999)）。In vitroでは、細菌の復帰突然変異試験で陽性、陰性、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験、染色体異常試験で陽性、姉妹染色分体交換試験で陽性である（環境省リスク評価第8巻（2010）、SIDS (2005)、ATSDR (2008)、CICAD 3 (1998)、NTP DB (Access on September 2014)）である。以上より、ガイダンスに従い、区分2とした。			平成26年度	1
P109	1，1，2，2－テトラクロロエタン	政府GHS分類								in vivo/vitro											分類できない	In vivo試験として、ラットの吸入ばく露による優性致死試験で陽性（SIDS（Access on June 2009））、マウスの経口投与による肝UDS試験で陽性（SIDS（Access on June 2009））、マウスおよびラットの体細胞DNA-への結合試験では陽性（IARC 71（1999））の結果が得られている。また、14週間の混餌によるマウス末梢血小核試験では陽性であった（NTP TOX-49（2004））。本陽性知見は証拠の重み付けに基づく専門家判断により区分とするのにヒ分な見とは認められず、したがって、分類できないとした。同様の見解はATSDR（2008）にも記されている。なお、in vitro試験では、エームス試験で陽性および陽性の高頻度が、CHO細胞を用いた染色体異常試験（SIDS（Access on June 2009））およびマウスL5178Yリンパ腫細胞を用いた遺伝子突然変異試験（NTP TOX 49（2004））でいずれも陽性、BALB/c3T3細胞を用いた形質転換試験では陽性および陽性の両方の報告（ACGIH（2001））がある。			平成22年度	1
P126	トリブロモメタン	政府GHS分類								in vivo/vitro											区分2	In vivoでは、マウスの骨髄細胞を用いた小核試験で陽性、ラットの骨髄細胞を用いた染色体異常試験で陽性、マウスの骨髄細胞を用いた染色体異常試験で陽性、マウスの骨髄細胞を用いた姉妹染色分体交換試験で陽性、陽性の結果、ラットの肝臓、腎臓を用いたDNA損傷試験で陽性、ラットの肝臓を用いた不定期DNA合成試験で陽性である（NITE有害性評価書（2008）、IARC 71 (1999)、ACGIH (7th, 2015)、ATSDR (2005)、DFGOT vol. 7 (1996)）。In vitroでは、細菌の復帰突然変異試験で陽性、陽性、哺乳類培養細胞のマウスリンフォーマ試験で陽性、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性である（NITE有害性評価書（2008）、IARC 71 (1999)、ACGIH (7th, 2015)、ATSDR (2005)、DFGOT vol. 7 (1996)、PATTY (6th, 2012)、産衛学会許容濃度の提案理由書（1997））。以上より、ガイダンスに従い区分2とした。			平成29年度	1
P132	2－[[3－(トリメトキシシリル)プロポキシ]メチル]オキシラン	NITE化学物質評価促進事業					2－[[3－(トリメトキシシリル)プロポキシ]メチル]オキシラン		100	in vivo	in vivo 小核試験		mouse	Bone marrow				yes		positive				OECD: SIAR (SIDS Initial Assessment Report)		2006	1
P132	2－[[3－(トリメトキシシリル)プロポキシ]メチル]オキシラン	化審法スクリーニング評価結果								in vivo	小核試験									陽性				SIDS,ECHA	in vitro で、SCEsを誘導する	平成28年10月28日	1
P145	N，N－ビス(ヒドロキシエチル)(ココーアミド)	政府GHS分類								in vivo/vitro											区分2	In vivoでは、14週間経皮適用による雌雄マウスの末梢血赤血球小核試験で雌雄ともに陽性である（NTP TR 479 (2001)、IARC 101 (2012)）。In vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞のマウスリンフォーマ試験、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験でいずれも陽性である（NTP TR 479 (2001)、IARC 101 (2012)）。以上より、In vivo体細胞変異原性試験で陽性を示すが、in vitroではいずれも陽性結果であり、ガイダンスに従い、区分2とした。			平成27年度	1
P164	ヘキサヒドロ－1，3，5－トリス(2－ヒドロキシエチル)－1，3，5－トリアジン	NITE化学物質評価促進事業					ヘキサヒドロ－1，3，5－トリス(2－ヒドロキシエチル)－1，3，5－トリアジン			in vitro	Ames試験		S. typhimurium TA 98							positive	比活性値：3390 rev/mg			US NTP			1

■変異原性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源	データの有無			キースタディの該否	試験方法													試験結果・結論				文献	備考	メモ	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源名	データの有無		掲載ページなど		試験物質			系	方法		材料		処理条件	用量	TGなど	GLP	その他	試験結果・結論	備考	引用原文	信頼性ランク				
							物質名	溶媒	純度(%)		方法	その他	動物種・菌種など	細胞種・株など													
P181	ポリ(オキシメチレン)	NITE化学物質評価促進事業					ポリ(オキシメチレン)		90	in vitro	Ames試験		S. typhimurium TA 100						Source of Substance: Tokyo Kasei Kogyo Co.,Ltd. / Lot No. :	positive	比活性値:12600 rev/mg			厚労省:変異原性試験結果			1
P181	ポリ(オキシメチレン)	厚労省変異原性試験								in vitro	Ames試験									強陽性	比活性値:12600 rev/mg						1
P181	ポリ(オキシメチレン)	厚労省変異原性試験								in vitro	圧乳類染色体異常試験									強陽性	D20値:0.0026 mg/ml						1

■生殖発生毒性（CLP定性）

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		Repr			Repr	
番号	物質名称	1A	1B	2	化管法クラス	
P034	(4-ethoxyphenyl)(3-(4-fluoro-3-phenoxyphenyl)propyl)dimethylsilane		●		2	
P040	diphenylether; octabromo derivate		●		2	
P041	octamethylcyclotetrasiloxane			●	3	
P056	thiacloprid (ISO); (Z)-3-(6-chloro-3-pyridylmethyl)-1,3-thiazolidin-2-ylidenecyanamide; {(2Z)-3-[(6-chloropyridin-3-yl)methyl]-1,3-thiazolidin-2-ylidene}cyanamide		●		2	修正（番号を訂正）
P091	1,2-dimethoxyethane; ethylene glycol dimethyl ether; EGDME		●		2	
P172	perfluorooctanoic acid		●		2	
P192	N-methyl-2-pyrrolidone; 1-methyl-2-pyrrolidone		●		2	
P194	carbendazim (ISO); methyl benzimidazol-2-ylcarbamate		●		2	
P199	2-(2-methoxyethoxy)ethanol; diethylene glycol monomethyl ether			●	3	
P200	bis(2-methoxyethyl) ether		●		2	修正（番号を訂正）

■生殖発生毒性（根拠）
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報			根拠情報		
番号	物質名称（CAS）	化管法クラス	出典	根拠情報	
P034	（4－エトキシフェニル）｛3－［（4－フルオロ－3－フェノキシ）フェニル］プロピル｝（ジメチル）シラン	2	食品安全委員会農薬評価書（平成23年度）	各種毒性試験結果から、シラフルオフェン投与による影響は、主に肝臓（重量増加等）及び精巣（重量減少等）に認められた。発がん性、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。 12. 生殖発生毒性試験 （1）2 世代繁殖試験（ラット） Wistar ラット（一群雌雄各 25 匹）を用いた混餌（原体：P 世代：0、200、1,000及び 5,000 ppm、F1世代：0、200、1,000 及び 2,000 ppm）投与による 2 世代繁殖試験が実施された。F1 世代は 2 回交配を実施し、出産させた（児動物：F2a、F2b）。 本試験において、親動物では 5,000 ppm 投与群雄で精巣絶対及び比重量減少等が、雌で摂餌量減少等が、児動物では 5,000 ppm 投与群雌雄で体重増加抑制が認められたので、無毒性量は親動物及び児動物の雌雄とも 1,000 ppm（P雄：72.6 mg/kg 体重/日、P 雌：100 mg/kg 体重/日、F1雄：67.6 mg/kg 体重/日、F1雌：94.2 mg/kg 体重/日）であると考えられた。 https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20110325734	
P040	オクタブロモジフェニルエーテル類	2	政府GHS分類（平成23年度）	【区分1B】 妊娠ラットの器官形成期に経口投与した試験において、母動物に一般毒性として体重増加抑制が認められた高用量（25 mg/kg/day）で高率の胚吸収が観察され、さらに後肢の奇形、側脳室の軽度拡張、肩甲骨の奇形と骨化不全の発生率が有意に増加したの記載がある（EU-RAR（2003））。これらの発生毒性は母体毒性とは関連がない可能性が示唆されることから、EU分類ではRepr. Cat. 2; R61とした（EU-RAR（2003））との記載もあることから区分1Bとした。なお、ウサギの器官形成期に経口投与した試験では、催奇形性は認められなかったが、母動物が体重増加抑制を示した用量で少数例ながら早産の発生が観察されている（EU-RAR（2003））。	
P56	N－｛3－［（6－クロロ－3－ピリジル）メチル］－1，3－チアゾリジン－2－イリデン｝カルバモニトリル	2	政府GHS分類（平成30年度）	【区分1B】 【分類根拠】 （1）、（2）より、ラットの2世代試験では、親動物の一般毒性（肝臓・甲状腺への影響）発現用量でF1、F2児動物に出生時生存率の低下が、またP雌親動物に難産による死亡又は切迫屠殺例が認められた。また発生毒性試験では、母動物毒性がみられる高用量群で、（3）では胎児に骨格奇形の頻度増加が、（4）では出生児の成長遅延、性成熟の遅延、歯の異常が認められた。以上、本物質はラットの2世代試験及び1世代試験で雌親動物に重篤な一般毒性影響がない用量で分娩障害による死亡や瀕死状態を生じたこと、並びに母動物毒性用量で催奇形性がみられたことから、本項は区分1Bとした。再分類では、新たにList 1の情報源からデータが得られたため区分を変更した。 【根拠データ】 （1）ラットを用いた経口（混餌）投与による2世代生殖毒性試験（50～600 ppm）において、P世代の雌親動物では、300 ppm群で死亡3例、切迫屠殺1例、600 ppm群で切迫屠殺3例が生じ、いずれも難産によるもので、投与による著しい母体毒性のためと考えられた。P及びF1親動物の生存例では300 ppm以上に肝細胞肥大（雌雄）、甲状腺濾胞上皮の肥大（雌）、600 ppmで甲状腺濾胞上皮の肥大（雄）が認められた。F1、F2児動物には600 ppmで出生時生存率の低下が認められた（食品安全委員会農薬評価書（2018）、JMPR（2006））。 （2）（1）の2世代試験で認められた母親動物の難産について、その再現性を確認するため、ラットを用いた混餌投与による1世代試験（25～1,000 ppm）が行われた。その結果、中用量の300 ppm（2世代試験では難産例がみられた）では分娩困難例はみられなかったが、1,000 ppm群では雌6例が死亡又は切迫屠殺され、うち4例が分娩開始時又は分娩開始後24時間以内に死亡した（食品安全委員会農薬評価書（2018）、JMPR（2006））。 （3）妊娠ラット、又は妊娠ウサギに強制経口投与した発生毒性試験において、ラットでは母動物に一過性の体重増加抑制と摂餌量減少がみられた高用量の50 mg/kg/dayで、胎児に後期吸収胚数の増加、骨化遅延、骨格変異に加え、四肢骨形成異常（上腕骨、橈骨及び肩甲骨）発生頻度増加が認められた（食品安全委員会農薬評価書（2018）、JMPR（2006））。一方、ウサギの試験では高用量の45 mg/kg/day群で、母動物に流産（2/24例）、全胚吸収（3/24例）、胎児に着床後損失率の増加、骨化遅延がみられたが、骨格奇形はみられなかった（食品安全委員会農薬評価書（2018）、JMPR（2006））。 （4）妊娠ラットに妊娠0日から出生児の離乳まで経口（混餌）投与した発達神経毒性試験（50～500 ppm：4.4～40.8 mg/kg/day）において、母動物に体重増加抑制がみられた300 ppm以上で、児動物には体重増加抑制（雌雄）、包皮分離遅延（雄）、膣開口遅延（雌）、600 ppmでは切歯の配列異常（雄）が認められた（食品安全委員会農薬評価書（2018）、JMPR（2006））。 【参考データ等】 （5）EU CLP分類では本物質はRepr. 1Bに分類されている。	修正（番号を訂正）

P091	1，2－ジメトキシエタン	2	REACH規則 SVHC指定根拠 （2012年）	It has been demonstrated that most of the toxic effects of the monoalkyl glycol ethers arise as a result of the metabolic conversion of the glycol ether into a substituted acetic acid derivative (Klassen 2001). The reproductive toxicity of EGDME is attributed to the metabolite 2-methoxyacetic acid, which is generated from 2-methoxyethanol (EGME). The metabolite 2-methoxyacetic acid has shown evidence of accumulation in animals and humans (Ferro Corporation 2001). Information about the metabolic pathways and nearly identical developmental effects at similar dose levels indicates that the repeated-dose, reproductive, and developmental toxicity of EGDME can be ascertained from the results of studies on EGME. The similarity in effects and dose levels for the perinatal toxicity in rats (Leonhardt et al. 1991) argue that EGME is an excellent surrogate for repeated dose toxic effects of EGDME. ⇒EUでは、当該物質が酸化的代謝によって2-メトキシエタノール（エチレングリコールモノメチルエーテル、現行PRTR物質1-58として、生殖発生毒性クラス2）が生じるため、その影響による生殖発生毒性をSVHC指定の根拠としている。 Litter examinations: There was no effect on foetal development and body weight observed at any dose level. The vitality of the litters within the first 24 hours after Caesarean section at 50 ppm exposure was considerably decreased. In the 50 ppm dose group 10 foetuses had an abnormal orientation of one or both fore-paws. Two foetuses showed skull malformations. Irregularity of the skull ossification 8 foetuses of the high dose group. 2 foetuses of the high dose group had red-bordered spots on the skin (mandible, neck and below the eyes). ⇒一方で、本物質についても児動物への奇形が生じている。 https://echa.europa.eu/candidate-list-table/-/dislist/details/0b0236e1807daf82 https://echa.europa.eu/documents/10162/466dce51-6adf-4936-874b-2c1fe8c9de5e
P172	2，2，3，3，4，4，5，5，6，6，7，7，8，8，8－ペンタデカフルオロオクタン酸	2	政府GHS分類 （平成27年度）	【区分1A】 ヒトでは本物質ばく露と胎児毒性との関連性について、否定的な複数の報告と同時に、以下に記述するように関連性を示唆する報告も複数ある（産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由(2014)）。 米国ボルチモア市の産婦人科の多施設横断的研究において、臍帯血中本物質（PFOA）濃度が高い妊婦では低体重児を出産するリスクの増加傾向がみられたとの報告、デンマークの大規模コホート研究において、妊婦の血清中PFOA 濃度と新生児の出生児体重との間に有意な負の相関が認められたとの報告、英国の母子追跡研究でも、妊婦血清中PFOA濃度と出産児体重の低下に関連性があったとの報告など（産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由（2014））があり、さらに、中国の報告では母乳中に排泄された本物質と乳児への健康影響との関連性が示唆されたとの記述がある（SIDS（2009））。 実験動物では本物質のアンモニウム塩（APFO）を用いた試験結果があり、ラットに強制経口投与した2世代生殖毒性試験では、F0、及びF1親動物に影響（肝臓重量増加、体重及び体重増加量の低下）のみられる用量（1-10 mg/kg/day）で、F1児動物に体重の低値推移、離乳後早期の死亡率の増加、生成熟遅延がみられた（SIDS（2009）；環境省初期リスク評価第9巻（2011））。 一方、APFOを用いた発生毒性試験では、妊娠ラットを用いた経口、及び吸入経路での器官形成期（妊娠6-15日）投与では、顕著な母動物毒性（死亡例（3/25（経口）；2/13（吸入））、嗜眠、体重及び摂餌量低下など）が発現する用量（経口: 50-150 mg/kg/day、吸入: 10-25 mg/m3）でも、胎児毒性はみられないか、わずかに胎児重量の低値のみで軽微であった（SIDS（2009）、環境省初期リスク評価第9巻（2011））。 しかし、妊娠マウスの妊娠1-17日にAPFOを強制経口投与した発生毒性試験では、母動物に1 mg/kg/day以上で肝臓重量の増加、5 mg/kg/day以上で体重増加抑制、全胚吸収母動物の増加がみられ、40 mg/kg/dayでは全例で胚/胎児の完全損失を生じた。 新生児/胎児における発生・発達毒性影響としては、1 mg/kg/day以上で包皮分離の早期化、3 mg/kg/day以上で離乳後の成長遅延、5 mg/kg/day以上で死産児、新生児死亡の増加、四肢及び尾の欠損胎児の増加、開眼日齢の遅延、20 mg/kg/dayで膣開口の遅延、発情周期の遅延、包皮分類の遅延が認められた。 母動物毒性、胎児毒性ともにマウスではラットよりも強く発現し、発生毒性には種差が示唆された（SIDS（2009）、環境省初期リスク評価第9巻（2011））。 さらに、妊娠ラットにAFPOを妊娠4日以降強制経口投与（3-30 mg/kg/day）し、分娩後も新生児の離乳時まで母動物に投与を継続した妊娠期・授乳期投与試験において、母動物には血清中PFOAだけでなく、乳汁中にPFOAが検出され、用量依存的な乳汁中PFOA濃度の増加が認められた（SIDS（2009））。 既存分類としては、日本産業衛生学会がヒトの疫学研究での胎児毒性、並びに実験動物での胎児毒性及び発達毒性が明らかであるとして、「生殖毒性第1群」に（産衛学会許容濃度の暫定値の提案理由（2014））、EUのCLP分類で、「Repr1B & Lact.」に分類されている（ECHA CL Inventory（Access on June 2015））。
P041	2，2，4，4，6，6，8，8－オクタメチルシクロテトラシロキサン	3	政府GHS分類 （平成23年度）	【区分2】 ラット雌雄に対して少なくとも交配70日前から交配期間、雌には妊娠期間、授乳期間を通じて吸入ばく露した試験において、F0およびF1世代とも分娩時間の延長、難産、平均同腹仔数および平均出生仔数の減少が認められた（HSDB（2006））。また、雌ラットに交配1ヵ月前から妊娠期間中吸入ばく露した試験では、着床痕数および生存仔数の減少、着床前および着床後の胚損失率の増加、黄体数の減少が見られ（HSDB（2006））、生殖への悪影響の報告に基づき、親動物での一般毒性として同用量で摂餌量低下と体重増加抑制が報告されている（IUCLID（2000））ので、区分2とした。なお、雄ラットに交配前から交配期間を通じて吸入ばく露し、未ばく露の雌と交配した試験では、交配成立までの時間、交尾率、受胎率、妊娠期間、分娩期間などの生殖指標に悪影響がなかったので、上記の生殖毒性は雌のばく露に因るもの（HSDB（2006））と述べられている。また、EC（CLP/GHS）ではRepr. Cat. 3; R62に分類されている（EC-JRC（ESIS）（2008））。

P192	１－メチル－２－ピロリドン	2	政府GHS分類 （平成27年度）	【区分1B】 ヒトでは妊娠16週に流出した本物質を洗浄作業中に直接皮膚に付着し、妊娠20週まで本物質に職業ばく露を受けたとされる女性研究助手の症例報告において、超音波診断での胎児観察で、妊娠13.8週に異常はみられなかったが、妊娠26週に胎児の成長遅延がみられ、31週で死産が確認された。本症例では本物質に経皮、及び吸入ばく露された可能性が高いが、ばく露濃度は不明で、1例のみの報告で、本物質ばく露と胎児死亡との関連性は明らかでないとされた（CICAD 35 (2001)、環境省リスク評価暫定的有害性評価シート第8巻 (2010))。実験動物では、異なる2系統のラットを用いた経口経路（混餌）による2世代生殖毒性試験において、F0、及びF1親動物に一般毒性影響がない（SD系)、又は体重増加抑制、摂餌量減少がみられる（Wistar系）高用量で、F1及びF2児動物への発達影響として、死亡率の増加、体重増加量の減少がみられたが、F0、F1世代の雌雄親動物に生殖毒性影響はみられなかった（SIDS (2009)、CICAD 35 (2001))。また、吸入経路では、交配14週間前から妊娠期間中を通して、本物質蒸気を吸入ばく露し、生まれたF1児動物を生後70日に非ばく露の雌雄動物と交配させた試験において、F0世代の高用量（479 mg/m3）では雌親動物に音刺激への反応性低下（麻酔作用によると推測)、及びF1児動物に体重の低値がみられたのみで、F1の受胎能、受精能ともに影響はみられなかった（SIDS (2009)、CICAD 35 (2001))。すなわち、ラットを用いた経口、及び吸入経路での試験では、親動物に一般毒性影響が発現する用量で、児動物の発生・発達への影響はみられたが、親動物の性機能・生殖能への有害影響はみられなかった。一方、発生毒性影響としては、妊娠ラット又は妊娠ウサギの器官形成期に経口、吸入、又は経皮経路で投与した催奇形性試験結果がある。強制経口投与した試験では、ラット、ウサギともに母動物に体重増加抑制がみられる用量で、胎児への発生毒性（胎児重量の低値、矮小児の増加、ウサギでは骨格・軟組織の奇形、又は変異の頻度増加）がみられた（SIDS (2009)、CICAD 35 (2001))。同様に、吸入経路での発生毒性試験では、ラットでは母動物に体重増加抑制、摂餌量減少がみられる用量で、胎児に体重の低値がみられたのみで、ウサギではラットと同濃度でばく露したが、高用量群の胎児に骨格変異（過剰肋骨）がみられた以外、母動物、胎児ともに異常はみられなかった（SIDS (2009)、CICAD 35 (2001))。さらに、経皮経路での発生毒性試験では、ラットでは母動物に体重増加抑制がみられる用量で、胎児に死亡例増加、体重の低値、骨化遅延、及び骨格奇形頻度の増加がみられたのに対し、ウサギでは1,000 mg/kg/dayまでの投与量で、母動物毒性は生じず、胎児に骨格変異（過剰肋骨）がみられたのみであった（SIDS (2009)、CICAD 35 (2001))。以上、ラットを用いた経口及び吸入経路での生殖毒性試験で、親動物に一般毒性影響がみられる用量まで投与しても、親動物の生殖能に影響はなかった。しかし、妊娠動物の器官形成期投与による発生毒性試験では、経口経路ではラット、ウサギともに母動物毒性がみられる用量で、胎児に骨格奇形を含む発生毒性影響が認められた。骨格奇形はラットの経皮経路の試験でも認められており、体重増加抑制など母動物毒性のみられる用量での胎児の所見ではあるが、胎児毒性及び奇形は母動物毒性による二次的影響ではない（SIDS (2009)）との記述も併せ考え、骨格奇形の誘発は本物質投与による重大な生殖毒性影響を示唆する所見と判断した。よって、本項は区分1Bとした。なお、本物質はEU CLP分類でもRepr. 1B に分類されており、それに基づきEUは本物質を高懸念物質（SVHC）に指定した（ECHA CL Inventory (Access on June 2015))。	
P194	メチル＝1H－ベンゾイミダゾール－２－イルカルバマート	2	第8巻：化学物質の健康影響に関する暫定的有害性評価	ラットに 0、5、10、20、90 mg/kg/day を妊娠 7 日から 16 日まで強制経口投与した結果、90mg/kg/day 群で体重増加の抑制、肝臓重量の増加、妊娠率の低下、胚吸収率の増加に有意差を認めた。胎仔では、20 mg/kg/day 以上の群で平均体重の減少、胸骨分節等の変異の発生率の増加、90 mg/kg/day 群で生存率の低下、雌の比率の低下、骨格系や頭部（内水頭症、脳ヘルニア等）等の奇形の発生率の増加に有意差を認めた 11)。この結果から、母ラットの NOAELを 20 mg/kg/day、胎仔の MOAEL を 10 mg/kg/day に設定する。	
P199	２－（２－メトキシエトキシ）エタノール	3	EUリスク評価書 （平成12年度）	＜生殖毒性に関する結論＞ 　マウスおよびラットにそれぞれ 4000 mg/kg 体重を飲水投与、約 610 mg/kg 体重を強制経口投与したところ、精巣に対する影響は認められなかった。ラット 6 週間反復投与試験では、DEGME 3600mg/kg 体重において精巣重量の減少、精巣萎縮、精子産生の変化が認められたことに留意されたい（4.1.2.6 参照）。 マウスによる Chernoff-Kavlok 試験では、4000 mg/kg 体重を妊娠 7 日目から 14 日目に単回経口投与後、生存同腹児数が減少した。類似の試験では、妊娠ラットに 1000 μL/kg（約 1020 mg/kg）を皮下投与後、影響は認められなかった。 経口投与による発生試験は 2 件得られている。いずれの試験でも、用量 1800 mg/kg 体重以上で、内臓奇形（特に心血管系）が認められた。母動物毒性および胎児毒性の NOAEL はそれぞれ 600、200 mg/kg 体重である。 妊娠ウサギに DEGME用量最大 750 mg/kg体重を妊娠 6日目から 18日目まで経皮投与したところ、最高用量において母動物毒性を生じた。50 mg/kg 体重では、有害な胚・胎児毒性および催奇形性は認められなかった。 報告者は、リスクフレーズ R63「胎児に対する有害性のリスクをもたらす可能性がある」の表示を提唱する。 http://www.nihs.go.jp/hse/chem-info/eu/euj/111-77-3_j.pdf	修正（番号を訂正）
P200	１－メトキシ－２－（２－メトキシエトキシ）エタン	2	経済産業省：安全性試験結果 （毒性） 反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験（OECD－TG422） （平成18年度）	親動物では、性周期検査において、250 mg/kg/day群で性周期長の延長がみられた。生殖能力検査では、250 mg/kg/day 群で妊娠期間の延長、着床後胚損失率の増加及び分娩率の低下、哺育状態の異常がみられた。交尾所要日数、交尾率、授精率、受胎率、妊娠黄体率、着床前胚損失率及び着床率などに異常はみられなかった。 　児動物に関する検査では、25 mg/kg/day 以上の群で体温低下、250 mg/kg/day 群で出生率の低下、4日生存率の低下、生後4日の生児数の低下がみられた。出産児数、出産生児数、0日生児性比、4日生児性比及び外表については被験物質による影響はみられなかった。 https://www.nite.go.jp/chem/jcheck/detail.action?cno=111-96-6&mno=2-0434&request_locale=ja	修正（番号を訂正）

■感作性

番号	物質名	EU CLP	ACGIH	産衛学会	**化管法クラス**
なし					

■慢性毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

番号	化学物質名称	情報源名	物質名	データの有無	掲載ページなど	キースタディの該否	試験物質 物質名	溶媒	純度(%)	経路	経路 その他	詳細	データ項目
P003	アクリル酸重合物	化審法リスク評価								経口			一般毒性
P008	1ーアセチルー6ー(1，1，1，2，3，3，3ーヘプタフルオロプロパンー2ーイル)ー3ー[(ピリジンー3ーイルメチル)アミノ]ー3，4ージヒドロキナゾリンー2(1H)ーオン	食品健康影響評価	ピリフルキナゾン	あり		○				経口			
P008	1ーアセチルー6ー(1，1，1，2，3，3，3ーヘプタフルオロプロパンー2ーイル)ー3ー[(ピリジンー3ーイルメチル)アミノ]ー3，4ージヒドロキナゾリンー2(1H)ーオン	農薬等ADI関連情報DB	Pyrifluquinazon	あり		○				経口			
P009	oーアミノフェノール	政府GHS分類	o-アミノフェノール							経口			一般毒性
P011	4ーアリルー1，2ージメトキシベンゼン	政府GHS分類	4ーアリルー1，2ージメトキシベンゼン							経口			一般毒性
P022	1，1'ー(アンモニウムジイルジオクタンー8，1ージイル)ジグアニジニウム＝トリアセタート	経済産業省「平成28年度化学物質安全対策（化管法指定化学物質候補物質の有害性情報に関する調査）」	57520-17-9	イミノクタジン酢酸塩						経口	混餌		一般毒性
P023	ポリメチレンポリフェニレン＝イソシアナート	NITE評価促進事業	(Polymeric) M.D.I.				(Polymeric) M.D.I.			inhalation			一般毒性
P023	ポリメチレンポリフェニレン＝イソシアナート	NITE評価促進事業	(Polymeric) M.D.I.				(Polymeric) M.D.I.			inhalation			一般毒性
P023	ポリメチレンポリフェニレン＝イソシアナート	NITE評価促進事業	(Polymeric) M.D.I.				(Polymeric) M.D.I.			inhalation			一般毒性
P023	ポリメチレンポリフェニレン＝イソシアナート	NITE評価促進事業	(Polymeric) M.D.I.				(Polymeric) M.D.I.			inhalation			一般毒性
P023	ポリメチレンポリフェニレン＝イソシアナート	化審法スクリーニング評価	ポリメチレンポリフェニレン＝イソシアナート((Polymeric) M.D.I.)										一般毒性
P023	ポリメチレンポリフェニレン＝イソシアナート	経済産業省「平成28年度化学物質安全対策（化管法指定化学物質候補物質の有害性情報に関する調査）」	9016-87-9	Polymeric diphenylmethane diisocyanate						吸入			一般毒性
P028	5ーエチリデンー2ーノルボルネン	政府GHS分類	5ーエチリデンー2ーノルボルネン							経口			一般毒性
P038	4，4'ーオキシビス(ベンゼンスルホノヒドラジド)	政府GHS分類	4，4'ーオキシビス(ベンゼンスルホノヒドラジド)							経口			一般毒性
P040	オクタブロモジフェニルエーテル類	政府GHS分類	オクタブロモジフェニルエーテル							吸入			一般毒性
P043	過塩素酸	政府GHS分類	過塩素酸							経口			一般毒性
P044	過酢酸	化審法スクリーニング評価	過酢酸										一般毒性
P055	1-((6-Chloro-3-pyridinyl)methyl)-N-nitro-2-imidazolidinimine	登録農薬ADI(農薬抄録)	イミダクロプリド	あり	毒70-76		イミダクロプリド			吸入			一般毒性
P055	1-((6-Chloro-3-pyridinyl)methyl)-N-nitro-2-imidazolidinimine	EU ECHA Information on Registered Substance	imidacloprid (ISO); 1-(6-chloropyridin-3-ylmethyl)-N-nitroimidazolidin-2-ylidenamine	あり	Repeated dose toxicity: inhalation	×				吸入			一般毒性
P059	2ー[2ークロロー4ー(メチルスルホニル)ー3ー[(オキソランー2ーイルメトキシ)メチル]ベンゾイル]シクロヘキサンー1，3ージオン	食品健康影響評価	テフリルトリオン	あり		○				経口			
P059	2ー[2ークロロー4ー(メチルスルホニル)ー3ー[(オキソランー2ーイルメトキシ)メチル]ベンゾイル]シクロヘキサンー1，3ージオン	農薬等ADI関連情報DB	Tefuryltrione	あり		○				経口			
P065	2，2'ーイミノジエタノール	化審法スクリーニング評価	ジエタノールアミン										一般毒性
P071	3，4ージクロローNー(2ーシアノフェニル)イソチアゾールー5ーカルボキサミド	水質汚濁環境基準	イソチアニル	あり		○				飲水経口			
P072	2'，4ージクロローα，α，αートリフルオロー4'ーニトローmートルエンスルホンアニリド	農薬等ADI関連情報DB	Flusulfamide	あり		○				経口			
P073	2ー[4ー(2，4ージクロローmートルオイル)ー1，3ージメチルー5ーピラゾリルオキシ]ー4ーメチルアセトフェノン	食品健康影響評価	ベンゾフェナップ	あり		○				経口			

番号	試験動物 種	種 その他	系	系 その他	性	齢数	試験期間 年	月	週	日	時間	その他	試験期間分類	投与条件 日/週	時間/日	回/日	その他	投与量	TG等	GLP	その他
P003																					
P008																					
P008																					
P009	ラット											30日									
P011	マウス											14週									
P022	ラット				雌雄			24													
P023	rat		Wistar																	no data	
P023	rat																			no data	
P023	rat		Wistar																	no data	
P023	rat		Wistar																	no data	
P023																					
P023	ラット						2														
P028																					
P038	ラット											28日									
P040	ラット											14日									
P043	ラット											90日									
P044																					
P055	ラット(rat)		(Bor:WISW)SPF		M/F	2〜3ヶ月齢			4				28日以上90日未満		6			0,5.5,30.5,191.2mg/m3		Yes	
P055																					
P059																					
P059																					
P065																					
P071																					
P072																					
P073																					

番号	試験結果 結果項目	結果項目 その他	投与量 記号	値	単位	単位換 記号	値	単位	備考	エンドポイント	エンドポイント その他	備考
P003	NOAEL			0.02	mg/kg/day				(MAK 0.05 mg/m3)			
P008												
P008												
P009	LOAEL			7	mg/kg/day							区分1(腎臓、膀胱)、区分2(血液系)
P011	LOAEL			7.8	mg/kg/day							区分2(胃、肝臓)
P022	NOAEL			0.365	mg/kg/day					体重増加抑制、血清カルシウムの増加、腎重量増加、腺胃粘膜の腸上皮化生、精子肉芽種等		区分 1 以外
P023	NOAEL		<	4	mg/m³ air							
P023	NOAEL			1.4	mg/m³ air							
P023	NOAEL			0.2	mg/m³ air							
P023	LOAEL			1	mg/m³ air							
P023	NOAEL			0.025	mg/kg/day							有害性評価値：0.00025 mg/kg/day
P023	LOAEL			0.0002	mg/L					「肺重量の増加が見られ、病理組織学的検査では、鼻腔の嗅上皮における基底細胞過形成の増加、肺胞管におけるMDI を貪食した肺胞マクロファージの蓄積と、蓄積箇所周辺の組織の線維化、肺胞管の上皮化、気管支/肺胞における過形成等が観察された」		区分 1(呼吸器)
P028	LOAEL			1.24	mg/kg/day							区分2 (肝臓)
P038	LOAEL			9.3	mg/kg/day							区分1(神経系、血液)、区分2(腎臓、肝臓)
P040	LOAEL			3.7	mg/m3							区分1(肝臓)、区分2(肺)
P043	LOAEL			8.6	mg/kg/day							区分1(甲状腺)
P044	NOAEL			0.75	mg/kg/day							有害性評価値：0.0038 mg/kg/day
P055	NOAEL			30	mg/m3		13.2	mg/kg/day	試験責任者は雌で認められたN-DEM誘導を毒性影響として捉え、無毒性量を5mg/m3としたが、これは背景データ範囲であり、有害作用と見なさなかった。			
P055	NOAEL			0.005	mg/L							
P059												
P059												
P065	NOAEL			0.4	mg/kg/day							有害性評価値：0.002 mg/kg/day
P071												
P072												
P073												

番号	引用原文	信頼性ランク	文献	投与条件による補正値	基準値・無毒性量等 項目	項目 その他	値	単位	単位換算 値	単位	備考	備考	化管法クラス
P003													2
P008					ADI		0.005	mg/kg/day					3
P008					ADI		0.005	mg/kg/day			2009年7月(府食第728号)；2012年12月(府食第1045号)適用拡大申請により再評価|		3
P009	ヒトに関する情報はない。 実験動物では、ラットを用いた強制経口投与による30日間反復経口投与毒性試験において、区分1のガイダンス値の範囲内である20 mg/kg/day (90日換算値: 7 mg/kg/day) 以上で尿中の腎細胞、膀胱の尿路上皮の空胞化増加、区分2のガイダンス値の範囲内である80 mg/kg/day (90日換算値: 27 mg/kg/day) 以上で、AST (GOT) 活性増加、腎臓の尿細管の病変、区分2のガイダンス値の範囲を超える320 mg/kg/day (90日換算値 : 107 mg/kg/day) で再生性大赤血球性貧血、血中尿素窒素増加、尿タンパク増加、肝臓・腎臓の臓対重量増加の報告がある (SCCS (2010))。また、別の30日間反復経口投与毒性試験において、区分2のガイダンス値の範囲である130 mg/kg/day (90日換算値: 43 mg/kg/day) で赤血球数の減少とメトヘモグロビン濃度の増加の報告がある (HSDB (Access on May 2017))。 したがって、区分1 (腎臓、膀胱)、区分2 (血液系) とした。 新たな情報源を用いたことにより分類が変更となった。											平成29年度	3
P011	ヒトに関する情報はない。 実験動物については、ラットを用いた強制経口投与による14週間反復投与毒性試験で、区分2相当の100 mg/kg/day (90日間換算値: 78 mg/kg/day) 以上で血小板数増加、肝臓傷害を示すALT及びSDH (ソルビトール脱水素酵素)) 増加、肝臓重量増加、副腎皮質の肥大、顎下腺細胞質変性がみられ、マウスを用いた強制経口投与による14週間反復投与毒性試験で、区分1相当の10 mg/kg/day (90日間換算値: 7.8 mg/kg/day) 以上で精巣上体尾部及び精巣重量減少、区分2相当の30 mg/kg/day (90日間換算値: 23 mg/kg/day) 以上で肝臓重量増加、腺胃の病変 (萎縮、変性、壊死、水腫、有糸分裂の異常、胃底部の嚢胞性腺)、100 mg/kg/day (90日間換算値: 78 mg/kg/day) 以上で精子濃度減少が認められている (NTP TR491 (2000))。ラットを用いた強制経口投与による105週間反復投与毒性試験では、区分2相当の37 mg/kg/day 以上で肝臓の病変 (好酸性巣、混合細胞巣、肝細胞肥大及び卵円細胞過形成)、腺胃の病変 (神経内分泌細胞過形成、萎縮)、顎下腺細胞質変性、75 mg/kg/day 以上で肝臓の病変 (嚢胞性変性及び胆管増生) がみられ、マウスを用いた強制経口投与による105週間反復投与毒性試験では、区分2相当の37 mg/kg/day 以上で肝臓の病変 (好酸性巣、卵円細胞過形成、肝細胞肥大等)、腺胃の病変 (萎縮、肥厚、拡張)、75 mg/kg/day 以上で肝臓の病変 (肝細胞壊死、胆管増生) が認められている (NTP TR491 (2000))。 以上のうち、精巣については病理組織学的変化に乏しいこと、他の試験でみられていないことから標的臓器としなかった。また、ラットでみられた副腎皮質の肥大については長期の試験でみられていないこと、適応性の所見と考えられることから影響としなかった。顎下腺の細胞質変性は腺胃の障害に起因した影響と考えられていることから二次的影響とした。したがって、区分2 (胃、肝臓) とした。											平成28年度	3
P022	雌雄ラットの 24 か月間混餌投与による反復投与/発がん性併合試験において、「300 ppm 投与群で死亡率の増加、摂餌量低下、びまん性の尿細管上皮の腫大、100 ppm 以上の投与群で体重増加抑制、血清カルシウムの増加、腎重量増加、腺胃粘膜の腸上皮化生、精子肉芽種等が認められ、NOAEL は 10 ppm(0.356 mg/kg)と考えられる」(農薬安全性情報)との記載がある。以上より、区分1のガイダンスの範囲内で影響が観察されているが、GHS 分類ガイダンスの【判定基準 1b】 3)の条件に適合しないため、「区分1」には分類できず、「区分1以外」とした。												3
P023			OECD：SIAR (SIDS Initial Assessment Report)										2
P023			OECD：SIAR (SIDS Initial Assessment Report)										2
P023			OECD：SIAR (SIDS Initial Assessment Report)										1
P023			OECD：SIAR (SIDS Initial Assessment Report)										1
P023			CICAD									平成28年10月28日	2
P023	ラットに 2 年間、エアロゾルを吸入暴露(0.0002～0.006 mg/L、6 時間/日)した試験で、「肺重量の増加が見られ、病理組織学的検査では、鼻腔の嗅上皮における基底細胞過形成の増加、肺胞管におけるMDI を貪食した肺胞マクロファージの蓄積と、蓄積箇所周辺の組織の線維化、肺胞管の上皮化、気管支/肺胞における過形成等が観察された」(EU-RAR(2005))旨の記載があり、影響は粉塵/ミスト基準における区分 1 のガイダンス値の範囲内で観察された。以上より、「区分 1(呼吸器)」とした。												1
P028	本物質蒸気をラットに88日間、又はイヌに89日間吸入ばく露した試験では、ラットで90 ppm (ガイダンス換算値0.44 mg/L)、イヌで61 ppm (ガイダンス換算値0.29 mg/L) の区分2相当濃度で、肝臓への影響として、ラットに肝臓の腫大、及び小葉中心性肝細胞変性が、イヌに胆管増生、門脈域の線維化、血清AST及びALT活性の上昇がそれぞれ認められた (ACGIH (7th, 2001)、SIDS (2005)、PATTY (6th, 2012))。 一方、ラットに28日間強制経口投与した試験で、最低用量の4 mg/kg/day (90日換算値: 1.24 mg/kg/day) から、雄に甲状腺及び腎臓の病理組織学的変化 (甲状腺濾胞細胞の肥大、コロイドの減少、濾胞の不整形化: 腎臓尿細管上皮の硝子滴) が認められた (厚労省既存化学物質毒性データベース (Access on June 2014)、PATTY (6th, 2012)) が、SIDS (2005) では腎臓の変化はα2u-グロブリン腎症に関連した変化であり、甲状腺の変化も種特異的な変化として、いずれもヒトには生じない影響であると結論されており、本分類に際しても、この見解を支持し、甲状腺、腎臓は標的臓器の対象としなかった。なお、甲状腺、腎臓への同様な影響はラット14週間吸入ばく露試験においても認められている (SIDS (2005)、PATTY (6th, 2012))。 以上より、区分2 (肝臓) とした。											平成26年度	2
P038	ラットを用いた28日間の経口投与試験(OECD TG 407: GLP)において、30 mg/kg(90日補正：9.3 mg/kg/day)以上で後肢の握力低下および麻痺性歩行や末梢神経線維の変性等の神経毒性と、雌の100 mg/kg(90日補正：31.1 mg/kg/day)以上でヘマトクリット値とヘモグロビン量の低値を伴う貧血傾向、30 mg/kg(90日補正：9.3 mg/kg/day)以上で貧血に対する反応と思われる網赤血球数の高値や脾臓の髄外造血が認められた(厚労省報告(Access on May 2009)ことから区分1(神経系、血液)とした。また100 mg/kg(90日補正：31.1 mg/kg/day)以上で無機リンあるいは尿素窒素の高値、クロールの低値に加え近位尿細管上皮の脂肪変性等の腎毒性、ならびにグルコースの低値と総コレステロール、トリグリセリドの高値、肝重量の増加に加え小葉中心性肝細胞肥大あるいは小葉周辺性脂肪化等の肝毒性が認められた(厚労省報告(Access on May 2009)ことにより区分2(腎臓、肝臓)とした。											平成22年度	3
P040	ラットを用いた試験において、28日間混餌投与の100 ppm(8.1mg/kg/day、90日換算：2.5～2.6 mg/kg/day)以上で、好酸性円形小体を含む微細顆粒構造を伴う肝実質細胞の小葉中心または中間帯の肥大、90日間混餌投与の100 ppm(7.2～8.3 mg/kg/day)以上で肝細胞細胞質顆粒性変化と1000 ppm(73.7～85.6 mg/kg/day)以上で脂肪変性を示す細胞質空胞化、14日間吸入ばく露(粉塵)の3.7 mg/m3(1日6時間90日換算：0.767 mg/m3)以上で肝細胞の限局性～散在性細胞質肥大および限局性好酸性変性、肝小葉中心領域の壊死、90日間吸入ばく露の16 mg/m2以上で用量依存的な小葉中心性肝細胞肥大、がそれぞれ観察され(EU-RAR(2003))、用量的にガイダンス値区分1の範囲に相当することから、区分1(肝臓)とした。さらに、ラットの90日間吸入ばく露(粉塵)試験においては、ガイダンス値範囲区分2の上限に相当する202 mg/m3での肺胞組織球の増殖、それ以下の用量でも軽微ながら肺の慢性活動性炎症が観察され、剖検で気管支または縦隔リンパ節の硬化や肥大、また、これらのリンパ節で肉芽腫性の炎症が報告されている(EU-RAR(2003))ことから、区分2(肺)とした。											平成23年度	2
P043	【分類根拠】 反復ばく露による甲状腺影響が(1)のヒトで限定的な知見として、また(2)の動物試験結果から区分1の用量範囲で明瞭に認められたことから、区分1(甲状腺)とした。 【根拠データ】 (1)ボランティアを対象とした試験としては、本物質のアンモニウム塩やK塩を投与して甲状腺のヨウ素摂取率の低下を認めた報告がある。一方、K塩を最大3 mg/day で6ヵ月間経口投与したが、甲状腺機能や甲状腺ヨウ素摂取率に影響はなかったとの報告もある。(環境省リスク評価第9巻(2011))。 (2)実験動物ではラットに本物質のアンモニウム塩を0.01～10 mg/kg/dayで90日間飲水投与した結果、0.01 mg/kg/day以上で血清T3及びT4の用量相関的な減少(雌雄)、0.1 mg/kg/day以上で血清TSHの増加(雄)がみられたが、甲状腺への有害影響としては区分1の範囲の10 mg/kg/day(本物質換算：8.6 mg/kg/day)で絶対・相対重量の増加(雌雄)、小型濾胞形成やコロイドの減少を伴った濾胞細胞の過形成(雌雄：7/10～9/10)が認められた(環境省リスク評価第9巻(2011))。 【参考データ等】 (3)本物質のK塩を1,000～20,000 ppmの濃度で6週間～12ヵ月間飲水投与した3つの試験報告やマウスの飲水投与試験報告があるが、いずれも甲状腺影響のみを検出した試験報告である(環境省リスク評価第9巻(2011))。 (4)カリフォルニア州で飲料水中の本物質濃度と新生児の先天性甲状腺機能低下症、甲状腺刺激ホルモン(TSH)高値との発症率を調べたが、出生状況を適切にマッチングさせた対照群との間に差異はみられなかった(環境省リスク評価第9巻(2011))。											平成30年度	3
P044			HPV									平成28年12月27日	3
P055													3
P055			[Reference Type]:other; [Title]:Unnamed										3
P059					ADI		0.0008	mg/kg/day					2
P059					ADI		0.0008	mg/kg/day			2009年2月(府食第169号)：新規設定|植物色素の生合成を阻害し、枯死させる。		2
P065			HPV									平成28年12月27日	3
P071					基準値						全シアン：検出されないこと。		1
P072					ADI		0.001	mg/kg/day			＊1|＊1：食品衛生研究(農薬残留基準策定)1996年		2
P073					ADI		0.002	mg/kg/day					3

■慢性毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報:番号	化学物質名称	情報源:情報源名	物質名	データの有無:データの有無	掲載ページなど	キースタディの該否	試験方法:試験物質:物質名	溶媒	純度(%)	経路:経路	経路:その他	詳細	データ項目	試験動物:種:種	種:その他	系:系	系:その他	性	齢数	試験期間:年	月	週	日	時間	その他	試験期間分類	投与条件:日/週	時間/日	回/日	その他	投与量	TG等	GLP	その他	試験結果:結果項目:結果項	結果項目:その他	投与量:記号	値	単位	単位換算:記号	単位換算:値	単位換算:単位	備考	エンドポイント:エンドポイント	エンドポイント:その他	備考	引用原文	信頼性ランク	文献	投与条件による補正値	基準値・無毒性量等:項目:項目	項目:その他	値	単位	単位換算:値	単位換算:単位	備考	備考	化管法クラス	
P074	1－(2，4－ジクロロフェニル)－N－(2，4－ジフルオロフェニル)－N－イソプロピル－5－オキソ－1，5－ジヒドロ－4H－1，2，4－トリアゾール－4－カルボキサミド	食品健康影響評価	イプフェンカルバゾン	あり		○				経口																																									ADI		0.00099	mg/kg/day					2	
P074	1－(2，4－ジクロロフェニル)－N－(2，4－ジフルオロフェニル)－N－イソプロピル－5－オキソ－1，5－ジヒドロ－4H－1，2，4－トリアゾール－4－カルボキサミド	農薬等ADI関連情報DB	Iipfencarbazone	あり		○				経口																																									ADI		0.00099	mg/kg/day			2012年10月(府食第952号)]		2	
P076	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	政府GHS分類	1,3-ジクロロプロパン-2-オール							経口			一般毒性																						LOAEL			6.3	mg/kg/day					肝細胞の脂肪変性		区分1(肝臓、腎臓、血液)、区分2(鼻腔)	ラットの104週間反復経口投与試験(OECDテストガイドライン、GLP)において80 ppm(6.3～9.6 mg/kg/日)以上で肝細胞の脂肪変性、および13週間反復経口投与試験(US EPA TSCAテストガイドライン、GLP)では10 mg/kg/日以上で肝細胞核小体肥大が観察された(NITE初期リスク評価書 201(2008))ことから、区分1(肝臓)とした。104週間反復経口投与試験の240 ppm(19.3～30 mg/kg/日)以上で尿タンパクの増加があり、13週間反復経口投与試験でガイダンス値区分1の上限に相当する10 mg/kg/日以上で多巣性尿細管変性が見られた(NITE初期リスク評価書 201(2008))ことから区分1(腎臓)とした。また、104週間反復経口投与試験の80 ppm(6.3～9.6 mg/kg/日)以上でクッパー細胞のヘモジデリン沈着、ヘモグロビン濃度及びヘマトクリット値の低下が観察されたことから区分1(血液)とした。さらに、13週間反復経口投与試験の100 mg/kg/日で鼻腔の病理組織変化(鼻甲介癒着、嗅粘膜変性、呼吸粘膜及び嗅粘膜過形成等)が報告されている(NITE初期リスク評価書 201(2008))ことから、区分2(鼻腔)とした。											平成23年度	3	修正
P077	2－(2，4－ジクロロ－3－メチルフェノキシ)－N－フェニルプロパンアミド	食品健康影響評価	クロメプロップ	あり		○				経口																																									ADI		0.0062	mg/kg/day				異なる評価案件IDの情報が得られた(kya20070306007)が、評価結果通知日及び記載されているADIは同一であった。	3	
P077	2－(2，4－ジクロロ－3－メチルフェノキシ)－N－フェニルプロパンアミド	農薬等ADI関連情報DB	Clomeprop	あり		○				経口																																									ADI		0.0062	mg/kg/day			2009年7月(府食第699号);新規設定]		3	
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	水質汚濁環境基準	フルジオキソニル	あり		○				飲水経口																																									基準値						全シアン: 検出されないこと。		1	
P085	O，O－ジメチル＝O－(4－シアノフェニル)＝ホスホロチオアート[別名：シアノホス(CYAP)]	食品健康影響評価	シアノホス(CYAP)	あり		○				経口																																									ADI		0.001	mg/kg/day					2	
P089	4－(1，2，ジメチルプロピルアミノ)－2－エチルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	食品健康影響評価	ジメタメトリン	あり		○				経口																																									ADI		0.0094	mg/kg/day					3	
P089	4－(1，2，ジメチルプロピルアミノ)－2－エチルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	農薬等ADI関連情報DB	Dimethametryn	あり		○				経口																																									ADI		0.0094	mg/kg/day			2000年;2011年12月(府食第1005号)再評価]		3	
P095	セリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	セリウム及びその化合物	あり			酸化セリウム			吸入			一般毒性	ラット		Sprague-Dawley		M/F				13					5	6			0、5、51、510 mg/m3				LOAEL			0.89	mg/m3				LOAEL を 5 mg/m3(ばく露状況で補正:0.89 mg/m3、セリウムとして 0.72 mg/m3)	分葉好中球数の増加(雌)、肺重量の増加傾向(雌雄)、気管支リンパ節の変化(ほぼ全数)、縦隔膜の拡張や退色(ほぼ半数)、気管支リンパ節でリンパ組織増生及び色素沈着・肺で色素沈着(雌雄)、縦隔膜リンパ節のリンパ組織増生及び色素沈着の発生率上昇(雌雄)		オ)Sprague-Dawley ラット雌雄各 15 匹を 1 群とし、0、5、51、510 mg/m3の酸化セリウム(1.8～2.2 µm)を 13 週間(6 時間/日、5 日/週)吸入させた結果、72 日に 510 mg/m3群の雄 1 匹が死亡したが、その原因はばく露手順に関連したもので、酸化セリウムの影響ではないと考えられた。一般状態の変化や眼、臨床生化学成分、尿、行動及び自発運動量の検査に異常はなかったが、510 mg/m3群の雌雄で軽度の体重増加の抑制や摂餌量の減少、5 mg/m3以上の群の雌及び 51 mg/m3以上の群の雄で分葉好中球数の増加、5 mg/m3以上の群の雌雄で肺重量の増加傾向、510 mg/m3群の雄で脾臓重量の増加がみられた。剖検では51 mg/m3以上の群の全数で肺の退色、気管支リンパ節の拡張や退色がみられ、気管支リンパ節の変化は 5 mg/m3群でもほぼ全数にあり、縦隔膜の拡張や退色は 5 mg/m3以上の群のほぼ半数でみられた。組織検査では、5 mg/m3 以上の群の雌雄の気管支リンパ節でリンパ組織増生及び色素沈着、肺で色素沈着、51 mg/m3以上の群の雌雄の肺で肺胞上皮の過形成、喉頭で化生及び色素沈着、510 mg/m3の群の雌雄の下顎リンパ節で色素沈着の発生率に有意な増加を認め、縦隔膜リンパ節のリンパ組織増生及び色素沈着の発生率も 5 mg/m3以上の群の雌雄で高かった 24) 。この結果から、LOAEL を 5 mg/m3(ばく露状況で補正:0.89mg/m3、セリウムとして 0.72 mg/m3)とする。			24) Viau, A. (1994): A 13-week inhalation toxicity and neurotoxicity study by nose-only exposure of a dry powder aerosol of ceric oxide in the albino rat. Volume I. Bio-Research Laboratories. NTIS/OTS0556254.										1	
P096	(E)－2－[4－(tert－ブチル)フェニル]－2－シアノ－1－(1，3，4－トリメチル－1H－ピラゾール－5－イル)ビニル＝2，2－ジメチルプロパノアート	水質汚濁環境基準	シエノピラフェン	あり		○				飲水経口																																									基準値						全シアン: 検出されないこと。		1	
P101	2－tert－ブトキシエタノール	政府GHS分類	2－tert－ブトキシエタノール							経口			一般毒性	ラット																					LOAEL			8.2	mg/kg/day							区分1(血液系)	ラットに強制経口投与した反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験において、20 mg/kg/day(90日換算値:8.2-10 mg/kg/day(区分1該当量))以上で貧血所見、肝臓及び脾臓に髄外造血亢進及びヘモジデリン沈着、腎臓に尿細管上皮のヘモジデリン沈着が、100 mg/kg/day(90日換算値:41-52 mg/kg/day)では加えて骨髄における赤血球造血亢進がみられた((厚労省既存化学物質毒性データベース(Access on October 2013))。肝臓、脾臓及び腎臓におけるヘモジデリン沈着並びに骨髄における赤血球造血亢進はいずれも貧血による二次的影響と考えられ、これらの臓器を標的臓器に含めるのは不適当と判断した。よって区分1(血液系)に分類した。											平成25年度	3	
P117	ドデカン－1－チオール	政府GHS分類	n-ドデシルメルカプタン							経口			一般毒性																												12.9	mg/m3				区分1(呼吸器)	ヒトに関する情報はない。 実験動物については、ラット、マウス、イヌを用いた4週間吸入毒性試験 (6時間/日、5日/週) において、ラットでは区分1のガイダンス値 (蒸気) の範囲内である7.0 ppm (90日換算値: 0.0129 mg/L) で皮膚の乾燥、ひび割れ及び剥離、耳介の腫脹・紅潮、鼻及び口からの分泌物、喘ぎ呼吸、呼吸困難、体重増加抑制、白血球数増加、ヘマトクリット値減少、AST及びALT増加、BUN増加、皮膚の表皮肥厚、角化亢進、慢性活動性炎症及び局所リンパ節の二次的変化等がみられ、マウスでは区分1のガイダンス値 (蒸気) の範囲内である2.0 ppm (90日換算値: 0.004 mg/L) 以上で、低頻度の肝臓の小葉中心性肝細胞肥大、7.0 ppm (90日換算値: 0.0129 mg/L) で死亡又は切迫屠殺、活動性低下、振戦、眼瞼下垂、外部生殖器あるいは腹部の湿潤な黄色の汚染がみられ、イヌでは区分1のガイダンス値 (蒸気) の範囲内である2.0 ppm (90日換算値: 0.004 mg/L) 以上で、皮膚の肥厚あるいは痂皮形成、皮膚の表皮肥厚及び角化亢進、皮膚炎、7.0 ppm (90日換算値:0.0129 mg/L) で活動性低下、眼瞼下垂、皮膚の乾燥、ひび割れ及び剥離、局所リンパ節の二次的変化等がみられている (SIDS (2014))。なお、SIDS (2014) には、マウスで死亡がみられているが死亡と関連する形態学的所見がなく死因について不明であるが全ての動物が死亡したため被験物質投与と関連したものとしている。 以上のように皮膚刺激性を中心とした影響がみられている。皮膚病変については刺激性によるものであることから分類根拠としなかった。呼吸器に対する病理学的所見はないが、本物質には刺激性があり鼻及び口からの分泌物、喘ぎ呼吸、呼吸困難がみられていることから呼吸器への影響とした。ラットでのAST及びALT増加については関連する病理学的変化が認められていないことがSIDS (2014) に記載されていることから分類根拠としなかった。 したがって、区分1 (呼吸器) とした。											平成29年度	3	
P120	trans－1，2－ジクロロエチレン	要監視項目指針値																																																	基準値		0.04	mg/L			0.04mg/L以下		3	
P126	トリブロモメタン	政府GHS分類	トリブロモメタン							経口			一般毒性	ラット											13週										LOAEL			8.7	mg/kg/day							区分1(肝臓)、区分2(中枢神経系)	ヒトに関する情報はない。 実験動物については、ラットを用いた13週間反復経口投与毒性試験において、区分1のガイダンス値の範囲内である12 mg/kg/day (90日換算: 8.7 mg/kg/day) 以上で肝細胞の空胞化、区分2のガイダンス値の範囲内である100 mg/kg/day (90日換算: 72.2 mg/kg/day) 以上で嗜眠がみられたとの報告がある (NITE有害性評価書 (2008)、環境省リスク評価第3巻:暫定的有害性評価シート (2004)、PATTY (6th, 2012)、NTP TR350 (1989))。このほか、13週間以上の複数の反復経口投与試験 (マウスの13週間試験、マウス、ラットの103週間試験) において主に肝臓に区分2のガイダンス値の範囲内で影響が報告されている (NITE有害性評価書 (2008)、環境省リスク評価第3巻:暫定的有害性評価シート (2004)、PATTY (6th, 2012)、NTP TR350 (1989))。また、マウスを用いた14日間反復経口投与毒性試験において、区分2のガイダンス値の範囲内である145 mg/kg/day (90日換算: 22.6 mg/kg/day) 以上で肝臓の限局性炎症と肝細胞の有糸分裂像増加、腎臓の尿細管上皮の過形成、糸球体の変性がみられ、別のマウスを用いた14日間反復経口投与毒性試験において、区分2のガイダンス値の範囲内である600 mg/kg/day (90日換算: 93.3 mg/kg/day) 以上で嗜眠、運動失調、死亡がみられ、ラットを用いた14日間反復経口投与毒性試験において、区分2のガイダンス値の範囲内である400 mg/kg/day (90日換算: 62.2 mg/kg/day) 以上で体重増加抑制、甲状腺肥大、嗜眠、運動失調、死亡がみられている (NITE有害性評価書 (2008)、NTP TR350 (1989))。 以上より、主に肝臓へ影響がみられ、中枢神経系への影響も示唆されることから区分1 (肝臓)、区分2 (中枢神経系) とした。 なお、マウスを用いた14日間経口投与毒性試験においてみられた腎臓への影響、ラットを用いた14日間経口投与毒性試験においてみられた甲状腺への影響は、13週間以上の複数の反復経口投与試験では、ガイダンス値の範囲内においてみられていないことから分類根拠としなかった。したがって、旧分類と分類結果が異なった。											平成29年度	3	
P127	トリメチルアミン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	トリメチルアミン							吸入			一般毒性	ラット		Sprague-Dawley		雄10匹1群				2					5	6			0、75、250、750 ppm				LOAEL			31	mg/m3				75 ppm(曝露状況で補正:13 ppm(31 mg/m3))	鼻腔及び鼻甲介の刺激(鼻粘膜の充血やうっ血、浮腫、変性や壊死、萎縮、再生像又は扁平上皮化生、凝血塊や膿汁貯留を伴っており、変性は空胞化や組織崩壊、上)皮の剥離			Sprague-Dawley ラット雄 10 匹を 1 群とし、0、75、250、750 ppm を 2 週間(6 時間/日、5 日/週)吸入させた結果、750 ppm 群で体重増加の有意な抑制を認め、曝露時には音刺激に対する反応の低下がみられた。250 ppm 以上の群で濃度に依存した赤血球数の有意な増加がみられ、750 ppm 群でヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値、血小板、好中球、血清尿素窒素、血清タンパク質、血清クレアチニンが有意に増加した。鼻腔及び鼻甲介の刺激は 75 ppm 以上の群でみられたが、それは鼻粘膜の充血やうっ血、浮腫、変性や壊死、萎縮、再生像又は扁平上皮化生、凝血塊や膿汁貯留を伴っており、変性は空胞化や組織崩壊、上皮の剥離からなった。これらの組織変化は 75 ppm 群ではごく軽微であったが、750 ppm 群では中程度/重度であり、鼻以外の組織には影響はなかったが、250 ppm 以上の群では 2 週間の回復期間後も鼻の組織変化が持続していた。なお、250 ppm 以上の群で腎臓絶対重量の減少がみられたが、相対重量に有意差はなかった 21) 。この結果から、LOAEL を 75 ppm(曝露状況で補正:13 ppm(31 mg/m3))とする。		Kinney, L.A., B.A. Burgess, H.C. Chen and G.L. Kennedy Jr. (1990): Inhalation toxicology of trimethylamine. Inhal. Toxicol. 2: 41-51.										3	
P134	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩	化審法スクリーニング評価	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩										一般毒性																						NOAEL			0.5	mg/kg/day							有害性評価値:0.00025 mg/kg/day			ECHA									平成30年11月16日	3	
P143	ビス(2－メルカプトピリジン－N－オキシド)亜鉛(II)	政府GHS分類	2-ピリジンチオール-1-オキシドの亜鉛塩(別名:ジンクピリチオン)							経口			一般毒性																						LOAEL			0.465	mg/kg/day							区分1(神経系、呼吸器系)	ラットに250 ppm(12.5 mg/kg/day)の用量を9～14日間混餌投与した試験(90日換算:約1.6 mg/kg/day)で、後肢脱力、協調運動不能、知覚および知覚/運動の混合神経における誘発電位の振幅の低下がみられた(EPA RED(2004))。さらに、ラットに14日間強制経口投与した試験では、30 mg/kg/day 以上で死亡が認められ、体重増加抑制および後肢麻痺に起因する歩行失調が3 mg/kg/day(90日換算:0.465 mg/kg/day)の用量から観察された。この結果はガイダンス値範囲の区分1に相当する用量での神経症状を示していることから、区分1(神経系)とした。また、ラットの90日間吸入ばく露試験(エアロゾル、6時間/日)において、0.0025 mg/L以上のばく露濃度で死亡が発生し、ラ音、努力性呼吸、喘ぎの症状が観察され、さらに肺重量が増加し、関連する病理組織学的所見として、ガイダンス値区分1に相当する0.01 mg/Lの濃度で肺の間質組織に軽度の亜急性炎症、および肺動脈の中膜肥大がみられた(EPA RED(2004)、HSDB(2011))ことから、区分1(呼吸器系)とした。											平成24年度	2	

■慢性毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報 番号	化学物質名称	情報源 情報源名	物質名	データの有無	掲載ページなど	キースタディの該否	試験方法 試験物質 物質名	溶媒	純度（%）	経路	経路 その他	詳細	データ項目	試験動物 種	種 その他	系	系 その他	性	齢数	試験期間 年	月	週	日	時間	その他	試験期間分類	投与条件 日/週	時間/日	回/日	その他	投与量	TG等	GLP	その他	試験結果 結果項目	結果項目 その他	投与量 記号	値	単位	単位換算 記号	単位換算 値	単位換算 単位	備考	エンドポイント	エンドポイント その他	備考	引用原文	信頼性ランク	文献	投与条件による補正値	基準値・無毒性量等 項目	項目 その他	値	単位	単位換算 値	単位換算 単位	備考	備考	化管法クラス
P146	2−(2−ブトキシエトキシ)エタノール	政府GHS分類	2−(2−ブトキシエトキシ)エタノール							吸入			一般毒性	ラット											2週										LOAEL			100	mg/m3							区分1（呼吸器、肝臓）	ヒトに関する情報はない。 実験動物では、ラットを用いた5週間吸入毒性試験において、117 mg/m3 (ガイダンス値換算：0.0325 mg/L) で肝臓の相対重量増加、肝細胞脂肪変性がみられている (EU-RAR (2000))。また、ラットを用いた2週間吸入毒性試験において、100 mg/m3 (ガイダンス値換算：0.011 mg/L) で血管周囲及び気管支周囲の顆粒球白血球の細胞浸潤、細気管支化、肺重量増加がみられている (EU-RAR (2000))。これらはいずれも区分1の範囲でみられた。なお、血液系 (赤血球) への影響として溶血がみられたが区分2の範囲を超える用量であった。 ラットを用いた6週間強制経口投与毒性試験において、溶血性貧血、肝臓重量増加、前胃の角化亢進・棘細胞増生がみられ (EU-RAR (2000)、PATTY (6th, 2012)、DFGOT vol. 7 (1996))、13週間飲水投与毒性試験において溶血性貧血、肝臓重量増加がみられた (PATTY (6th, 2012))。これらは区分2の範囲を超える用量であった。 ラットを用いた13週間経皮投与毒性試験において、全身影響はみられていない (EU-RAR (2000)、PATTY (6th, 2012))。 したがって、区分1 (呼吸器、肝臓) とした。 旧分類では吸入経路での毒性影響が明確でないことから分類できないとなっていた。しかし、得られた吸入経路の情報から分類が可能であった。											平成27年度	3
P149	ピリフタリド	食品健康影響評価	ピリフタリド	あり		○				経口																																									ADI		0.0056	mg/kg/day					3
P149	ピリフタリド	農薬等ADI関連情報DB	Pyriftalid	あり		○				経口																																									ADI		0.0056	mg/kg/day			2002年；2008年1月再評価(府食第62号)|		3
P156	2−ブトキシエタノール	化審法スクリーニング評価	2−ブトキシエタノール										一般毒性																						LOAEL			8.891	mg/kg/day							有害性評価値：0.0044 mg/kg/day			環境省：化学物質の環境リスク評価									平成28年12月27日	3
P158	フラメトピル	食品健康影響評価	フラメトピル	あり		○				経口																																									ADI		0.007	mg/kg/day					3
P158	フラメトピル	農薬等ADI関連情報DB	Furametpyr	あり		○				経口																																									ADI		0.007	mg/kg/day			2011年11月(府食第912号)適用拡大申請により再評価；＊1|＊1：食品衛生研究(農薬残留基準策定)1998年		3
P161	フルフラール	政府GHS分類	フルフラール							吸入			一般毒性	ラット											28日										LOAEL			20	mg/m3							区分1(呼吸器、肝臓)	ヒトについては、米国労働安全衛生研究所(NIOSH)の調査で、グラファイト製造工場で本物質結合剤を使用した作業者に疲労感、頭痛、鼻出血、眼の灼熱感、鼻・喉の刺激、息切れ、胸の圧迫感、発疹、皮膚の灼熱感、日光過敏症がみられ、高濃度の本物質に暴露された作業者の個人ばく露2〜4.2 ppmとの報告がある。また、本物質を含む樹脂を扱う別の工場の作業者では1.6〜2.1 ppmの本物質にばく露され、頭痛、喉の刺激、眼の充血が報告されている (ACGIH (7th, 2017))。なお、換気の不適切なフルフラール工場の作業者に舌と口腔粘膜の知覚鈍麻、味覚の喪失、呼吸困難などの症状が認められたが、職場の環境濃度は不明であったとの報告がある (産衛学会許容濃度の提案理由書 (1989)、ACGIH (7th, 2001))。なお、この舌と口腔粘膜の知覚鈍麻、味覚の喪失等の報告についてはACGIH (7th, 2001) に記載があるが、その後に出されたACGIH (7th, 2017) には記載されていない。 実験動物については、ラットを用いた28日間吸入毒性試験 (6時間/日、5日/週) において、区分1のガイダンス値の範囲内 (蒸気) である20 mg/m3 (90日換算: 0.004 mg/L) 以上で鼻腔の呼吸上皮の扁平上皮化生、過形成がみられている (EU-RAR (2008))。また、ラットを用いた13週間経口投与毒性試験において、区分1のガイダンス値の範囲内である11 mg/kg/day (90日換算: 7.9 mg/kg/day) 以上で小葉中心性肝細胞空胞化がみられている (EU-RAR (2008)、NTP TR 382 (1990))。 以上、ヒトで皮膚、粘膜、呼吸器に対する刺激性の影響のほか、舌と口腔粘膜の知覚鈍麻、味覚の喪失、呼吸困難等がみられているがこれについては、他に神経系に対する影響がみられないことから神経系に対する影響というよりは刺激性によるものと考えられる。また、実験動物で呼吸器、肝臓への影響が区分1のガイダンス値の範囲内でみられたことから区分1 (呼吸器、肝臓) とした。 なお、肝臓への影響が旧分類より低い用量から報告されていることから旧分類と分類結果が異なった。											平成29年度	3
P162	4−ブロモ−2−(4−クロロフェニル)−1−エトキシメチル−5−(トリフルオロメチル)ピロール−3−カルボニトリル	水質汚濁環境基準	クロルフェナピル	あり		○				飲水経口																																									基準値						全シアン：検出されないこと。		1
P172	2, 2, 3, 3, 4, 4, 5, 5, 6, 6, 7, 7, 8, 8, 8−ペンタデカフルオロオクタン酸	政府GHS分類	ペルフルオロオクタン酸							経口			一般毒性	カニクイザル											26週										LOAEL			3	mg/kg/day							区分1（中枢神経系、肝臓）、区分2（骨髄）	ヒトに関する情報はない。 実験動物では、本物質のアンモニア塩を用いた試験結果がある。 ラットを用いた13週間混餌投与毒性試験において、5.64-7.7 mg/kg/dayで肝臓の肝臓の重量増加、肝細胞肥大がみられた (環境省リスク評価第9巻 (2011)、SIDS (2009))。アカゲザルを用いた90日間強制経口投与毒性試験において、30 mg/kg/dayで死亡 (雄1例、雌2例)、活動性低下、運動失調、顔面の腫脹、体重減少、骨髄の細胞数減少、脾臓、リンパ節のリンパ濾胞の萎縮、死亡例で副腎のび漫性脂質枯渇がみられた (環境省リスク評価第9巻 (2011)、SIDS (2009))。また、カニクイザルを用いた26週間強制経口投与毒性試験において、3 mg/kg/dayで後肢麻痺、運動失調、痛覚刺激に対する反応性低下がみられた (環境省リスク評価第9巻 (2011)、産衛学会許容濃度の提案理由書 (2008)、SIDS (2009))。 ラットを用いた2週間吸入毒性試験において、7.6 mg/m3 (ガイダンス値換算：0.0008 mg/L) でALPの増加、肝臓の絶対・相対重量増加、肝臓の腫脹、肝細胞の肥大・壊死、限局性の多病巣性の肝細胞壊死がみられた (環境省リスク評価第9巻 (2011))。 以上のように肝臓、中枢神経系、骨髄が標的臓器と考えられ、肝臓への影響は区分1の範囲、中枢神経系への影響は区分1及び区分2の範囲、骨髄への影響は区分2の範囲でみられた。 したがって、区分1 (中枢神経系、肝臓)、区分2 (骨髄) とした。 なお、ヒトに関しては、複数の疫学調査において、本物質ばく露と肝機能、血清脂質への影響に明らかな関連性は認められていない (環境省リスク評価第9巻 (2011)、産衛学会許容濃度の提案理由書 (2008)、SIDS (2009))。											平成27年度	3
P172	2, 2, 3, 3, 4, 4, 5, 5, 6, 6, 7, 7, 8, 8, 8−ペンタデカフルオロオクタン酸	政府GHS分類	ペルフルオロオクタン酸							吸入			一般毒性	ラット											2週										LOAEL			7.6	mg/m3							区分1（中枢神経系、肝臓）、区分2（骨髄）	ヒトに関する情報はない。 実験動物では、本物質のアンモニア塩を用いた試験結果がある。 ラットを用いた13週間混餌投与毒性試験において、5.64-7.7 mg/kg/dayで肝臓の肝臓の重量増加、肝細胞肥大がみられた (環境省リスク評価第9巻 (2011)、SIDS (2009))。アカゲザルを用いた90日間強制経口投与毒性試験において、30 mg/kg/dayで死亡 (雄1例、雌2例)、活動性低下、運動失調、顔面の腫脹、体重減少、骨髄の細胞数減少、脾臓、リンパ節のリンパ濾胞の萎縮、死亡例で副腎のび漫性脂質枯渇がみられた (環境省リスク評価第9巻 (2011)、SIDS (2009))。また、カニクイザルを用いた26週間強制経口投与毒性試験において、3 mg/kg/dayで後肢麻痺、運動失調、痛覚刺激に対する反応性低下がみられた (環境省リスク評価第9巻 (2011)、産衛学会許容濃度の提案理由書 (2008)、SIDS (2009))。 ラットを用いた2週間吸入毒性試験において、7.6 mg/m3 (ガイダンス値換算：0.0008 mg/L) でALPの増加、肝臓の絶対・相対重量増加、肝臓の腫脹、肝細胞の肥大・壊死、限局性の多病巣性の肝細胞壊死がみられた (環境省リスク評価第9巻 (2011))。 以上のように肝臓、中枢神経系、骨髄が標的臓器と考えられ、肝臓への影響は区分1の範囲、中枢神経系への影響は区分1及び区分2の範囲、骨髄への影響は区分2の範囲でみられた。 したがって、区分1 (中枢神経系、肝臓)、区分2 (骨髄) とした。 なお、ヒトに関しては、複数の疫学調査において、本物質ばく露と肝機能、血清脂質への影響に明らかな関連性は認められていない (環境省リスク評価第9巻 (2011)、産衛学会許容濃度の提案理由書 (2008)、SIDS (2009))。											平成27年度	2
P174	S−ベンジル＝エチル(3−メチルブタン−2−イル)カルバモチオアート	食品健康影響評価	エスプロカルブ	あり		○				経口																																									ADI		0.01	mg/kg/day				異なる評価案件IDの情報が得られた(kya20081030031、kya20090120002、kya20081030049)が、記載のADIは同値であるため評価結果通知日の新しいもの(2012(平成24)年2月23日)を収集した。	3
P174	S−ベンジル＝エチル(3−メチルブタン−2−イル)カルバモチオアート	農薬等ADI関連情報DB	Esprocarb	あり		○				経口																																									ADI		0.01	mg/kg/day			2008年(府食第59号)；ADI 0.005 mg/kg 体重/日(＊1)が変更された。2009年；2012年2月(府食第193号)適用申請により再評価|＊1：食品衛生研究(農薬残留基準策定)2000年		3
P182	無水酢酸	化審法スクリーニング評価	無水酢酸										一般毒性																						NOAEL			0.56	mg/kg/day							有害性評価値：0.0028 mg/kg/day			HPV									平成28年12月27日	3
P193	2−メチルプロパン−2−チオール	化審法スクリーニング評価	2−メチルプロパン−2−チオール										一般毒性																						LOAEL			10	mg/kg/day							有害性評価値：0.0017 mg/kg/day			厚生省（既存点検）									平成29年11月24日	3
P197	m−アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	m-アニシジン、3-アミノアニソール、3-メトキシベンゼンアミン、m-メトキシアニリン	あり	中・長期毒性					経口		強制経口投与	一般毒性	ラット (rat)				M							交尾2週前から、雄には計42日間強制経口投与						0、2.4、12、60、300 mg/kg/day				LOAEL			2.4	mg/kg/day					2.4 mg/kg/day 以上の群の雌雄の脾臓で髄外造血、12 mg/kg/day以上の群の雄及び 60 mg/kg/day 以上の群の雌の脾臓で褐色色素の沈着、60 mg/kg/day 以上の群の雌雄で脾臓のうっ血やB細胞領域のリンパ球の減少を認めた。また、300 mg/kg/day 群の雌雄で体重増加の抑制、脾臓重量の増加に有意差を認め、褐色尿、流涎、溶血性貧血、肝臓のクッパー細胞、尿細管で褐色色素の沈着がみられた。雄では、60 mg/kg/day 以上の群で血液中の総ビリルビンの増加、300 mg/kg/day 群で血液中のNa、無機リンの増加、総タンパク質の減少にも有意差が認められた					5) 化学物質点検推進連絡協議会(1994): 3-メトキシベンゼナミンのラットにおける経口投与による反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験. 化学物質毒性試験報告. 1: 263-276.										3
P197	m−アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	m-アニシジン、3-アミノアニソール、3-メトキシベンゼンアミン、m-メトキシアニリン	あり	中・長期毒性					経口		強制経口投与	一般毒性	ラット (rat)				F							交尾2週前から、雌には哺育3日まで強制経口投与						0、2.4、12、60、300 mg/kg/day				LOAEL			2.4	mg/kg/day					2.4 mg/kg/day 以上の群の雌雄の脾臓で髄外造血、12 mg/kg/day以上の群の雄及び 60 mg/kg/day 以上の群の雌の脾臓で褐色色素の沈着、60 mg/kg/day 以上の群の雌雄で脾臓のうっ血やB細胞領域のリンパ球の減少を認めた。また、300 mg/kg/day 群の雌雄で体重増加の抑制、脾臓重量の増加に有意差を認め、褐色尿、流涎、溶血性貧血、肝臓のクッパー細胞、尿細管で褐色色素の沈着がみられた。雄では、60 mg/kg/day 以上の群で血液中の総ビリルビンの増加、300 mg/kg/day 群で血液中のNa、無機リンの増加、総タンパク質の減少にも有意差が認められた					5) 化学物質点検推進連絡協議会(1994): 3-メトキシベンゼナミンのラットにおける経口投与による反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験. 化学物質毒性試験報告. 1: 263-276.										3
P197	m−アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	3-メトキシアニリン、m-アニシジン	あり	中・長期毒性 pg. 6-					経口		強制経口投与	一般毒性	ラット (rat)		Sprague-Dawley		M							交尾前2週から雄に 50 日間						0、2.4、12、60、300 mg/kg/day				LOAEL			2.4	mg/kg/day					雄の 300 mg/kg/day 群で投与 2 日から褐色尿が全数にみられ、8 日から体重増加の有意な抑制、25 日からは流涎もみられるようになった。雄の 60 mg/kg/day 以上の群で赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値が有意に減少して総ビリルビンが有意に増加し、300 mg/kg/day 群で網赤血球数、白血球数、好中球比、ナトリウム、無機リンが有意に増加し、リンパ球比、総タンパク質、ブドウ糖、カルシウムが有意に減少した。雄の脾臓は 300mg/kg/day 群で腫大して絶対及び相対重量は有意に増加しており、2.4 mg/kg/day 以上の群で髄外造血、12 mg/kg/day 群で褐色色素沈着、60 mg/kg/day 以上の群でうっ血、B 細胞領域(白脾髄辺縁帯)のリンパ球減少がみられた。この他、雄の 300 mg/kg/day 群の肝臓で相対重量の有意な増加や髄外造血、クッパー細胞内の褐色色素沈着、腎臓で相対重量の有意な増加や近位尿細管上皮の褐色色素沈着などもみられた。雌でも 300 mg/kg/day 群では交尾前から交尾期間に褐色尿や体重増加の有意な抑制がみられ、試験期間終了後には 2.4 mg/kg/day 以上の群の脾臓で髄外造血、60 mg/kg/day 以上の群の脾臓で相対重量の有意な増加や褐色色素沈着、B 細胞領域のリンパ球減少、300 mg/kg/day 群の脾臓で腫大やうっ血、肝臓の髄外造血や褐色色素沈着などがみられた					3) Howard, P.H., and Meylan, W.M. ed. (1997): Handbook of Physical Properties of Organic Chemicals, Boca Raton, New York, London, Tokyo, CRC Lewis Publishers: 374.										3
P197	m−アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	3-メトキシアニリン、m-アニシジン	あり	中・長期毒性 pg. 6-					経口		強制経口投与	一般毒性	ラット (rat)		Sprague-Dawley		F							交尾前雌には妊娠期間を通して哺育 4 日 (40〜49 日間)						0、2.4、12、60、300 mg/kg/day				LOAEL			2.4	mg/kg/day					雄の 300 mg/kg/day 群で投与 2 日から褐色尿が全数にみられ、8 日から体重増加の有意な抑制、25 日からは流涎もみられるようになった。雄の 60 mg/kg/day 以上の群で赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値が有意に減少して総ビリルビンが有意に増加し、300 mg/kg/day 群で網赤血球数、白血球数、好中球比、ナトリウム、無機リンが有意に増加し、リンパ球比、総タンパク質、ブドウ糖、カルシウムが有意に減少した。雄の脾臓は 300mg/kg/day 群で腫大して絶対及び相対重量は有意に増加しており、2.4 mg/kg/day 以上の群で髄外造血、12 mg/kg/day 群で褐色色素沈着、60 mg/kg/day 以上の群でうっ血、B 細胞領域(白脾髄辺縁帯)のリンパ球減少がみられた。この他、雄の 300 mg/kg/day 群の肝臓で相対重量の有意な増加や髄外造血、クッパー細胞内の褐色色素沈着、腎臓で相対重量の有意な増加や近位尿細管上皮の褐色色素沈着などもみられた。雌でも 300 mg/kg/day 群では交尾前から交尾期間に褐色尿や体重増加の有意な抑制がみられ、試験期間終了後には 2.4 mg/kg/day 以上の群の脾臓で髄外造血、60 mg/kg/day 以上の群の脾臓で相対重量の有意な増加や褐色色素沈着、B 細胞領域のリンパ球減少、300 mg/kg/day 群の脾臓で腫大やうっ血、肝臓の髄外造血や褐色色素沈着などがみられた					3) Howard, P.H., and Meylan, W.M. ed. (1997): Handbook of Physical Properties of Organic Chemicals, Boca Raton, New York, London, Tokyo, CRC Lewis Publishers: 374.										3
P197	m−アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	m-アニシジン、3-アミノアニソール、3-メトキシベンゼンアミン、m-メトキシアニリン	あり	中・長期毒性					経口		強制経口投与	一般毒性	ラット (rat)				M							交尾2週前から、雄には計42日間強制経口投与						0、2.4、12、60、300 mg/kg/day				LOAEL			2.4	mg/kg/day					2.4 mg/kg/day 以上の群の雌雄の脾臓で髄外造血、12 mg/kg/day以上の群の雄及び 60 mg/kg/day 以上の群の雌の脾臓で褐色色素の沈着、60 mg/kg/day 以上の群の雌雄で脾臓のうっ血やB細胞領域のリンパ球の減少を認めた。また、300 mg/kg/day 群の雌雄で体重増加の抑制、脾臓重量の増加に有意差を認め、褐色尿、流涎、溶血性貧血、肝臓のクッパー細胞、尿細管で褐色色素の沈着がみられた。雄では、60 mg/kg/day 以上の群で血液中の総ビリルビンの増加、300 mg/kg/day 群で血液中のNa、無機リンの増加、総タンパク質の減少にも有意差が認められた					5) 化学物質点検推進連絡協議会(1994): 3-メトキシベンゼナミンのラットにおける経口投与による反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験. 化学物質毒性試験報告. 1: 263-276.										3
P197	m−アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	m-アニシジン、3-アミノアニソール、3-メトキシベンゼンアミン、m-メトキシアニリン	あり	中・長期毒性					経口		強制経口投与	一般毒性	ラット (rat)				F							交尾2週前から、雌には哺育3日まで強制経口投与						0、2.4、12、60、300 mg/kg/day				LOAEL			2.4	mg/kg/day					2.4 mg/kg/day 以上の群の雌雄の脾臓で髄外造血、12 mg/kg/day以上の群の雄及び 60 mg/kg/day 以上の群の雌の脾臓で褐色色素の沈着、60 mg/kg/day 以上の群の雌雄で脾臓のうっ血やB細胞領域のリンパ球の減少を認めた。また、300 mg/kg/day 群の雌雄で体重増加の抑制、脾臓重量の増加に有意差を認め、褐色尿、流涎、溶血性貧血、肝臓のクッパー細胞、尿細管で褐色色素の沈着がみられた。雄では、60 mg/kg/day 以上の群で血液中の総ビリルビンの増加、300 mg/kg/day 群で血液中のNa、無機リンの増加、総タンパク質の減少にも有意差が認められた					5) 化学物質点検推進連絡協議会(1994): 3-メトキシベンゼナミンのラットにおける経口投与による反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験. 化学物質毒性試験報告. 1: 263-276.										3

■慢性毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

番号	化学物質名称	情報源名	物質名	データの有無	掲載ページなど	キースタディの該否	試験物質 物質名	溶媒	純度（%）	経路	その他	詳細	データ項目	試験動物 種	種 その他	系	系 その他	性	齢数	試験期間 年	月	週	日	時間	その他	試験期間分類	投与条件 日/週	時間/日	回/日	その他	投与量	TG等	GLP	その他	結果項目	その他	投与量 記号	値	単位	単位換算 記号	値	単位	備考	エンドポイント	その他	備考	引用原文	信頼性ランク	文献	投与条件による補正値	基準値・無毒性量等 項目	その他	値	単位	単位換算 値	単位	備考	備考	化管法クラス
P197	m－アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	3-メトキシアニリン、m-アニシジン	あり	中・長期毒性 pg. 6-					経口		強制経口投与	一般毒性	ラット（rat）		Sprague-Dawley		M							交尾前2週から雄に 50 日間						0、2.4、12、60、300 mg/kg/day				LOAEL			2.4	mg/kg/day					雄の 300 mg/kg/day 群で投与 2 日から褐色尿が全数にみられ、8 日から体重増加の有意な抑制、25 日からは流涎もみられるようになった。雄の 60 mg/kg/day 以上の群で赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値が有意に減少して総ビリルビンが有意に増加し、300 mg/kg/day 群で網赤血球数、白血球数、好中球比、ナトリウム、無機リンが有意に増加し、リンパ球比、総タンパク質、ブドウ糖、カルシウムが有意に減少した。雄の脾臓は 300mg/kg/day 群で腫大して絶対及び相対重量は有意に増加しており、2.4 mg/kg/day 以上の群で髄外造血、12 mg/kg/day 群で褐色色素沈着、60 mg/kg/day 以上の群でうっ血、B 細胞領域（白脾髄辺縁帯）のリンパ球減少がみられた。この他、雄の 300 mg/kg/day 群の肝臓で相対重量の有意な増加や髄外造血、クッパー細胞内の褐色色素沈着、腎臓で相対重量の有意な増加や近位尿細管上皮の褐色色素沈着などもみられた。雌でも 300 mg/kg/day 群では交尾前から交尾期間に褐色尿や体重増加の有意な抑制がみられ、試験期間終了後には 2.4 mg/kg/day 以上の群の脾臓で髄外造血、60 mg/kg/day 以上の群の脾臓で相対重量の有意な増加や褐色色素沈着、B 細胞領域のリンパ球減少、300 mg/kg/day 群の脾臓で腫大やうっ血、肝臓の髄外造血や褐色色素沈着などがみられた					3) Howard, P.H., and Meylan, W.M. ed. (1997): Handbook of Physical Properties of Organic Chemicals, Boca Raton, New York, London, Tokyo, CRC Lewis Publishers: 374.										3
P197	m－アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	3-メトキシアニリン、m-アニシジン	あり	中・長期毒性 pg. 6-					経口		強制経口投与	一般毒性	ラット（rat）		Sprague-Dawley		F							交尾前雌には妊娠期間を通して哺育 4 日（40～49 日間）						0、2.4、12、60、300 mg/kg/day				LOAEL			2.4	mg/kg/day					雄の 300 mg/kg/day 群で投与 2 日から褐色尿が全数にみられ、8 日から体重増加の有意な抑制、25 日からは流涎もみられるようになった。雄の 60 mg/kg/day 以上の群で赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値が有意に減少して総ビリルビンが有意に増加し、300 mg/kg/day 群で網赤血球数、白血球数、好中球比、ナトリウム、無機リンが有意に増加し、リンパ球比、総タンパク質、ブドウ糖、カルシウムが有意に減少した。雄の脾臓は 300mg/kg/day 群で腫大して絶対及び相対重量は有意に増加しており、2.4 mg/kg/day 以上の群で髄外造血、12 mg/kg/day 群で褐色色素沈着、60 mg/kg/day 以上の群でうっ血、B 細胞領域（白脾髄辺縁帯）のリンパ球減少がみられた。この他、雄の 300 mg/kg/day 群の肝臓で相対重量の有意な増加や髄外造血、クッパー細胞内の褐色色素沈着、腎臓で相対重量の有意な増加や近位尿細管上皮の褐色色素沈着などもみられた。雌でも 300 mg/kg/day 群では交尾前から交尾期間に褐色尿や体重増加の有意な抑制がみられ、試験期間終了後には 2.4 mg/kg/day 以上の群の脾臓で髄外造血、60 mg/kg/day 以上の群の脾臓で相対重量の有意な増加や褐色色素沈着、B 細胞領域のリンパ球減少、300 mg/kg/day 群の脾臓で腫大やうっ血、肝臓の髄外造血や褐色色素沈着などがみられた					3) Howard, P.H., and Meylan, W.M. ed. (1997): Handbook of Physical Properties of Organic Chemicals, Boca Raton, New York, London, Tokyo, CRC Lewis Publishers: 374.										3
P198	2－メトキシエチル＝2－［4－（tert－ブチル）フェニル］－2－シアノ－3－オキソ－3－［2－（トリフルオロメチル）フェニル］プロパノアート	水質汚濁環境基準	シフルメトフェン	あり		○				飲水経口																																									基準値						全シアン: 検出されないこと。		1
P204	モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム	NITE評価促進事業	モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム				モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム			oral: gavage			一般毒性	rat		Fischer 344/DuCrj																	no data		NOEL			0.8	mg/kg bw/day, mg/kg/day										農薬工業会:農薬安全性情報（公開情報一覧）－農薬時報別冊『農薬技術情報』27号										3
P204	モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム	NITE評価促進事業	モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム				モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム			oral: gavage			一般毒性	dog		beagle																	no data		NOEL			0.75	mg/kg bw/day, mg/kg/day										農薬工業会:農薬安全性情報（公開情報一覧）－農薬時報別冊『農薬技術情報』27号										3
P204	モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム	NITE評価促進事業	モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム				モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム			oral: gavage			一般毒性	mouse		ICR系Crj: CD-1																	no data		NOEL			0.8	mg/kg bw/day, mg/kg/day										農薬工業会:農薬安全性情報（公開情報一覧）－農薬時報別冊『農薬技術情報』27号										3
P205	硫化（2，4，4－トリメチルペンテン）	化審法スクリーニング評価	硫化（2，4，4－トリメチルペンテン）										一般毒性																						LOAEL			1.99	mg/kg/day							有害性評価値:0.0003 mg/kg/day			HPVIS（情報源1）									平成29年11月24日	3

■大気環境基準

番号	物質名	日本 環境基準		WHO	
		基準値 [mg/m3]	クラス	基準値 [mg/m3]	クラス
なし					

■水質環境基準

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

番号	物質名	日本・環境基準			日本・要監視			WHO			EPA			
		（参考）対象物質	基準値	クラス	（参考）対象物質	基準値	クラス	（参考）対象物質	基準値	クラス	（参考）対象物質	基準値	クラス	
P043	過塩素酸							Perchlorate	0.07	3				
P071	3，4－ジクロロ－N－（2－シアノフェニル）イソチアゾール－5－カルボキサミド	全シアン	検出されないこと	1										修正
P082	4－（2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル）－1H－ピロール－3－カルボニトリル	全シアン	検出されないこと	1										修正
P083	1，2－ジブロモエタン							1,2-	0.0004	1	Ethylene	0.00005	1	
P096	（E）－2－［4－（tert－ブチル）フェニル］－2－シアノ－1－（1，3，4－トリメチル－1H－ピラゾール－5－イル）ビニル＝2，2－ジメチルプロパノアート	全シアン	検出されないこと	1										修正
P102	タリウム										Thallium	0.002	2	
P120	trans－1，2－ジクロロエチレン				トランス－1，2－ジクロロエチレン	0.07	3	1,2-Dichloroethene	0.05	3	trans-1,2-Dichloroethylene	0.1	3	
P126	トリブロモメタン							Bromoform	0.1	3	Total Trihalomethanes (TTHMs)	0.08	3	
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	全シアン	検出されないこと	1										修正
P168	cis-ヘプタクロルエポキシド										Heptachlor	0.0002	1	
P198	2－メトキシエチル＝2－［4－（tert－ブチル）フェニル］－2－シアノ－3－オキソ－3－［2－（トリフルオロメチル）フェニル］プロパノ	全シアン	検出されないこと	1										修正

■農薬ADI

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

番号	物質名	食品安全委員会		JMPR		JECFA		
		基準値 [mg/kg/day]	クラス	基準値 [mg/kg/day]	クラス	基準値 [mg/kg/day]	クラス	
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	0.005	3					
P010	3－アリルオキシ－1，2－ベンゾイソチアゾール＝1，1－ジオキシド	0.01	3					
P059	2－{2－クロロ－4－(メチルスルホニル)－3－[(オキソラン－2－イルメトキシ)メチル]ベンゾイル}シクロヘキサン－1，3－ジオン	0.0008	2					
P072	2'，4－ジクロロ－α，α，α－トリフルオロ－4'－ニトロ－m－トルエンスルホンアニリド	0.001	2					
P073	2－[4－(2，4－ジクロロ－m－トルオイル)－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ]－4－メチルアセトフェノン	0.002	3					
P074	1－(2，4－ジクロロフェニル)－N－(2，4－ジフルオロフェニル)－N－イソプロピル－5－オキソ－1，5－ジヒドロ－4H－1，2，4－トリアゾール－4－カルボキサミド	0.00099	2					
P077	2－(2，4－ジクロロ－3－メチルフェノキシ)－N－フェニルプロパンアミド	0.0062	3					
P085	O，O－ジメチル＝O－(4－シアノフェニル)＝ホスホロチオアート[別名：シアノホス(CYAP)]	0.001	2					
P089	4－(1，2，ジメチルプロピルアミノ)－2－エチルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	0.0094	3					
P149	ピリフタリド	0.0056	3					
P158	フラメトピル	0.007	3					
P174	S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	0.01	3					
P204	モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム	0.0075	3					修正(番号を訂正)

■TWA（ACGIH）

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

↓TWA根拠が急性毒性（症状が眼、上部気道、下部気道、皮膚刺激等に限定されるもの）はクラス付与対象外

物質情報		ACGIH								
番号	物質名称	化管法クラス	TWA	値	状態	MW	TWA数値［mg/m3］	症状	Documentation	
P038	4，4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	2	0.1 mg/m3 (I)	0.1	粒子状	358.4	0.1	Teratogenic eff	1997	修正（番号を訂正）
P065	2，2’－イミノジエタノール	3	1 mg/m3 (IFV)	1	粒子状	105.1	1	Liver & kidney dam	2008	
P082	4－（2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル）－1H－ピロール－3－カルボニトリル	3	1 mg/m3 (I)	1	粒子状	248.2	1	Liver & kidney dam	2017	修正（番号を訂正）
P102	タリウム	2	0.02 mg/m3 (I)	0.02	粒子状	204.37 Varies	0.02	GI dam; peripheral neuropathy	2009	
P109	1，1，2，2－テトラクロロエタン	3	1 ppm	1	気体	167.9	6.9	Liver dam	1995	
P111	テトラフルオロエチレン	3	2 ppm	2	気体	100.2	8.2	Kidney & liver dam; liver & kidney cancer	1997	修正（番号を訂正）
P116	テルル	2	0.1 mg/m3	0.1	粒子状	127.6	0.1	Halitosis	1992	
P126	トリブロモメタン	3	0.5 ppm	0.5	気体	252.7	5.2	Liver dam; URT & eye irr	2008	
P168	cis-ヘプタクロルエポキシド	2	0.05 mg/m3	0.05	粒子状	389.4	0.1	Liver dam	1990	
P207	りん酸ジ-n-ブチル=フェニル	3	0.3 ppm	0.3	気体	286.3	3.5	Cholinesterase inhib; URT irr	1987	修正（番号を訂正）

■TWA（産業衛生学会）

↓TWA根拠が急性毒性（症状が眼、上部気道、下部気道、皮膚刺激等に限定されるもの）はクラス付与対象外

物質情報		産衛学会					
番号	物質名	化管法クラス	TWA [mg/m3]	TWA数値 [mg/m3]	形態	症状	提案年度
P109	１，１，２，２－テトラクロロエタン	3	6.9	6.9	気体	Liver dam	’84, ’15
P172	２，２，３，３，４，４，５，５，６，６，７，７，８，８，８－ペンタデカフルオロオクタン酸	1	0.005c	0.005	粒子状	肝機能障害	’08, ’17
P192	１－メチル－２－ピロリドン	3	4	4	気体	体重の減少	’02

■生態毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種 （学名）	生物種 （和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P001	亜鉛＝ビスメタクリラート	化審法スクリーニング評価結果		亜鉛＝ビスメタクリラート	藻類											慢性	NOEC			0.1	mg/L		https://www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h30_03_01_b04.pdf		平成30年11月16日			1
P001	亜鉛＝ビスメタクリラート	化審法スクリーニング評価結果		亜鉛＝ビスメタクリラート	藻類											急性	E(L)C50			0.56	mg/L		https://www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h30_03_01_b04.pdf		平成30年11月16日			1
P002	アクリル酸2－エチルヘキシル	化審法スクリーニング評価結果		アクリル酸2－エチルヘキシル	藻類											慢性	NOEC			0.45	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2
P002	アクリル酸2－エチルヘキシル	化審法スクリーニング評価結果		アクリル酸2－エチルヘキシル	甲殻類											急性	E(L)C50			1.3	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2
P002	アクリル酸2－エチルヘキシル	政府GHS分類結果		アクリル酸2－エチルヘキシル	甲殻類		オオミジンコ							48	時間	急性	E(L)C50			1.3	mg/L	区分2	甲殻類(オオミジンコ)による48h-EC50＝1.3mg/L（EU-RAR, 2005）であることから、区分2とした。		EU-RAR, 2005			2
P004	アジピン酸・N－(2－アミノエチル)エタン－1，2－ジアミン・2－(クロロメチル)オキシラン重合物	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ポリ(2～3)エチレンポリアミン・アジピン酸・エピクロルヒドリン重縮合物		魚類												EC50			0.523	mg/L						平成28年10月28日	1
P005	アジピン酸ビス（2－エチルヘキシル）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.0032	mg/L					H17		1
P006	アジピン酸ジヒドラジド	化審法スクリーニング評価結果		アジピン酸ジヒドラジド	藻類											急性	E(L)C50			9.19	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h27_03_b04_02.pdf		平成27年10月23日			2
P006	アジピン酸ジヒドラジド	化審法スクリーニング評価結果		アジピン酸ジヒドラジド	藻類											急性	E(L)C50			9.19	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h27_03_b04_02.pdf		平成27年10月23日			2
P007	アセチルアセトン	政府GHS分類結果		アセチルアセトン	甲殻類		オオミジンコ							14	日間	慢性	NOEC			0.25	mg/L	区分3	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり（良分解性：28日でのBOD分解度＝83%、GC分解度＝100%、TOC分解度＝95%（通産省公報, 1991））、甲殻類(オオミジンコ)の14日間NOEC (reproduciton rate) = 0.25 mg/L（SIDS, 2003)であることから、区分3となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、魚類（ブルーギル）の96時間LC50 = 60.1 mg/L（SIDS, 2003）であるが、急速分解性があり、生物蓄積性が低いと推定される（log Kow= 0.4（PHYSPROP Database、2009））ことから、区分外となる。 以上の結果を比較し、区分3とした。		mg/L			2
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Pyrifluquinazon	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			5800	PPB				E. Gelmann(WLI)	2009	C	2
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Pyrifluquinazon	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			3900	PPB				E. Gelmann(WLI)	2009	C	2
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Pyrifluquinazon	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		EC50			3300	PPB				E. Gelmann(NHN)	2005	C	2
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Pyrifluquinazon IV-02 degradate	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			1.1	PPB				E. Gelmann(NHN)	2010	C	1
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Pyrifluquinazon	魚類	Cyprinus carpio				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			4500	PPB				E. Gelmann(NHN)	2009	S	2
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Pyrifluquinazon IV-02 degradate	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			0.14	PPB				E. Gelmann(NHN)	2010	C	1
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h12_pyrfluquinazon.pdf	ピリフルキナゾン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			2000, 3000, 4500, 6800, 10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			4400	μg/L		被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 2,000、3,000、4,500、6,800、10,000（公比 1.5） 実測濃度（μg/L） 1,550、2,320、3,390、5,420、9,100 助剤 DMSO 0.1ml/L LC50（μg/L） 4,400（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 表層遊泳（2,320 及び 3,390μg/L）、体色黒化（3,390μg/L 群）、 平衡失調（5,420μg/L 群）（いずれも実測濃度に基づく） 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ピリフルキナゾン	平成20年		2
P008	1－アセチル－6－(1，1，1，2，3，3，3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－3－[(ピリジン－3－イルメチル)アミノ]－3，4－ジヒドロキナゾリン－2(1H)－オン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h12_pyrfluquinazon.pdf	ピリフルキナゾン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0.5、1.0、2.0、4.0、8.0、16.0	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		2.7	μg/L	95%信頼限界 2.0-3.7	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 半止水式（24 時間毎換水） 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 0.5、1.0、2.0、4.0、8.0、16.0（公比 2） 実測濃度（μg/L） 0.38、0.71、1.5、3.3、6.2、13 助剤 DMF 0.1ml/L EC50（μg/L） 2.7（95%信頼限界 2.0-3.7）（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 運動性の低下（6.2μg/L 以上群）（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ピリフルキナゾン	平成20年		1
P009	o－アミノフェノール	環境省「化学物質の生態影響試験について」		o-アミノフェノール	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.15	mg/L					H23		1
P009	o－アミノフェノール	環境省「化学物質の生態影響試験について」		o-アミノフェノール	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.0018	mg/L					H23		1
P009	o－アミノフェノール	環境省「化学物質の生態影響試験について」		o-アミノフェノール	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			0.57	mg/L					H23		1
P009	o－アミノフェノール	環境省「化学物質の生態影響試験について」		o-アミノフェノール	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			0.67	mg/L					H23		1
P009	o－アミノフェノール			o-アミノフェノール	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72時間			EC50			0.15	mg/L	区分1	藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) 72時間EC50(速度法) = 0.15 mg/L（環境省生態影響試験:2017）であることから、区分1とした。				平成29年度	1
P009	o－アミノフェノール			o-アミノフェノール	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72時間			NOEC			0.0018	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（BIOWIN）、藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)の72時間NOEC（速度法）= 0.0018 mg/L（環境省生態影響試験:2017)であることから、区分1となる。 　慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（BIOWIN）、甲殻類(オオミジンコ)48時間EC50 = 0.57 mg/L（環境省生態影響試験:2017)であることから、区分1となる。 　以上の結果から、区分1とした。				平成29年度	1
P010	3－アリルオキシ－1，2－ベンゾイソチアゾール＝1，1－ジオキシド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h37_probenazole.pdf	プロベナゾール	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、3000、4100、5500、7400、10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			3410	μg/L	(95%信頼限界 3,110-3,850)(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio）10 尾/群 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 3,000 4,100 5,500 7,400 10,000 実測濃度（μg/L） （算術平均値、被験 物質濃度） 0 2,100 2,900 3,310 5,120 8,020 死亡数/供試生物数 (96hr 後；尾) 0/10 0/10 0/10 5/10 10/10 10/10 助剤 硬化ヒマシ油/DMSO（1:9） 100mg/L LC50（μg/L） 3,410 (95%信頼限界 3,110-3,850)(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロベナゾール	平成22年		2
P010	3－アリルオキシ－1，2－ベンゾイソチアゾール＝1，1－ジオキシド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h37_probenazole.pdf	プロベナゾール	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0、3000、5000、7000、12000、19000、30000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		2710	μg/L	(95%信頼限界 2,040-3,610)（実測濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna）20 頭/群 暴露方法 半止水式（24 時間毎換水） 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 0 3,000 5,000 7,000 12,000 19,000 30,000 実測濃度（μg/L） （幾何平均値、被験物 質濃度） 0 413 737 987 2,090 3,700 6,870 遊泳阻害数/供試生 物数(48hr 後；頭) 0/20 0/20 0/20 0/20 0/20 20/20 20/20 助剤 硬化ヒマシ油/DMSO（1:9） 100mg/L EC50（μg/L） 2,710(95%信頼限界 2,040-3,610)（実測濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロベナゾール	平成22年		2
P010	3－アリルオキシ－1，2－ベンゾイソチアゾール＝1，1－ジオキシド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h37_probenazole.pdf	プロベナゾール	藻類	P.subcapitata		藻類生長阻害試験			0、2000、4000、8000、16000、32000	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		3070	μg/L	実測濃度(有効成分換算値)に基づく	被験物質 原体 供試生物 P.subcapitata 初期生物量 1.1×104 cells/ml 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 0 2,000 4,000 8,000 16,000 32,000 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値、 被験物質濃度） 0 466 737 1,440 2,280 3,150 72hr 後生物量（× 104 cells/mL） 60.8 60.6 59.6 51.1 43.0 20.7 0-72hr 生長阻害率 (%) 0 0.5 4.3 8.6 26.9 助剤 硬化ヒマシ油/DMSO（1:9） 100mg/L ErC50（μg/L） >3,070（実測濃度(有効成分換算値)に基づく) NOECr（μg/L） 719(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロベナゾール	平成22年		2
P012	アリル＝ヘキサノアート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	アリル＝ヘキサノアート		藻類												NOEC			0.158	mg/L						平成27年10月23日	2
P012	アリル＝ヘキサノアート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	アリル＝ヘキサノアート		甲殻類												EC50			2	mg/L						平成27年10月23日	2
P012	アリル＝ヘキサノアート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	アリル＝ヘキサノアート		魚類												EC50			0.117	mg/L						平成27年10月23日	1
P013	ヘプタン酸アリル	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	アリル＝ヘプタノアート		甲殻類												EC50			0.89	mg/L						平成27年11月26日	1
P014	1－オクタンアミン			1-オクタンアミン	藻類	Desmodesmus subspicatus								96時間			EC50			0.23	mg/L	区分1	藻類（Desmodesmus subspicatus）の96時間EC50 = 0.23mg/L（SIAP（Conclusions Agreed in SIAM 32, 2011））から、区分1とした。				平成24年度	1
P014	(Z)－9－オクタデセン－1－アミン			(Z)-9-オクタデセン-1-アミン(別名：オレイルアミン)													LC50			0.11	mg/L	区分1	魚類（ファットヘッドミノー）による96時間LC50＝0.11mg/L（EU-RAR, 2008）であることから、区分1とした。				平成24年度	1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P014	（Z）−9−オクタデセン−1−アミン			（Z）-9-オクタデセン-1-アミン（別名：オレイルアミン）	甲殻類	オオミジンコ								21日間			NOEC			0.013	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（難分解性、BODによる分解度：-3, -5, -5%（既存点検, 2008））、甲殻類（オオミジンコ）の21日間NOEC = 0.013 mg/L（EU-RAR, 2008）であることから、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（難分解性、BODによる分解度：-3, -5, -5%（既存点検, 2008））、魚類（ファットヘッドミノー）の96時間LC50 = 0.11 mg/L（EU-RAR, 2008）であることから、区分1となる。 以上の結果から、区分1とした。				平成24年度	1
P014	オクタデシルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	オクタデシルアミン		藻類												EC50			0.12	mg/L						平成25年7月19日	1
P014	オクタデシルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	オクタデシルアミン		藻類												NOEC			0.029	mg/L						平成25年7月19日	1
P014	オクタデシルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	オクタデシルアミン		甲殻類												EC50			0.13	mg/L						平成25年7月19日	1
P014	オクタデシルアミン			オクタデシルアミン　（別名：モノステアリルアミン）	藻類	Scenedesmus subspicatus								72時間			EC50			0.12	mg/L	区分1	藻類（Scenedesmus subspicatus）による72時間ErC50＝0.12 mg/L（EU-RAR, 2007）であることから、区分1とした。				平成25年度	1
P014	ココアルキルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ココアルキルアミン		藻類												EC50			0.17	mg/L						平成25年7月19日	1
P014	ココアルキルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ココアルキルアミン		藻類												NOEC			0.071	mg/L						平成25年7月19日	1
P014	ココアルキルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ココアルキルアミン		甲殻類												EC50			0.045	mg/L						平成25年7月19日	1
P014	ココアルキルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ココアルキルアミン		魚類												EC50			0.16	mg/L						平成25年7月19日	1
P014	ココアルキルアミン			ココアルキルアミン													EC50			0.045	mg/L	区分1	甲殻類（オオミジンコ）による48時間EC50＝0.045 mg/L（EU-RAR, 2008）であることから、区分1とした。				平成25年度	1
P014	ココアルキルアミン			ココアルキルアミン													NOEC			0.013	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（BODによる分解度：56%（EU-RAR, 2008））、甲殻類（オオミジンコ）の21日間NOEC = 0.013 mg/L（EU-RAR, 2008）であることから、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（BODによる分解度：56%（EU-RAR, 2008））、魚類（ニジマス）の96時間LC50 = 0.16 mg/L（EU-RAR, 2008）であることから、区分1となる。 以上の結果から、区分1とした。				平成25年度	1
P015	2−［3−（ドデカノイルアミノ）プロパ−1−イル（ジメチル）アミニオ］アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	［（3−アルカンアミド（C＝8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型）プロピル）（ジメチル）アンモニオ］アセタート又は（Z）−［［3−（オクタデカ−9−エンアミド）プロピル］（ジメチル）アンモニオ］ア		藻類												EC50			3.15	mg/L						平成28年12月27日	2
P015	2−［3−（ドデカノイルアミノ）プロパ−1−イル（ジメチル）アミニオ］アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	［（3−アルカンアミド（C＝8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型）プロピル）（ジメチル）アンモニオ］アセタート又は（Z）−［［3−（オクタデカ−9−エンアミド）プロピル］（ジメチル）アンモニオ］ア		藻類												NOEC			0.3	mg/L						平成28年12月27日	2
P015	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩		藻類												EC50			0.55	mg/L						平成25年7月19日	1
P015	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩		藻類												NOEC			0.09	mg/L						平成25年7月19日	1
P015	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩		甲殻類												EC50			6.5	mg/L						平成25年7月19日	2
P015	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩		甲殻類												NOEC			0.03	mg/L						平成25年7月19日	1
P015	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩		魚類												EC50			2	mg/L						平成25年7月19日	2
P015	（3−アミノプロパン−1−イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN−ヤシアシル誘導体内部塩			（3-アミノプロパン-1-イル）（カルボキシメチル）ジメチルアンモニウムのN-ヤシアシル誘導体内部塩													NOEC			0.09	mg/L	区分2	急速分解性があり（BODによる分解度：86-93%（SIDS, 2012））、藻類（Scenedesmus subspicatus）の72時間NOEC = ca. 0.09 mg/L（SIDS, 2012）であることから、区分2とした。				平成25年度	1
P016	エトキシ化アルコール（C＝9～11）	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	Alcohols,C9-11,ethoxylated		藻類												EC50			1.4	mg/L	1.4（2.5EO）					平成26年11月28日	2
P016	エトキシ化アルコール（C＝9～11）	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	Alcohols,C9-11,ethoxylated		甲殻類												EC50			2.5	mg/L	2.5（2.5EO）					平成26年11月28日	2
P016	エトキシ化アルコール（C＝9～11）	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	Alcohols,C9-11,ethoxylated		魚類												EC50			8.5	mg/L	8.5（6EO）					平成26年11月28日	2
P017	ポリオキシエチレンステアリルエーテル	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	Poly(oxy-1,2-ethanediyl), .alpha.-octadecyl-.omega.-hydroxy-		甲殻類												EC50			0.58	mg/L	EO8.25 0.58					平成30年11月16日	1
P018	アルキル（C＝12～16）（ベンジル）（ジメチル）アンモニウム＝クロリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ベンジル［アルキル（C12～16）］ジメチルアンモニウム＝クロリド		甲殻類												EC50			0.0059	mg/L						平成26年11月28日	1
P018	アルキル（C＝12～16）（ベンジル）（ジメチル）アンモニウム＝クロリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ベンジル［アルキル（C12～16）］ジメチルアンモニウム＝クロリド		甲殻類												NOEC			0.0042	mg/L						平成26年11月28日	1
P018	アルキル（C＝12～16）（ベンジル）（ジメチル）アンモニウム＝クロリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ベンジル［アルキル（C12～16）］ジメチルアンモニウム＝クロリド		魚類												EC50			0.515	mg/L						平成26年11月28日	1
P018	アルキル（C＝12～16）（ベンジル）（ジメチル）アンモニウム＝クロリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ベンジル［アルキル（C12～16）］ジメチルアンモニウム＝クロリド		魚類												NOEC			0.0322	mg/L						平成26年11月28日	1
P019	−	化審法スクリーニング評価結果		−	魚類											急性	E(L)C50			0.87	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h29_03_02_b04.pdf		平成29年11月24日			1
P020	安息香酸ベンジル	化審法リスク評価結果		安息香酸ベンジル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	ムレミカヅキモ	藻類生長阻害						72	時間	急性	EC50			0.475	mg/L							1
P021	9，10−アントラキノン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		アントラキノン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.035	mg/L					H11		1
P021	9，10−アントラキノン			9,10-アントラキノン	水生植物	ウキクサ								8日間			NOEC		<	0.01	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（良分解性、BOD：52.3%（既存点検, 1975））、水生植物（ウキクサ）による8日間NOEC<0.01mg/L（環境省リスク評価第1巻, 2002）であることから、区分1となる。 慢性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（良分解性、BOD：52.3%（既存点検, 1975））、甲殻類（アミ）による48時間LC50＝0.0942mg/L（環境省リスク評価第1巻, 2002）であることから、区分1とした。 以上の結果から、区分1とした。				平成24年度	1
P022	1，1’−（アンモニウムジイルジオクタン−8，1−ジイル）ジグアニジニウム＝トリアセタート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a06_iminoctadine.pdf	イミノクタジン酢酸塩	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験						48	hour	急性	EC50			170	μg/L							1
P022	1，1’−（アンモニウムジイルジオクタン−8，1−ジイル）ジグアニジニウム＝トリアセタート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a06_iminoctadine.pdf	イミノクタジン酢酸塩	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	ムレミカヅキモ	藻類生長阻害試験						72	hour	急性	ErC50			5	μg/L							1
P022	1，1’−（アンモニウムジイルジオクタン−8，1−ジイル）ジグアニジニウム＝トリアセタート	経済産業省「平成28年度化学物質安全対策（化管法指定化学物質候補物質の有害性情報に関する調査）」		イミノクタジン酢酸塩	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72	hour		ErC50	生長阻害		0.005	mg/L	区分 1	魚類、甲殻類、藻類のいずれについても慢性 NOEC は得られていない。本物質は微生物による分解度試験で、「分解され 難い」（化審法データベース）と結論されている。急性データとして、藻類（Pseudokirchneriella subcapitata）の 72 時間 ErC50値（生長阻害）が 0.005 mg/L（農薬公表データ）との記載があるので、「区分 1」とした。					1
P024	2，2−ビス［4−（オキシラン−2−イルメトキシ）フェニル］プロパン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4，4’−イソプロピリデンジフェノールと1−クロロ−2，3−エポキシプロパンの重縮合物（別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（液状のものに限る。）		甲殻類												EC50			1.7	mg/L						平成29年11月24日	2
P024	2，2−ビス［4−（オキシラン−2−イルメトキシ）フェニル］プロパン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4，4’−イソプロピリデンジフェノールと1−クロロ−2，3−エポキシプロパンの重縮合物（別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（液状のものに限る。）		甲殻類												NOEC			0.3	mg/L						平成29年11月24日	2
P025	4−イソプロピル−3−メチルフェノール	化審法スクリーニング評価結果		4−イソプロピル−3−メチルフェノール	甲殻類											急性	E(L)C50			5.7	mg/L		https://www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h30_03_01_b04.pdf		平成30年11月16日			2
P026	α−イソメチルヨノン	化審法スクリーニング評価結果		α−イソメチルヨノン	甲殻類											急性	E(L)C50			2.65	mg/L		https://www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h30_03_01_b04.pdf		平成30年11月16日			2
P027	イマゾスルフロン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Imazosulfuron	藻類	Lemna minor				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				14	day		EC50			0.00046	PPM				H. Galavotti（NLA）	1998	S	1
P027	イマゾスルフロン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Imazosulfuron	藻類	Lemna minor				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				14	day		NOEL			0.00018	PPM				H. Galavotti（NLA）	1998	S	1
P027	イマゾスルフロン	U.S.EPA AQUIRE		2-Chloro-N-[[(4,6-dimethoxy-2-pyrimidinyl)amino]carbonyl]imidazo[1,2-a]pyridine-3-sulfonamide	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								3	day		EC50	POP		206	μg/L		Ref N: 104861		Mohammad,M., T. Kishimoto, K. Itoh, K. Suyama, and H. Yamamoto, Comparative Sensitivity of Pseudokirchnetiella subcapitata vs. Lemna sp. to Eight Sulfonylurea Herbicides, Bull. Environ. Contam. Toxicol.75(5): 866-872, 2005	2005		1
P027	イマゾスルフロン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/355imazosulfuron.pdf	イマゾスルフロン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	ムレミカヅキモ	藻類生長阻害試験						72	hour	急性	ErC50			690	μg/L							1
P028	5−エチリデン−2−ノルボルネン	化審法スクリーニング評価結果		5−エチリデン−2−ノルボルネン	藻類											慢性	NOEC			0.78	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/shinsa/pdf/102_02_00.pdf		平成23年1月21日			2
P028	5−エチリデン−2−ノルボルネン	化審法スクリーニング評価結果		5−エチリデン−2−ノルボルネン	甲殻類											急性	E(L)C50			3.3	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/shinsa/pdf/102_02_00.pdf		平成23年1月21日			2
P029	エチルシクロヘキサン	化審法スクリーニング評価結果		エチルシクロヘキサン	藻類											慢性	NOEC			0.22	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h27_03_b04_02.pdf		平成27年10月23日			2

■生態毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考		
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス	
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考							
P029	エチルシクロヘキサン	化審法スクリーニング評価結果		エチルシクロヘキサン	藻類											急性	E(L)C50			0.63	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h27_03_b04_02.pdf		平成27年10月23日			1	
P029	エチルシクロヘキサン	政府GHS分類結果		エチルシクロヘキサン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72	時間	急性	E(L)C50			0.63	mg/L	区分1	藻類（Pseudokirchneriella subcapitata）による72時間 EC50 = 0.63 mg/L（環境省生態影響試験, 2004）であることから、区分1とした。		環境省生態影響試験, 2004			1	
P030	5－エチル－5, 8－ジヒドロ－8－オキソ－1, 3－ジオキソロ[4, 5－g]－キノリン－7－カルボン酸	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a24_oxolinic-acid.pdf	オキソリニック酸	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験						48	hour	急性	EC50			4500	μg/L							2	
P030	5－エチル－5, 8－ジヒドロ－8－オキソ－1, 3－ジオキソロ[4, 5－g]－キノリン－7－カルボン酸	政府GHS分類結果		5－エチル－5, 8－ジヒドロ－8－オキソ－1, 3－ジオキソロ[4, 5－g]－キノリン－7－カルボン酸	甲殻類		オオミジンコ							21	日間	慢性	NOEC			0.38	mg/L	区分2	急速分解性がなく（BIOWIN）、甲殻類（オオミジンコ）の21日間NOEC ＝0.38 mg/Lである（AQUIRE , 2012）ことから、区分2となる。		mg/L			2	
P030	5－エチル－5, 8－ジヒドロ－8－オキソ－1, 3－ジオキソロ[4, 5－g]－キノリン－7－カルボン酸	政府GHS分類結果		5－エチル－5, 8－ジヒドロ－8－オキソ－1, 3－ジオキソロ[4, 5－g]－キノリン－7－カルボン酸	甲殻類		オオミジンコ							48	時間	急性	E(L)C50			4.6	mg/L	区分2	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50 = 4.6mg/L（AQUIRE, 2012）から、区分2とした。		AQUIRE, 2012			2	
P031	N－エチル－N, N－ジメチルテトラデカン－1－アミニウムの塩	化審法スクリーニング評価結果		N－エチル－N, N－ジメチルテトラデカン－1－アミニウムの塩	藻類	Peudokirchreilla subcapitata								72	hour		EC50	growth rate		0.00253	mg/L						平成30年11月16日	1	
P031	N－エチル－N, N－ジメチルテトラデカン－1－アミニウムの塩	化審法スクリーニング評価結果		N－エチル－N, N－ジメチルテトラデカン－1－アミニウムの塩	藻類	Peudokirchreilla subcapitata								72	hour		NOEC	growth rate		0.00109	mg/L						平成30年11月16日	1	
P031	N－エチル－N, N－ジメチルテトラデカン－1－アミニウムの塩	化審法スクリーニング評価結果		N－エチル－N, N－ジメチルテトラデカン－1－アミニウムの塩	甲殻類	Daphnia magna								48	hour		EC50	mobility		0.0157	mg/L						平成30年11月16日	1	
P031	N－エチル－N, N－ジメチルテトラデカン－1－アミニウムの塩	化審法スクリーニング評価結果		N－エチル－N, N－ジメチルテトラデカン－1－アミニウムの塩	魚類	Oryzias latipes								96	hour		LC50	Mortality		3.56	mg/L						平成30年11月16日	2	
P033	－	化審法スクリーニング評価結果		－	魚類											急性	E(L)C50			3.08	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2	
P034	（4－エトキシフェニル）｛3－[（4－フルオロ－3－フェノキシ）フェニル]プロピル｝（ジメチル）シラン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s17_silafluofen.pdf	シラフルオフェン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験						48	hour	急性	EC50			0.67	μg/L							1	
P034	（4－エトキシフェニル）｛3－[（4－フルオロ－3－フェノキシ）フェニル]プロピル｝（ジメチル）シラン	経済産業省「平成28年度化学物質安全対策（化管法指定化学物質候補物質の有害性情報に関する調査）」		シラフルオフェン	甲殻類	Daphnia magna								48	hour		EC50	遊泳阻害		0.67	μg/L	区分 1	3 つの栄養段階全てで慢性 NOEC は得られていないが、急性毒性データとして、甲殻類（Daphnia magna）の 48 時間 EC50値（遊泳阻害）が 0.67 μg/L（農薬公表データ）との報告がある。また、本物質の BCF は 855（農薬公表データ）と報告されている。以上より、水生環境有害性を「区分 1」とした。					1	
P035	塩素酸（水溶液）	環境省「化学物質の環境リスク評価」		塩素酸	藻類	Nitzschia closterium		生長阻害						72	hour	慢性	NOEC	growth rate	<	500	μg/L		Stauber1)-4700は、珪藻類 Nitzschia closterium の生長阻害試験を実施した。被験物質には塩素酸カリウムが用いられた。設定試験濃度は 0（対照区）、0.5、1、5、10、20 mg ClO3-/L（公比 2又は 5）であった。試験用水にはろ過海水が用いられた。被験物質の実測濃度は、試験開始時及び終了時ともに設定濃度の 10%以内の増減の範囲にあった。毒性値の算出には設定濃度が用いられた。速度法に基づく 72 時間半数影響濃度(EC50)は 1,900 μg ClO3-/L、72 時間無影響濃度(NOEC)は 500μg ClO3-/L 未満とされた。					2	
P036	15－ペンタデカンオリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	15－ペンタデカンオリド		藻類												NOEC			0.421	mg/L						平成27年10月23日	2	
P036	15－ペンタデカンオリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	15－ペンタデカンオリド		甲殻類												NOEC			0.068	mg/L						平成27年10月23日	1	
P037	オキシテトラサイクリン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a31_oxytetracycline.pdf	オキシテトラサイクリン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、3950、5930、8890、13300、20000	μg/L		96	hour	急性	LC50			5340	μg/L	(95%信頼限界 4,360-6,520)(設定濃度に基づく算出値を被験物質の力価で換算した値)	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio）10 尾／群 暴露方法 半止水式（暴露開始 48 時間後に換水） 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 3,950 5,930 8,890 13,300 20,000 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 3,610 5,510 8,040 11,700 17,600 死亡数／供試生物数 （96hr 後；尾） 0/10 0/10 0/10 0/10 10/10 10/10 助剤 なし LC50（μg/L） 5,340 (95%信頼限界 4,360-6,520)(設定濃度に基づく算出値 を被験 物質の力価で換算した値）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 オキシテトラサイクリン	平成25年		2	
P037	オキシテトラサイクリン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a31_oxytetracycline.pdf	オキシテトラサイクリン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0、781、1090、1530、2140、3000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		843	μg/L	(95%信頼限界 774-916)（設定濃度に基づく算出値を被験物質の力価で換算した値）	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna）20 頭／群 暴露方法 半止水式（暴露開始 24 時間後に換水） 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 0 781 1,090 1,530 2,140 3,000 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 690 987 1,400 1,930 2,710 遊泳阻害数/供試生 物数(48hr 後；頭） 0/20 0/20 0/20 5/20 18/20 20/20 助剤 なし EC50（μg/L） 843 (95%信頼限界 774-916)（設定濃度に基づく算出値を被 験物 質の力価で換算した値）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 オキシテトラサイクリン	平成25年		1	
P037	オキシテトラサイクリン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a31_oxytetracycline.pdf	オキシテトラサイクリン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			0、107、235、517、1140、2500	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		111	μg/L	実測濃度に基づく算出値を被験物質の力価で換算した値	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 0 107 235 517 1,140 2,500 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 30.9 51.6 133 334 969 72hr 後生物量 （×104 cells/mL） 94.8 101 63.3 32.5 3.94 1.56 0-72hr 生長阻害率 （%） -1.5 11 24 71 90 助剤 なし ErC50（μg/L） 111 (実測濃度に基づく算出値を被験物質の力価で換算し た値） NOECr（μg/L） 15.1 (実測濃度に基づく算出値を被験物質の力価で換算し た値）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 オキシテトラサイクリン	平成25年		1	
P038	4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	政府GHS分類結果		4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	甲殻類		オオミジンコ							48	時間	急性	E(L)C50			2.9	mg/L	区分2	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50=2.9mg/L（環境省生態影響試験、2002）から、区分2とした。		環境省生態影響試験、2002			2	
P038	4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.059	mg/L					H14		1	修正（根拠データの追加）
P038	4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			3.5	mg/L					H14		2	修正（根拠データの追加）
P038	4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.7	mg/L					H14		2	修正（根拠データの追加）
P038	4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		4, 4’－オキシビス（ベンゼンスルホノヒドラジド）	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			2.9	mg/L					H14		2	修正（根拠データの追加）
P039	（脂肪酸（C＝12～20、不飽和C＝12～20）の2－［[3－（アシル（C＝12～20、不飽和C＝12～20）アミノ）プロピル]（メチル）アミノ］エチル＝エステル）塩酸塩	環境省「化学物質の環境リスク評価」		N－［3－[オクタデカン（又はヘキサデカン若しくはテトラデカン）アミド]プロピル］－N－メチル－2－[オクタデカノイル（又はヘキサデカノイル若しくはテトラデカノイル）オキシ]エチルアンモニウム＝クロリド	藻類											急性	EC50			0.051	mg/L							1	
P039	（脂肪酸（C＝12～20、不飽和C＝12～20）の2－［[3－（アシル（C＝12～20、不飽和C＝12～20）アミノ）プロピル]（メチル）アミノ］エチル＝エステル）塩酸塩	環境省「化学物質の環境リスク評価」		N－［3－[オクタデカン（又はヘキサデカン若しくはテトラデカン）アミド]プロピル］－N－メチル－2－[オクタデカノイル（又はヘキサデカノイル若しくはテトラデカノイル）オキシ]エチルアンモニウム＝クロリド	藻類											慢性	NOEC			0.0083	mg/L							1	

■生態毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P039	（脂肪酸（C＝12～20、不飽和C＝12～20）の2－［［3－（アシル（C＝12～20、不飽和C＝12～20）アミノ）プロピル］（メチル）アミノ］エチル＝エステル）塩酸塩	環境省「化学物質の環境リスク評価」		N－［3－［オクタデカン（又はヘキサデカン若しくはテトラデカン）アミド］プロピル］－N－メチル－2－［オクタデカノイル（又はヘキサデカノイル若しくはテトラデカノイル）オキシ］エチルアンモニウム＝クロリド	魚類											急性	EC50			4	mg/L							2
P040	オクタブロモジフェニルエーテル類	環境省「化学物質の生態影響試験について」		オクタブロモジフェニルエーテル〈オクタブロモジフェニルオキサイド〉	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.012	mg/L					H15		1
P041	2，2，4，4，6，6，8，8－オクタメチルシクロテトラシロキサン	政府GHS分類結果		2，2，4，4，6，6，8，8－オクタメチルシクロテトラシロキサン	魚類		ニジマス							93	日間	慢性	NOEC			0.0044	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（BIOWIN）、魚類（ニジマス）の93日間NOEC＝0.0044 mg/L（AQUIRE, 2012）であることから、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、藻類及び甲殻類について水溶解度までの濃度で急性毒性が報告されていないことから区分外であるが、難水溶性であり（水溶解度：0.005 mg/L（PHYSPROP Database, 2012）、急速分解性ではなく（BIOWIN）、log Kow＞4（測定値：5.1（PHYSPROP Database, 2012）、魚類（ニジマス）の93日間NOEC＝0.0044 mg/L（<1 mg/L、AQUIRE, 2012）であることから、区分4となる。 以上の結果を比較し、区分1とした。		mg/L			1
P042	オレオイルザルコシン	化審法スクリーニング評価結果		オレオイルザルコシン	藻類											慢性	NOEC			0.91	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h25_02_04_02_01.pdf		平成25年7月19日			2
P042	オレオイルザルコシン	化審法スクリーニング評価結果		オレオイルザルコシン	甲殻類											急性	E(L)C50			0.43	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h25_02_04_02_01.pdf		平成25年7月19日			1
P044	過酢酸	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	過酢酸		藻類												EC50			0.16	mg/L						平成29年11月24日	1
P044	過酢酸	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	過酢酸		藻類												NOEC			0.061	mg/L						平成29年11月24日	1
P044	過酢酸	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	過酢酸		甲殻類												EC50			0.48	mg/L						平成29年11月24日	1
P044	過酢酸	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	過酢酸		甲殻類												NOEC			0.0121	mg/L						平成29年11月24日	1
P044	過酢酸	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	過酢酸		魚類												EC50			0.078	mg/L						平成29年11月24日	1
P044	過酢酸	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	過酢酸		魚類												NOEC			0.0022	mg/L						平成29年11月24日	1
P044	過酢酸			過酢酸	甲殻類	ｵｵﾐｼﾞﾝｺ								48時間			EC50			0.04	mg/L	区分1	甲殻類(ｵｵﾐｼﾞﾝｺ)48時間EC50(遊泳阻害)= 0.04 mg/L[0.73 mg/L 純度:5.2%(換算値)](OECD SIDS: 2008)であることから、区分1とした。分類には、試験物質と過酸化水素、酢酸の混合物の結果を使用した。				平成30年度	1
P044	過酢酸			過酢酸	藻類	ﾑﾚﾐｶﾂﾞｷﾓ								72時間			NOEC			0.013	mg/L	区分2	急速分解性があり(良分解性、類似化学物質の分解性との比較により判定(化審法DB: 2012))、藻類(ﾑﾚﾐｶﾂﾞｷﾓ)の72時間NOEC(生長速度)= 0.013 mg/L[0.084 mg/L 純度:15%(換算値)][(OECD SIDS: 2008)であることから、区分2とした。分類には、試験物質と過酸化水素、酢酸の混合物の結果を使用した。				平成30年度	1
P045	カリウム＝ジエチルジチオカルバマート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カリウム＝ジエチルジチオカルバマート		甲殻類												EC50			0.91	mg/L						平成26年11月28日	1
P045	カリウム＝ジエチルジチオカルバマート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カリウム＝ジエチルジチオカルバマート		甲殻類												NOEC			0.008	mg/L						平成26年11月28日	1
P045	カリウム＝ジエチルジチオカルバマート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カリウム＝ジエチルジチオカルバマート		魚類												EC50			6.9	mg/L						平成26年11月28日	2
P046	2，2－ジメチル－3－メチレンビシクロ［2．2．1］ヘプタン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カンフェン		藻類												EC50			1.75	mg/L						平成26年11月28日	2
P046	2，2－ジメチル－3－メチレンビシクロ［2．2．1］ヘプタン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カンフェン		藻類												NOEC			0.07	mg/L						平成26年11月28日	1
P046	2，2－ジメチル－3－メチレンビシクロ［2．2．1］ヘプタン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カンフェン		甲殻類												EC50			0.72	mg/L						平成26年11月28日	1
P046	2，2－ジメチル－3－メチレンビシクロ［2．2．1］ヘプタン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カンフェン		魚類												EC50			0.72	mg/L						平成26年11月28日	1
P046	2，2－ジメチル－3－メチレンビシクロ［2．2．1］ヘプタン			カンフェン（光学異性体mix）	魚類	シープスヘッドミノー								96時間			LC50			1.9	mg/L	区分2	魚類（シープスヘッドミノー）の96時間LC50＝1.9 mg/Lである（SIDS, 2002）ことから、区分2とした。				平成24年度	2
P047	（3R，4S，5S，6R，7R，9R，11R，12R，13S，14R）－6－｛［（2S，3R，4S，6R）－4－（ジメチルアミノ）－3－ヒドロキシ－6－メチルテトラヒドロ－2H－ピラン－2－イル］オキシ｝－14－エチル－12，13－ジヒドロキシ－4－｛［（2R，4R，5S，6S）－5－ヒドロキシ－4－メトキシ－4，6－ジメチルテトラ＝ヒドロ－2H－ピラン－2－イル］オキシ｝－7－メトキシ－3，5，7，9，11，13－ヘキサメチルオキサシクロテトラデカン－2，10－ジオン	環境省「化学物質の環境リスク評価」		クラリスロマイシン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		生長阻害						72	hour	急性	EC50	growth rate		6.9	μg/L							1
P048	N－（ホスホノメチル）－グリシン	政府GHS分類結果		N-(ホスホノメチル)グリシン (別名：グリホサート)	藻類		スケレトネマ							96	hour	急性	EC50			0.85	mg/L	区分1	藻類（スケレトネマ）の96時間EC50 = 0.85 mg/L（U.S. EPA: RED, 1993）であることから、区分1とした。					1
P049	クロラントラニリプロール	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorantraniliprole	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		EC50			0.0116	PPM				E. Odenkirchen（HKL）	2003	C	1
P049	クロラントラニリプロール	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorantraniliprole 35WG formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		EC50			0.011	PPM				E. Odenkirchen（HKL）	2005	C	1
P049	クロラントラニリプロール	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorantraniliprole	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		EC50			0.0166	PPM				E. Odenkirchen（HKL）	2005	S	1
P049	クロラントラニリプロール	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorantraniliprole	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				NR.	–		EC50			0.0098	PPM				E. Odenkirchen（HKL）	2006	C	1
P049	クロラントラニリプロール	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorantraniliprole 20 SC formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		EC50			0.0071	PPM				E. Odenkirchen（HKL）	2006	C	1
P049	クロラントラニリプロール	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorantraniliprole IN-GAZ70 metabolite	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		NOEL			0.00987	PPM				E. Odenkirchen（HKL）	2006	C	1
P049	クロラントラニリプロール	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/k04_chlorantraniliprole.pdf	クロラントラニリプロール	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0.5、1.0、2.0、4.0、8.0、16.0	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		11.6	μg/L	(95%信頼限界 10.0～13.7)(実測濃度に基づく)	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 0.5、1.0、2.0、4.0、8.0、16.0（公比 2） 実測濃度（μg/L） 0.686、1.39、2.69、5.45、11.0、19.9 助剤 DMF 0.1ml/L（最大） EC50（μg/L） 11.6 (95%信頼限界 10.0～13.7)(実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 嗜眠(2.69μg/L 以上群)、浮遊（5.45 及び 11.0μg/L 群）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 クロラントラニリプロール	平成21年		1
P049	クロラントラニリプロール	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/k04_chlorantraniliprole.pdf	クロラントラニリプロール	甲殻類	Paratya compressa improvisa	ヌカエビ	ヌマエビ・ヌカエビ急性毒性試験			10、32、100、320、1000、3200	μg/L		96	hour	急性	LC50			680	μg/L	95%信頼限界 430～1,100	被験物質 原体 供試生物 ヌカエビ（Paratya compressa improvisa） 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 10、32、100、320、1,000、3,200（公比 3.2） 実測濃度（μg/L） 10、33、99、312、958、3,100 助剤 DMF 0.1ml/L LC50（μg/L） 680 (95%信頼限界 430～1,100)(実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 観察の結果、異常な症状は見られなかった。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 クロラントラニリプロール	平成21年		1
P049	クロラントラニリプロール	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/k04_chlorantraniliprole.pdf	クロラントラニリプロール	甲殻類	Chironomus riparius		ユスリカ幼虫急性毒性試験			50, 100, 200, 400, 800	μg/L		48	hour	急性	LC50			85.9	μg/L	95%信頼限界 59.5～116	被験物質 原体 供試生物 Chironomus riparius 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 50、100、200、400、800（公比 2） 実測濃度（μg/L） 49.1、107、200、387、767 助剤 DMF 0.1ml/L（最大） LC50（μg/L） 85.9 (95%信頼限界 59.5～116)(実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 不活発(49.1-200μg/L 群)、蒼白（107、200μg/L 群）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 クロラントラニリプロール	平成21年		1
P050	2－クロロ－N－（2－エチル－6－メチルフェニル）－N－［（R）－1－メトキシプロパン－2－イル］アセトアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/m06_metolachlor.pdf	S-メトラクロール	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			2、4、8、16、32、64、128 (公比 2)	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		47	μg/L	(95%信頼限界 36～62)(実測濃度に基づく)	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 96 h 設定濃度（μg/L） 2、4、8、16、32、64、128 (公比 2) 実測濃度（μg/L） −、−、4.93、8.93、16.1、45.1、99.4 助剤 なし ErC50（μg/L） 47 (0-72h) (95%信頼限界 36～62)(実測濃度に基づく) NOECr（μg/L） 8.9 (0-72h)(実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 観察の結果、藻類細胞の形態および大きさに明らかな影響は認められなかった		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 メトラクロール及びS－メトラクロール	平成21年		1
P051	2，4，4’－トリクロロ－2’－ヒドロキシジフェニルエーテル	化審法スクリーニング評価結果		5-クロロ-2-(2',4'-ジクロロフェノキシ)フェノール	甲殻類												EC50			0.17	mg/L						平成27年10月23日	1
P051	2，4，4’－トリクロロ－2’－ヒドロキシジフェニルエーテル	化審法スクリーニング評価結果		5-クロロ-2-(2',4'-ジクロロフェノキシ)フェノール	魚類												EC50			0.1	mg/L						平成27年10月23日	1
P052	2－クロロ－N－（2，4－ジメチルチエン－3－イル）－N－［（2S）－1－メトキシプロパン－2－イル］アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			10	PPM				J. Edwards（WLI）	1996	C	2
P052	2－クロロ－N－（2，4－ジメチルチエン－3－イル）－N－［（2S）－1－メトキシプロパン－2－イル］アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			6.3	PPM				J. Edwards（WLI）	1996	C	2
P052	2－クロロ－N－（2，4－ジメチルチエン－3－イル）－N－［（2S）－1－メトキシプロパン－2－イル］アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Navicula pelliculosa				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				5	day		EC50			0.33	PPM				J. Edwards（SBI）	1997	C	1
P052	2－クロロ－N－（2，4－ジメチルチエン－3－イル）－N－［（2S）－1－メトキシプロパン－2－イル］アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				5	day		EC50			0.37	PPM				J. Edwards（SBI）	1997	C	1
P052	2－クロロ－N－（2，4－ジメチルチエン－3－イル）－N－［（2S）－1－メトキシプロパン－2－イル］アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Skeletonema costatum				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				5	day		EC50			0.125	PPM				J. Edwards（SBI）	1997	C	1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年			
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考							
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		EC50			0.014	PPM				J. Edwards(SBI)	1997	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		EC50			0.0139	PPM				J. Edwards(SBI)	1997	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid/Saflufenacil (118203) mixture	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		EC50			23	PPB				A. Pease/PMRA(BAS)	2008	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid/Saflufenacil (118203) mixture	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		EC50			14	PPB				A. Pease/PMRA(WLI)	2008	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Navicula pelliculosa				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			0.056	PPM				J. Edwards(SBI)	1997	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			0.028	PPM				J. Edwards(SBI)	1997	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Skeletonema costatum				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			0.03	PPM				J. Edwards(SBI)	1997	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			0.0021	PPM				J. Edwards(SBI)	1997	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		NOEL			0.0073	PPM				J. Edwards(SBI)	1997	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid/Saflufenacil (118203) mixture	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		NOEL			1.2	PPB				A. Pease/PMRA(BAS)	2008	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		(S)-Dimethenamid/Saflufenacil (118203) mixture	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		NOEL			3.9	PPB				A. Pease/PMRA(WLI)	2008	C	1	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s06_dimethenamid.pdf	ジメテナミドP		Lepomis macrochirus	ブルーギル	魚類急性毒性試験			2,600、4,300、7,200、12,000、20,000	μg/L		96	hour	急性	LC50			9500	μg/L	(95%信頼限界 6,800-11,000)（実測濃度に基づく）	被験物質 原体 供試生物 ブルーギル（Lepomis macrochirus） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 2,600、4,300、7,200、12,000、20,000 実測濃度（μg/L） 2,600、4,100、7,500、12,000、20,000 助剤 DMF0.1ml/L LC50（μg/L） 9,500 (95%信頼限界 6,800-11,000)（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 暗色化、嗜眠（7,500μg/L 群）（いずれも実測濃度に基づく） 備考 設定濃度、実測濃度は総ジメテナミドの値を表示。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメテナミド及びジメテナミドP	平成21年		2	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s06_dimethenamid.pdf	ジメテナミドP		Oncorhynchus mykiss	ニジマス	魚類急性毒性試験			1,300、2,200、3,600、6,000、10,000	μg/L		96	hour	急性	LC50			5700	μg/L	(95%信頼限界 3,400-10,000)（実測濃度に基づく）	被験物質 原体 供試生物 ニジマス（Oncorhynchus mykiss） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 1,300、2,200、3,600、6,000、10,000 実測濃度（μg/L） 1,400、2,300、3,700、6,500、11,000 助剤 DMF 0.1ml/L LC50（μg/L） 5,700(95%信頼限界 3,400-10,000)（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 水面浮上（6,500μg/L）（実測濃度に基づく） 備考 設定濃度、実測濃度は総ジメテナミドの値を表示。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメテナミド及びジメテナミドP	平成21年		2	
P052	2－クロロ－N－(2，4－ジメチルチエン－3－イル)－N－[(2S)－1－メトキシプロパン－2－イル]アセトアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s06_dimethenamid.pdf	ジメテナミドP		Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			1.6、3.0、6.3、13、25、50	μg/L		120	hour	急性	ErC50	生長阻害		29	μg/L	(0-72h)(95%信頼限界 28-30)（実測濃度に基づく）	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 120 h 設定濃度（μg/L） 1.6、3.0、6.3、13、25、50 実測濃度（μg/L） 1.3、2.1、5.4、9.6、21、44 助剤 なし ErC50（μg/L） 29 (0-72h)(95%信頼限界 28-30)（実測濃度に基づく） NOECr（μg/L） 9.6（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 報告書に情報なし		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメテナミド及びジメテナミドP	平成21年		1	
P053	3－[(2－クロロ－1，3－チアゾール－5－イル)メチル]－5－メチル－N－ニトロ－1，3，5－オキサジアジナン－4－イミン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/305thiamethoxam.pdf	チアメトキサム	甲殻類	Chironomus riparius	ドブユスリカ	ユスリカ幼虫急性遊泳阻害試験						48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		35	μg/L	（95%信頼限界 30－41）（実測濃度（有効成分換算値）に基づく）	被験物質 原体 供試生物 ドブユスリカ（Chironomus riparius） 20 頭/群 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L）（有 効成分換算値） 0 6.3 13 25 50 100 実測濃度（μg/L）（算 術平均値、 有効成分換算値） 0 6.6 13 26 52 104 遊泳阻害数/供試生 物数（48hr 後；頭） 0/20 0/20 0/20 2/20 19/20 20/20 助剤 なし EC50（μg/L） 35（95%信頼限界 30－41）（実測濃度（有効成分換算値）に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 チアメトキサム	平成28年		1	
P054	(E)－1－(2－クロロ－1，3－チアゾール－5－イルメチル)－3－メチル－2－ニトログアニジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/302clothianidin.pdf	クロチアニジン	甲殻類	Chironomus riparius	ドブユスリカ	ユスリカ幼虫急性遊泳試験						48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		28	μg/L							1	
P054	(E)－1－(2－クロロ－1，3－チアゾール－5－イルメチル)－3－メチル－2－ニトログアニジン	経済産業省「平成28年度化学物質安全対策（化管法指定化学物質候補物質の有害性情報に関する調査）」		クロチアニジン	甲殻類	Americamysis bahia								39	day		NOEC			5.1	μg/L	区分 1	Americamysis bahia の 39 日間 NOEC が「5.1　μg/L」（AQUIRE）との記載があるため「区分 1」とした。					1	
P055	1-((6-Chloro-3-pyridinyl)methyl)-N-nitro-2-imidazolidinimine	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/349imidacloprid_1.pdf	イミダクロプリド	甲殻類	Chironomus riparius	ドブユスリカ	ユスリカ幼虫急性遊泳阻害試験						48	hour	急性	EC50			19.7	μg/L							1	
P056	N－{3－[(6－クロロ－3－ピリジル)メチル]－1，3－チアゾリジン－2－イリデン}カルバモニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/353thiacloprid_1.pdf	チアクロプリド	甲殻類	Chironomus riparius	ドブユスリカ	ユスリカ幼虫急性遊泳阻害試験						48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		10.8	μg/L	（95%信頼限界 5.29－17.5）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）	被験物質 原体 供試生物 ドブユスリカ（Chironomus riparius） 30 頭/群 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） （有効成分換算値） 0 1.00 2.20 4.80 10.6 23.4 51.5 実測濃度（μg/L） （暴露開始時～暴 露終了時、有効成分 換算値） 0 0.980～ 0.981 2.14～ 2.19 4.67～ 4.76 10.3～ 10.6 22.4～ 22.9 50.3～ 52.1 遊泳阻害数/供試生 物数（48hr 後；頭） 1/30 2/30 3/30 6/30 10/30 30/30 30/30 助剤 なし EC50（μg/L） 10.8（95%信頼限界 5.29－17.5）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 チアクロプリド	平成29年		1	
P056	N－{3－[(6－クロロ－3－ピリジル)メチル]－1，3－チアゾリジン－2－イリデン}カルバモニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/353thiacloprid_1.pdf	チアクロプリド	甲殻類	Hyallela azteca	ヨコエビ属の一種	ヨコエビ急性毒性試験						96	hour	急性	LC50			3360	μg/L	95%信頼限界 2,310-4,890	被験物質 純度 98.0% 供試生物 ヨコエビ属の一種（Hyallela azteca） 20 匹/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 512 1,280 3,200 8,000 20,000 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 523 1,280 3,230 8,030 20,100 死亡数/供試生物数 （96hr 後；頭） 0/20 1/20 6/20 8/20 14/20 20/20 助剤 なし LC50（μg/L） 3,360（95%信頼限界 2,310-4,890）（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 チアクロプリド	平成29年		2	
P057	(E)－N－(1－{N－[(6－クロロ－3－ピリジル)メチル]－N－メチルアミノ}エチリデン)カルバモニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Acetamiprid	藻類	Lemna gibba				122-2(Tier I Aquatic Plant Growth-single dose(FIFRA 158.540))				14	day		NOEL			1000	PPB				K. Curren(PMRA)(SBI)	1997	C	2	修正（番号を訂正）
P057	(E)－N－(1－{N－[(6－クロロ－3－ピリジル)メチル]－N－メチルアミノ}エチリデン)カルバモニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Acetamiprid	藻類	Skeletonema costatum				122-2(Tier I Aquatic Plant Growth-single dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			1000	PPB				M. Kivi(PMRA)(SBI)	1997	C	2	修正（番号を訂正）
P057	(E)－N－(1－{N－[(6－クロロ－3－ピリジル)メチル]－N－メチルアミノ}エチリデン)カルバモニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/369acetamiprid.pdf	アセタミプリド	甲殻類	Chironomus yoshimatsui	セスジユスリカ	ユスリカ幼虫急性遊泳試験						48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		7.6	μg/L							1	修正（番号を訂正）
P057	(E)－N－(1－{N－[(6－クロロ－3－ピリジル)メチル]－N－メチルアミノ}エチリデン)カルバモニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/369acetamiprid.pdf	アセタミプリド	甲殻類	Paratya compressa improvisa	ヌカエビ	ヌカエビ急性毒性試験						96	hour	急性	LC50			23	μg/L							1	修正（番号を訂正）
P057	(E)－N－(1－{N－[(6－クロロ－3－ピリジル)メチル]－N－メチルアミノ}エチリデン)カルバモニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/369acetamiprid.pdf	アセタミプリド	甲殻類	Hyalella azteca	ヨコエビ	ヨコエビ急性毒性試験						96	hour	急性	LC50			66	μg/L							1	修正（番号を訂正）
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorpropham	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			3.02	PPM				J. Noles(CLI)	1975	S	2	
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorpropham	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			6.3	PPM				J. Noles(CLI)	1975	S	2	
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorpropham	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			5.7	PPM				J. Noles(ABL)	1987	C	2	
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorpropham	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			3.7	PPM				H. Mansfield(WLI)	1992	C	2	
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorpropham	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			6.8	PPM				J. Noles(ABL)	1987	C	2	
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorpropham/Napthalam (Alanap Plus)	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			5.35	PPM				B. Montague(ARC)	1968	S	2	
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorpropham	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.56	PPM				J. Noles(ABL)	1987	C	2	
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorpropham	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			0.77	PPM				H. Mansfield(WLI)	1992	C	2	
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/343chlorpropham_1.pdf	クロルプロファム（IPC）	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、1000、1800、3200、5600、10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			6700	μg/L	（95%信頼限界 5,000－9,000）（実測濃度（有効成分換算値）に基づく）	被験物質 原体 供試生物 コイ(Cyprinus carpio) 7 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 1,000 1,800 3,200 5,600 10,000 実測濃度（μg/L） （算術平均値） 0 900 1,500 2,700 5,100 9,100 死亡数/供試生物数 （96hr 後；尾） 0/7 0/7 0/7 0/7 0/7 7/7 助剤 なし LC50（μg/L） 6,700（95%信頼限界 5,000－9,000）（実測濃度（有効成分換算値）に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 クロルプロファム（IPC）	平成29年		2	

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果											文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン/GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文 信頼性ランク		文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/243chlorpropham_1.pdf	クロルプロファム（IPC）	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0, 2200, 4600, 10000, 22000, 46000, 100000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		3700	μg/L	(95%信頼区間:2,800－4,600)(暴露開始時実測濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ(Daphnia magna) 20 頭/群 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度(μg/L) 0 2,200 4,600 10,000 22,000 46,000 100,000 実測濃度(μg/L) (暴露開始時) 0 1,700 4,000 8,400 18,500 38,900 82,000 遊泳阻害数/供試生物(48hr 後/頭) 0/20 0/20 15/20 17/20 20/20 20/20 20/20 助剤 なし EC50(μg/L)※ 3,700(95%信頼区間:2,800－4,800)(暴露開始時実測濃度(有効成分換算値)に基づく) ※ 試験期間を通して、実測濃度の変動が暴露開始時実測濃度の±20%未満であったため、EC50 の算出に当たっては暴露開始時実測濃度を用いた。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 クロルプロファム（IPC）	平成29年		2
P058	N－(3－クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/343chlorpropham_1.pdf	クロルプロファム（IPC）	藻類	P. subcapitata		藻類生長阻害試験			0, 100, 230, 500, 1100, 2400, 5300	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		1700	μg/L	(95%信頼限界 1,400－2,100)(設定濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 P. subcapitata 初期生物量 1×10 4 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72h 設定濃度(μg/L) 0 100 230 500 1,100 2,400 5,300 実測濃度(μg/L) (算術平均値) 0 92 190 430 1,000 2,300 5,300 0-72hr 後生物量 (×10 4 cells/mL) 46 43 49 39 28 2.0 2.0 0-72hr 生長阻害率 (%) 1.6 -0.7 4.4 13 78 78 助剤 DMF 0.1mL/L ErC50(μg/L) 1,700(95%信頼限界 1,400－2,100)(設定濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 クロルプロファム（IPC）	平成29年		2
P059	2－[2－クロロ－4－(メチルスルホニル)－3－[(オキソラン－2－イル)メトキシ]メチル]ベンゾイル]シクロヘキサン－1, 3－ジオン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/152tefuryltrione.pdf	テフリルトリオン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			320, 560, 1000, 1800, 3200, 5600	μg/L		96	hour	急性	ErC50	生長阻害		5300	μg/L	(0-72h):(95%信頼限界 4,610-6,790)(実測濃度に基づく)	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 96 h 設定濃度(μg/L) 320 560 1,000 1,800 3,200 5,600 実測濃度(μg/L) 320 550 990 1,600 3,100 4,480 助剤 アセトン 0 1mL/L ErC50(μg/L) 5,300 (0-72h) (95%信頼限界 4,610-6,790)(実測濃度に基づく) NOEC(μg/L) 996 (設定濃度に基づく有効成分換算値) 異常な成状及び反応 報告書に情報なし。 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 テフリルトリオン	平成20年		2
P060	3－[2－クロロ－4－(メチルスルホニル)ベンゾイル]－4－(フェニルスルファニル)ビシクロ[3. 2. 1]オクター3－エン－2－オン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/270benzobicyclon.pdf	ベンゾビシクロン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0, 250, 354, 500, 707, 1000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		341	μg/L	実測濃度(有効成分換算値)に基づく	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ(Daphnia magna) 20 頭/群 暴露方法 半止水式(1 日 2 回換水) 暴露期間 48h 設定濃度(μg/L) 0 250 354 500 707 1,000 実測濃度(μg/L) (時間加重平均値) 0 201 283 397 561 675 遊泳阻害数/供試生物(48hr 後/頭) 0/20 0/20 0/20 19/20 17/20 20/20 助剤 DMF 100mg/L EC50(μg/L) 341(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 ベンゾビシクロン	平成27年		1
P061	N－(3－クロロ－4－メチルフェニル)－4－メチル－1, 2, 3－チアジアゾール－5－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/339cadinil.pdf	チアジニル	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0, 630, 1300, 2500, 5000, 10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			7000	μg/L	設定濃度(有効成分換算値)に基づく	被験物質 原体 供試生物 コイ(Cyprinus carpio) 10 尾/群 暴露方法 半止水式(暴露開始 48 時間後に換水) 暴露期間 96h 設定濃度(μg/L) 0 630 1,300 2,500 5,000 10,000 実測濃度(μg/L) (時間加重平均値) 0 570 1,200 2,400 4,800 10,000 死亡数/供試生物数 (96hr 後/頭) 0/10 0/10 0/10 0/10 0/10 10/10 助剤 DMSO 0.1mL/L LC50(μg/L) 7,000(設定濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 チアジニル	平成29年		2
P061	N－(3－クロロ－4－メチルフェニル)－4－メチル－1, 2, 3－チアジアゾール－5－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/339cadinil.pdf	チアジニル	魚類	Oryzias latipes	ヒメダカ	魚類急性毒性試験			0, 630, 1300, 2500, 5000, 10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			6700	μg/L	実測濃度(有効成分換算値)に基づく	被験物質 原体 供試生物 ヒメダカ(Oryzias latipes) 10 尾/群 暴露方法 半止水式(暴露開始 48 時間後に換水) 暴露期間 96h 設定濃度(μg/L) 0 630 1,300 2,500 5,000 10,000 実測濃度(μg/L) (時間加重平均値) 0 580 1,100 2,200 4,600 10,000 死亡数/供試生物数 (96hr 後/頭) 0/10 0/10 0/10 0/10 0/10 10/10 助剤 DMSO 0.1mL/L LC50(μg/L) 6,700(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 チアジニル	平成29年		2
P061	N－(3－クロロ－4－メチルフェニル)－4－メチル－1, 2, 3－チアジアゾール－5－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/339cadinil.pdf	チアジニル	魚類	Oncorhynchus mykiss	ニジマス	魚類急性毒性試験			0, 10, 18, 32, 56, 100	μg/L		96	hour	急性	LC50			3300	μg/L	(95%信頼区間:2,900－4,400)(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 ニジマス(Oncorhynchus mykiss) 7 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度 (%飽和濃度) 0 10 18 32 56 100 実測濃度(μg/L) (時間加重平均値) 0 2,010 2,840 4,190 7,240 12,800 死亡数/供試生物数 (96hr 後/頭) 0/7 0/7 3/7 5/7 7/7 7/7 助剤 なし LC50(μg/L) 3,300 (95%信頼区間:2,900－4,400)(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 チアジニル	平成29年		2
P061	N－(3－クロロ－4－メチルフェニル)－4－メチル－1, 2, 3－チアジアゾール－5－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/339cadinil.pdf	チアジニル	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0, 600, 1300, 2500, 5000, 10000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		1600	μg/L	設定濃度(有効成分換算値)に基づく	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ(Daphnia magna) 20 頭/群 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度(μg/L) 0 600 1,300 2,500 5,000 10,000 実測濃度(μg/L) (暴露開始時～ 暴露終了時) 0 700～ 800 1,300～ 1,300 2,300～ 2,400 4,900～ 5,000 9,300～ 7,400 遊泳阻害数/供試生物(48hr 後/頭) 0/20 0/20 6/20 20/20 20/20 20/20 助剤 DMSO 0.1mL/L EC50(μg/L) 1,600(設定濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 チアジニル	平成29年		2
P061	N－(3－クロロ－4－メチルフェニル)－4－メチル－1, 2, 3－チアジアゾール－5－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaiei/kijun/rv/339cadinil.pdf	チアジニル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	ムレミカヅキモ	藻類生長阻害試験			0, 24.6, 61.4, 154, 384, 960, 2400, 6000	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		3300	μg/L	(95%信頼限界 3,110－3,490)(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 P. subcapitata 初期生物量 1×10 4 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72h 設定濃度(μg/L) (有効成分換算値) 0 24.6 61.4 154 384 960 2,400 6,000 実測濃度(μg/L) (時間加重平均値、 有効成分換算値) 0 19.3 50.1 137 358 905 2,270 5,700 72hr 後生物量 (×10 4 cells/mL) 136 132 125 121 109 93.6 47.4 1.53 0-72hr 生長阻害率 (%) 0.64 1.7 2.4 4.4 7.6 22 91 助剤 なし ErC50(μg/L) 3,300(95%信頼限界 3,110－3,490)(実測濃度(有効成分換算値)に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 チアジニル	平成29年		2
P062	酢酸ゲラニル	化審法スクリーニング評価結果		酢酸ゲラニル	藻類											慢性	NOEC			0.585	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/infondlp/pid/11323892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h27_03_s04_02.pdf		平成27年10月23日			2
P062	酢酸ゲラニル	化審法スクリーニング評価結果		酢酸ゲラニル	藻類											急性	EIL,LC50			3.72	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/infondlp/pid/11323892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h27_03_s04_02.pdf		平成27年10月23日			2
P063	酢酸ヘキシル	化審法スクリーニング評価結果		酢酸ヘキシル	魚類											急性	EIL,LC50			4	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/infondlp/pid/11323892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h28_02_04_s02.pdf		平成26年11月28日			2
P064	ジイソプロピルナフタレン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジイソプロピルナフタレン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.071	mg/L					H16		1
P064	ジイソプロピルナフタレン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジイソプロピルナフタレン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			0.035	mg/L					H16		1
P064	ジイソプロピルナフタレン	経済産業省「平成28年度化学物質安全対策（化管法指定化学物質候補物質の有害性情報に関する調査）」		ジイソプロピルナフタレン	藻類	(Pseudokirchneriella subcapitata								72	hour		NOEC	生長阻害		0.071	mg/L	区分 1	本物質について、化審法データベースに「難分解性かつ高濃縮性であると判断される物質」との記載がある。藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)の 72 時間NOEC(生長阻害)が 0.071 mg/L(環境省生態影響試験(2004))との報告より、「区分 1」とした。					1
P065	2, 2′－イミノジエタノール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ジエタノールアミン		藻類												EC50			9.5	mg/L						平成27年11月26日	2
P065	2, 2′－イミノジエタノール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ジエタノールアミン		藻類												NOEC			0.6	mg/L						平成27年11月26日	2
P065	2, 2′－イミノジエタノール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ジエタノールアミン		甲殻類												NOEC			0.78	mg/L						平成27年11月26日	2
P065	2, 2′－イミノジエタノール			ジエタノールアミン	甲殻類	ミジンコ								48時間			LC50			2.15	mg/L	区分2	甲殻類(ミジンコ)の48時間LC50 = 2.15 mg/L(AGURE, 2012)から、区分2とした。					平成23年度	2

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P065	2，2’－イミノジエタノール			ジエタノールアミン	甲殻類	オオミジンコ								21日間			NOEC			0.78	mg/L	区分3	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり(3週間でのBODによる分解度:51.4%、TOCによる分解度:96.7%、HPLCによる分解度:100%(既存点検, 1976))、甲殻類(オオミジンコ)の21日間NOEC = 0.78 mg/L(BUA 158, 1994)であることから、区分3となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)の96時間EC50 = 2.1−2.3 mg/L(BUA 158, 1994)であるが、急速分解性があり(3週間でのBODによる分解度:51.4%、TOCによる分解度:96.7%、HPLCによる分解度:100%(既存点検, 1976))、生物蓄積性が低いと推定される(log Kow = −1.43 (PHYSPROP Database, 2009))ことから、区分外となる。 以上の結果を比較し、区分3とした。				平成23年度	2
P066	1，4－ジオキサシクロヘプタデカン－5，17－ジオン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	1，4－ジオキサシクロヘプタデカン－5，17－ジオン		魚類												EC50			2.13	mg/L						平成27年10月23日	2
P067	シクロヘキサン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	シクロヘキサン		藻類												EC50			9.317	mg/L						平成27年11月26日	2
P067	シクロヘキサン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	シクロヘキサン		藻類												NOEC			0.94	mg/L						平成27年11月26日	2
P067	シクロヘキサン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	シクロヘキサン		甲殻類												EC50			0.9	mg/L						平成27年11月26日	1
P067	シクロヘキサン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	シクロヘキサン		魚類												EC50			4.53	mg/L						平成27年11月26日	2
P067	シクロヘキサン			シクロヘキサン	甲殻類	オオミジンコ								48時間			EC50			0.9	mg/L	区分1	甲殻類(オオミジンコ)による48時間EC50＝0.9 mg/L(EU-RAR, 2004)であることから、区分1とした。				平成25年度	1
P067	シクロヘキサン			シクロヘキサン	藻類	Pseudokircheneriella subcapitata								72時間			NOEC			0.94	mg/L	区分3	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり(OECDテストガイドライン301Fによる28日間の分解度:77%(EU-RAR, 2004))、藻類(Pseudokircheneriella subcapitata)による72時間NOEC＝0.94 mg/L(EU-RAR, 2004)であることから、区分3となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、甲殻類(オオミジンコ)による48時間EC50＝0.9 mg/L(EU-RAR, 2004)であるが、急速分解性があり(OECDテストガイドライン301Fによる28日間の分解度:77%(EU-RAR, 2004))、生物濃縮性が低いと推測される(BCF=31-129(既存点検, 1984))ことから、区分外となる。 以上の結果を比較し、区分3とした。				平成25年度	2
P068	シクロヘキシリデン(フェニル)アセトニトリル	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	シクロヘキシリデン(フェニル)アセトニトリル		藻類												EC50			1.96	mg/L						平成30年11月16日	2
P068	シクロヘキシリデン(フェニル)アセトニトリル	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	シクロヘキシリデン(フェニル)アセトニトリル		藻類												NOEC			0.5	mg/L						平成30年11月16日	2
P068	シクロヘキシリデン(フェニル)アセトニトリル	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	シクロヘキシリデン(フェニル)アセトニトリル		甲殻類												EC50			2.3	mg/L						平成30年11月16日	2
P068	シクロヘキシリデン(フェニル)アセトニトリル	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	シクロヘキシリデン(フェニル)アセトニトリル		魚類												EC50			0.6	mg/L						平成30年11月16日	1
P069	シクロヘキセン	化審法スクリーニング評価結果		シクロヘキセン	藻類											慢性	NOEC			0.67	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/shinsa/pdf/102_02_00.pdf		平成23年1月21日			2
P069	シクロヘキセン	化審法スクリーニング評価結果		シクロヘキセン	甲殻類											急性	E(L)C50			2.1	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/shinsa/pdf/102_02_00.pdf		平成23年1月21日			2
P070	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン		藻類												EC50			0.0058	mg/L						平成28年10月28日	1
P070	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン		藻類												NOEC			0.0028	mg/L						平成28年10月28日	1
P070	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン		甲殻類												EC50			0.00522	mg/L						平成28年10月28日	1
P070	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン		魚類												EC50			0.0027	mg/L						平成28年10月28日	1
P070	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4，5－ジクロロ－2－n－オクチルイソチアゾル－3－オン		魚類												NOEC			0.00056	mg/L						平成28年10月28日	1
P072	2’，4－ジクロロ－α，α，α－トリフルオロ－4’－ニトロ－m－トルエンスルホンアニリド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/269flusulfamide.pdf	フルスルファミド	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、182、255、357、500、700	μg/L		96	hour	急性	LC50			300	μg/L	(95%信頼限界 266－338)（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 10 尾/群 暴露方法 半止水式（暴露開始 48 時間後に換水） 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 182 255 357 500 700 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 170 252 355 495 692 死亡数/供試生物数 （96hr 後；尾） 0/10 0/10 1/10 9/10 10/10 10/10 助剤 DMSO 0.100 mL/L LC50（μg/L） 300 （95%信頼限界 266－338）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 フルスルファミド	平成27年		1
P072	2’，4－ジクロロ－α，α，α－トリフルオロ－4’－ニトロ－m－トルエンスルホンアニリド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/269flusulfamide.pdf	フルスルファミド	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0、10、22、46、100、220、460、1000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		290	μg/L	(95%信頼限界 230－360)（実測濃度（有効成分換算値）に基づく）	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 20 頭/群 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 0 10 22 46 100 220 460 1000 実測濃度（μg/L） （幾何平均値） 0 9 19 46 100 230 450 910 遊泳阻害数/供試生 物数（48hr 後；頭） 0/20 0/20 0/20 0/20 0/20 5/20 17/20 20/20 助剤 アセトン 0.1mL/L EC50（μg/L） 290 （95%信頼限界 230－360）（実測濃度（有効成分換算値）に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 フルスルファミド	平成27年		1
P072	2’，4－ジクロロ－α，α，α－トリフルオロ－4’－ニトロ－m－トルエンスルホンアニリド	政府GHS分類結果		2’，4－ジクロロ－α，α，α－トリフルオロ－4’－ニトロ－m－トルエンスルホンアニリ	甲殻類		オオミジンコ							48	時間	急性	E(L)C50			0.29	mg/L	区分1	甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50=0.29mg/L(農薬登録申請資料、2004)から、区分1とした。		農薬登録申請資料、2004			1
P073	2－［4－（2，4－ジクロロ－m－トルオイル）－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ］－4－メチルアセトフェノン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h11_benzofenap.pdf	ベンゾフェナップ; 2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]-4'-メチルアセトフェノン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	セレナストラム	藻類生長阻害試験	暴露方法:振とう培養法、助剤:DMF 0.1ml/L		31.3、62.5、125、250、500	μg/L		72	hour		EbC50			145	μg/L	(95%信頼限界 89.5-237)(実測濃度に基づく有効成分換算値)	表3 藻類生長阻害試験結果 被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 31.3、62.5、125、250、500 (公比 2.0) 実測濃度（μg/L） 24.3、49.9、91.5、192、273 助剤 DMF 0.1ml/L EbC50（μg/L） 145 (95%信頼限界 89.5-237)(実測濃度に基づく有効成分換算値) ErC50（μg/L） ＞268 (実測濃度に基づく有効成分換算値) NOECb（μg/L） 23.9 (実測濃度に基づく有効成分換算値) NOECr（μg/L） 89.9 (実測濃度に基づく有効成分換算値) 異常な症状及び反応 実測濃度 273μg/L 群でやや細い細胞が若干多くみられた。 備考 実測濃度は純度補正された原体濃度					1
P073	2－［4－（2，4－ジクロロ－m－トルオイル）－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ］－4－メチルアセトフェノン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h11_benzofenap.pdf	ベンゾフェナップ; 2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]-4'-メチルアセトフェノン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	セレナストラム	藻類生長阻害試験	暴露方法:振とう培養法、助剤:DMF 0.1ml/L		31.3、62.5、125、250、500	μg/L		72	hour		NOECb			23.9	μg/L	実測濃度に基づく有効成分換算値	表3 藻類生長阻害試験結果 被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 31.3、62.5、125、250、500 (公比 2.0) 実測濃度（μg/L） 24.3、49.9、91.5、192、273 助剤 DMF 0.1ml/L EbC50（μg/L） 145 (95%信頼限界 89.5-237)(実測濃度に基づく有効成分換算値) ErC50（μg/L） ＞268 (実測濃度に基づく有効成分換算値) NOECb（μg/L） 23.9 (実測濃度に基づく有効成分換算値) NOECr（μg/L） 89.9 (実測濃度に基づく有効成分換算値) 異常な症状及び反応 実測濃度 273μg/L 群でやや細い細胞が若干多くみられた。 備考 実測濃度は純度補正された原体濃度					1
P073	2－［4－（2，4－ジクロロ－m－トルオイル）－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ］－4－メチルアセトフェノン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h11_benzofenap.pdf	ベンゾフェナップ; 2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]-4'-メチルアセトフェノン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験	暴露方法 半止水式(24h 毎交換):助剤:DMF 0.1mg/L		62.5、125、250、500、1,000、2,000	μg/L		48	hour	急性	EC50			376	μg/L	(95%信頼限界 301-469)(設定濃度に基づく有効成分換算値)	表2 オオミジンコ急性遊泳阻害試験結果 被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 半止水式(24h 毎交換) 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 62.5、 125、 250、 500、 1,000、 2,000 (公比 2.0) 実測濃度（μg/L） 65.9、 121、 242、 474、 965、 1,930 助剤 DMF 0.1mg/L EC50（μg/L） 376 (95%信頼限界 301-469)(設定濃度に基づく有効成分換算値) NOEC（μg/L） 異常な症状及び反応 活動度の低下(62.5μg/L 以上群)、嗜眠状態(250μg/L 以上群)(いずれも設定濃度に基づく) 備考 62.5μg/L 群では、20頭中 1 頭において活動度の低下が見られたのみであったことから、NOEC は 62.5μg/L 付近に存在すると試験実施機関は考えている。					1
P073	2－［4－（2，4－ジクロロ－m－トルオイル）－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ］－4－メチルアセトフェノン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h11_benzofenap.pdf	ベンゾフェナップ; 2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]-4'-メチルアセトフェノン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験	暴露方法:半止水式(24h 毎交換)、助剤:DMF 0.1ml/L		106、191、343、617、1,110、2,000	μg/L		96	hour	急性	LC50			749	μg/L	(95%信頼限界473－1,592)(実測濃度に基づく有効成分換算値)	表1 コイ急性毒性試験結果 被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 暴露方法 半止水式(24h 毎交換) 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 106、191、343、617、1,110、2,000 (公比 1.8) 実測濃度（μg/L） 84.7、141、257、482、872、1,620 (時間加重平均) 助剤 DMF 0.1ml/L LC50（μg/L） 749(95%信頼限界473－1,592)(実測濃度に基づく有効成分換算値) NOEC（μg/L） 253(実測濃度に基づく有効成分換算値) 異常な症状及び反応 表層集中、完全平衡喪失、体幹の湾曲(前湾型)、狂奔、嗜眠状態、呼吸数の減少(872μg/L 群)、体色暗化、活動度の低下、 眼球突出(482μg/L 以上群)、軽度平衡喪失(482μg/L 及び 1,620μg/L 群)、腹部膨満(1,620μg/L 群)(いずれも実測濃度に基づく) 備考 実測濃度は純度補正された原体濃度					1
P073	2－［4－（2，4－ジクロロ－m－トルオイル）－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ］－4－メチルアセトフェノン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h11_benzofenap.pdf	ベンゾフェナップ; 2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]-4'-メチルアセトフェノン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	セレナストラム	藻類生長阻害試験	暴露方法:振とう培養法、助剤:DMF 0.1ml/L		31.3、62.5、125、250、500	μg/L		72	hour		NOECr			89.9	μg/L	実測濃度に基づく有効成分換算値	表3 藻類生長阻害試験結果 被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 31.3、62.5、125、250、500 (公比 2.0) 実測濃度（μg/L） 24.3、49.9、91.5、192、273 助剤 DMF 0.1ml/L EbC50（μg/L） 145 (95%信頼限界 89.5-237)(実測濃度に基づく有効成分換算値) ErC50（μg/L） ＞268 (実測濃度に基づく有効成分換算値) NOECb（μg/L） 23.9 (実測濃度に基づく有効成分換算値) NOECr（μg/L） 89.9 (実測濃度に基づく有効成分換算値) 異常な症状及び反応 実測濃度 273μg/L 群でやや細い細胞が若干多くみられた。 備考 実測濃度は純度補正された原体濃度					1
P073	2－［4－（2，4－ジクロロ－m－トルオイル）－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ］－4－メチルアセトフェノン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h11_benzofenap.pdf	ベンゾフェナップ; 2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5-イルオキシ]-4'-メチルアセトフェノン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験	暴露方法:半止水式(24h 毎交換)、助剤:DMF 0.1ml/L		106、191、343、617、1,110、2,000	μg/L		96	hour	急性	NOEC			253	μg/L	実測濃度に基づく有効成分換算値	表1 コイ急性毒性試験結果 被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 暴露方法 半止水式(24h 毎交換) 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 106、191、343、617、1,110、2,000 (公比 1.8) 実測濃度（μg/L） 84.7、141、257、482、872、1,620 (時間加重平均) 助剤 DMF 0.1ml/L LC50（μg/L） 749(95%信頼限界473－1,592)(実測濃度に基づく有効成分換算値) NOEC（μg/L） 253(実測濃度に基づく有効成分換算値) 異常な症状及び反応 表層集中、完全平衡喪失、体幹の湾曲(前湾型)、狂奔、嗜眠状態、呼吸数の減少(872μg/L 群)、体色暗化、活動度の低下、 眼球突出(482μg/L 以上群)、軽度平衡喪失(482μg/L 及び 1,620μg/L 群)、腹部膨満(1,620μg/L 群)(いずれも実測濃度に基づく)					2
P073	2－［4－（2，4－ジクロロ－m－トルオイル）－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ］－4－メチルアセトフェノン	政府GHS分類結果		2－［4－（2，4－ジクロロ－m－トルオイル）－1，3－ジメチル－5－ピラゾリルオキシ］－4－メチルアセトフェノン	甲殻類		オオミジンコ							48	時間	急性	E(L)C50			0.383	mg/L	区分1	甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50=0.383mg/L(農薬登録申請資料、2004)から、区分1とした。		農薬登録申請資料、2004			1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P074	1－（2，4－ジクロロフェニル）－N－（2，4－ジフルオロフェニル）－N－イソプロピル－5－オキソ－1，5－ジヒドロ－4H－1，2，4－トリアゾール－4－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a21_ipfencarbazone.pdf	イプフェンカルバゾン	藻類	P. subcapitata		藻類生長阻害試験			0、10、18、32、56、100	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		21.7	μg/L	(95%信頼限界 21.3-22.2)（実測濃度（有効成分換算値）に基づく)	被験物質 原体 供試生物 P. subcapitata 初期生物量 5.0×103 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 0 10 18 32 56 100 実測濃度（μg/L） (0-72h 時間加重平 均値) 0 8.77 15.5 27.8 49.6 88.1 72hr 後生物量 （×104 cells/mL） 326 283 150 2.50 0.952 0.752 0-72hr 生長阻害率 (%) 2.2 12.0 75.4 90.1 93.9 助剤 DMF 0.1ml/L ErC50（μg/L） 21.7 (95%信頼限界 21.3-22.2)（実測濃度（有効成分換算値）に基 づく) NOECr（μg/L） 8.67 (実測濃度（有効成分換算値）に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 イプフェンカルバゾン	平成24年		1
P075	N－（3，5－ジクロロフエニル）－1，2－ジメチルシクロプロパン－1，2－ジカルボキシイミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h46_procymidone.pdf	プロシミドン	藻類	P. subcapitata		藻類生長阻害試験			0、190、380、750、1500、3000	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		1400	μg/L		被験物質 原体 供試生物 P. subcapitata 初期生物量 1.0×104 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 0 190 380 750 1,500 3,000 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 96 200 420 870 2,500 72hr 後生物量 （×104 cells/mL） 161 169 123 181 144 0.5 0-72hr 生長阻害率 (%) -1.1 5.4 -2.3 2.1 115.5 助剤 DMF / 硬化ヒマシ油 (1:1) 0.1 ml/L ErC50（μg/L） 1,400 (実測濃度に基づく) NOECr（μg/L） 870 (実測濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロシミドン	平成23年		2
P078	ジデシルジメチルアンモニウムクロリド			ジデシルジメチルアンモニウムクロリド	甲殻類	オオミジンコ								48時間			LC50			0.034	mg/L	区分1	甲殻類(オオミジンコ)による48時間LC50 = 0.034 mg/L (ECETOC TR91, 2003)であることから、区分1とした。				平成25年度	1
P078	ビス(N－デシル－N，N－ジメチルデカン－1－アミニウム)＝アジパート(2－)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/19666	1-Decanaminium,N-decyl-N,N-dimethyl-, hexanedioate(2:1)	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	セレナストラム	Alga, Growth Inhibition Test	static, freshwater, 22.8-23.7° C, pH: 7.9-8.2 at t=0 h7.9-8.0 at t=72 h	OECD TG 201/GLP	0.32, 1.0, 3.2, 10, 32 and 100	μg/L		72	hour		EC50	growth rate		2.8	μg/L	meas. (geom. mean)|95% CI: 2.6-3.1		1	study report	2017		1
P078	ビス(N－デシル－N，N－ジメチルデカン－1－アミニウム)＝アジパート(2－)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/19666	1-Decanaminium,N-decyl-N,N-dimethyl-, hexanedioate(2:1)	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	セレナストラム	Alga, Growth Inhibition Test	static, freshwater, 22.8-23.7° C, pH: 7.9-8.2 at t=0 h7.9-8.0 at t=72 h	OECD TG 201/GLP	0.32, 1.0, 3.2, 10, 32 and 100	μg/L		72	hour		NOEC	growth rate		0.78	μg/L	meas. (geom. mean)		1	study report	2017		1
P078	ビス(N－デシル－N，N－ジメチルデカン－1－アミニウム)＝アジパート(2－)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/19666	1-Decanaminium,N-decyl-N,N-dimethyl-, hexanedioate(2:1)	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	Daphnia sp. Acute Immobilisation Test	static, freshwater, 19.8 - 20.5° C, pH: 7.9-8.0	OECD TG 202/GLP	0.010, 0.018, 0.032, 0.056 and 0.10	mg/L		48	hour	急性	EC50	mobility		0.035	mg/L	meas. (geom. mean)|95%-CI: 0.030-0.060		1	study report	2017		1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil(Maxim 4FS)	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			470	PPB				R. Felthousen(WLI)	1992	S	1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil(Maxim 4FS)	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			900	PPB				R. Lee/A. Pease(WLI)	1993	C	1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil(Maxim 4FS)	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3(Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			1200	PPB				R. Felthousen(WLI)	1993	S	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil(Maxim 4FS)	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			740	PPB				R. Felthousen(SBI)	1997	S	1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil (Maxim 4FS)	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		EC50			87	PPB				D.Randall/K.Garber(SBI)	1992	S	1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil /Cyprodonil - Switch 62.5 mixture	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		EC50			2800	PPB				D.Randall-revised(SCP)	2002	S	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil (CGA-173506)	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			730	PPB				Felthousen/Randall(SBI)	1997	C	1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil/Cyprodonil Switch 62.5 WG mixture	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		EC50			2.06	PPM				J.Felkel/D.Randall(SCP)	2002	S	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		EC50			280	PPB				S. Glaberman(WLI)	2011	C	1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil(Maxim 4FS)	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL		<	170	PPB				R. Felthousen(WLI)	1992	S	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil(Maxim 4FS)	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL		<	500	PPB				R. Lee/A. Pease(WLI)	1993	C	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil(Maxim 4FS)	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3(Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			930	PPB				R. Felthousen(WLI)	1993	S	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil(Maxim 4FS)	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			140	PPB				R. Felthousen(SBI)	1997	S	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil (Maxim 4FS)	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL		<	28	PPB				D.Randall/K.Garber(SBI)	1992	S	1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil /Cyprodonil - Switch 62.5 mixture	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		NOEL			150	PPB				D.Randall-revised(SCP)	2002	S	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil (CGA-173506)	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			140	PPB				Felthousen/Randall(SBI)	1997	C	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil/Cyprodonil Switch 62.5 WG mixture	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		NOEL			0.13	PPM				J.Felkel/D.Randall(SCP)	2002	S	2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fludioxonil	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		NOEL			4.66	PPB				S. Glaberman(WLI)	2011	C	1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h50_fludioxonil.pdf	フルジオキソニル	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、1000、1800、3200、5800、10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			1500	μg/L	95%信頼限界 990-2,300	被験物質 原体 供試生物 コイ(Cyprinus carpio) 対照区 5 尾/群、試験区 10 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 1,000 1,800 3,200 5,800 10,000 実測濃度（μg/L） （幾何平均値） 0 520 990 2,300 4,000 6,200 死亡数/供試生物数 (96hr 後；尾) 0/5 0/10 0/10 10/10 10/10 10/10 助剤 アセトン 79.1mg/L アルキルフェノール ポリグリコールエーテル 0.4 mg/L （使用した最高濃度を記載） LC50（μg/L） 1,500 (95%信頼限界 990-2,300)(実測濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 フルジオキソニル	平成23年		2
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h50_fludioxonil.pdf	フルジオキソニル	魚類	Salmo gairdneri	ニジマス	魚類急性毒性試験			0、320、580、1000、1800、3200、5800	μg/L		96	hour	急性	LC50			530	μg/L	95%信頼限界 420-930	被験物質 原体 供試生物 ニジマス(Salmo gairdneri) 10 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 320 580 1,000 1,800 3,200 5,800 実測濃度（μg/L） （幾何平均値） 0 255 421 833 1,570 2,660 n.d. 死亡数/供試生物数 (96hr 後；尾) 0/10 1/10 0/10 10/10 10/10 10/10 10/10 助剤 アセトン 97.8mg/L アルキルフェノール ポリグリコールエーテル 0.7 mg/L （使用した最高濃度を記載） LC50（μg/L） 530 (95%信頼限界 420-930)(実測濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 フルジオキソニル	平成23年		1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h50_fludioxonil.pdf	フルジオキソニル	魚類	Lepomis macrochirus	ブルーギル	魚類急性毒性試験			0、580、1000、1800、3200、5800、10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			310	μg/L	95%信頼限界 180-520	被験物質 原体 供試生物 ブルーギル(Lepomis macrochirus) 10 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 580 1,000 1,800 3,200 5,800 10,000 実測濃度（μg/L） （幾何平均値） 0 130 180 520 1,270 2,300 3,400 死亡数/供試生物数 (96hr 後；尾) 0/10 0/10 0/10 10/10 10/10 10/10 10/10 助剤 アセトン：アルキルフェノール ポリグリコールエーテル = 79.1 mg/L：0.4 mg/L（最高濃度区の濃度） LC50（μg/L） 310 (95%信頼限界 180-520)(実測濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 フルジオキソニル	平成23年		1
P082	4－(2，2－ジフルオロ－1，3－ベンゾジオキソール－4－イル)－1H－ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h50_fludioxonil.pdf	フルジオキソニル	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0、650、1100、1800、3000、5000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		900	μg/L	95%信頼限界 750-1,000	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ(Daphnia magna) 20 頭/群 暴露方法 流水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） （有効成分換算値） 0 650 1,100 1,800 3,000 5,000 実測濃度（μg/L） （算術平均値） 0 500 830 1,100 1,600 1,900 遊泳阻害数/供試生 物数(48hr 後；頭) 0/20 3/20 9/20 12/20 16/20 20/20 助剤 アセトン 1.0 ml/L EC50（μg/L） 900 (95%信頼限界 750-1,000)(実測濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 フルジオキソニル	平成23年		1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン/GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等		有害性データ				引用原文 信頼性ランク		文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P082	4－[2, 2－ジフルオロ－1, 3－ベンゾジオキソール－4－イル]－1H－ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/505/fludioxonil.pdf	フルジオキソニル	藻類	P. subcapitata		藻類生長阻害試験			0, 26, 50, 100, 200, 400, 800	μg/L		120	hour	急性	ErC50	生長阻害		360	μg/L	(0-72h)(95%信頼限界 260-560)	被験物質 原体 供試生物 P. subcapitata 初期生物量 0.3×104 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 120 h 設定濃度（μg/L） 0 26 50 100 200 400 800 実測濃度（μg/L） (0-120h、幾何平均値) 0 14 20 27 45 220 510 72hr 後生物量 ×104 cells/mL) 25.7 20.4 110 13.2 792 4.00 2.42 0-72hr 生長阻害率 (%) 5.2 9.3 15.1 26.5 42.0 54.4 助剤 アセトン 0 (mL/L ErC50(μg/L) 360 (0-72h)(95%信頼限界 260-560)(実測濃度に基づく) NOEC=(μg/L) 14 (実測濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 フルジオキソニル	平成23年		1
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジベンジルエーテル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			4.1	mg/L				H7		2
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジベンジルエーテル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.32	mg/L				H7		2
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジベンジルエーテル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			1.6	mg/L				H7		2
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジベンジルエーテル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.32	mg/L				H7		2
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジベンジルエーテル	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			0.77	mg/L				H7		1
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジベンジルエーテル	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.098	mg/L				H7		1
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジベンジルエーテル	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			6.8	mg/L				H7		2
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ジベンジルエーテル	魚類	Oryzias latipes		魚類延長毒性試験		OECDテストガイドライン204に準拠				21	日		NOEC			0.48	mg/L				H7		2
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）			ジベンジルエーテル	甲殻類	オオミジンコ								48時間			EC50			0.77	mg/L	区分1	甲殻類（オオミジンコ）48時間EC50 = 0.77 mg/L（環境庁生態影響試験, 1995, 環境省リスク評価書第3巻, 2004, NITE有害性評価書, 2006）であることから、区分1とした。			平成28年度	1
P084	ジベンジルエーテル（別名：[ベンジルオキシ]メチル]ベンゼン）			ジベンジルエーテル	甲殻類	オオミジンコ								21日間			NOEC			0.098	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BODによる分解度：0%（既存点検, 1981）)、甲殻類（オオミジンコ）21日間NOEC = 0.098 mg/L（環境庁生態影響試験, 1995, 環境省リスク評価書第3巻, 2004, NITE有害性評価書, 2006）であることから、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BODによる分解度：0%（既存点検, 1981）)、魚類（ヒメダカ）96時間LC50 = 6.8 mg/L（環境庁生態影響試験, 1995, 環境省リスク評価書第3巻, 2004, NITE有害性評価書, 2006）であることから、区分2となる。 以上の結果を比較し、区分1とした。				平成28年度	1
P085	O, O－ジメチル＝O－(4－シアノフェニル)＝ホスホロチオアート［別名：シアノホス(CYAP)］	U.S.NLM HSDB		CYANOPHOS	魚類	Carp								24	hour		LC50			5	mg/L		LC50 Carp 5 mg/L (48 hr) /Conditions of bioassay not specified/		Tomlin, C.D.S. (ed.). The Pesticide Manual－World Compendium. 10th ed. Surrey, UK: The British Crop Protection Council, 1994, p. 242	1994		2
P085	O, O－ジメチル＝O－(4－シアノフェニル)＝ホスホロチオアート［別名：シアノホス(CYAP)］	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/356/cyanophos.pdf	シアノホス(CYAP)	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験						96	hour	急性	LC50			8200	μg/L						2
P085	O, O－ジメチル＝O－(4－シアノフェニル)＝ホスホロチオアート［別名：シアノホス(CYAP)］	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/356/cyanophos.pdf	シアノホス(CYAP)	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験						48	hour	急性	EC50			97	μg/L						1
P085	O, O－ジメチル＝O－(4－シアノフェニル)＝ホスホロチオアート［別名：シアノホス(CYAP)］	政府GHS分類結果		O, O－ジメチル＝O－(4－シアノフェニル)＝ホスホロチオアート[別名：シアノホス(CY	甲殻類		オオミジンコ							48	時間	急性	EIL/LC50			97	μg/L	区分1	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50=97 μg/L（農薬登録申請資料, 2005）から、区分1とした。		農薬登録申請資料, 2005			1
P086	N, N－ジメチルオクタデカン－1－イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N-n-オクタデシル-N,N-ジメチルアミン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.0018	mg/L				H12		1
P086	N, N－ジメチルオクタデカン－1－イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N-n-オクタデシル-N,N-ジメチルアミン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.00099	mg/L				H12		1
P086	N, N－ジメチルオクタデカン－1－イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N-n-オクタデシル-N,N-ジメチルアミン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.0075	mg/L				H12		1
P086	N, N－ジメチルオクタデカン－1－イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N-n-オクタデシル-N,N-ジメチルアミン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.0039	mg/L				H12		1
P086	N, N－ジメチルオクタデカン－1－イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N-n-オクタデシル-N,N-ジメチルアミン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			0.016	mg/L				H12		1
P086	N, N－ジメチルオクタデカン－1－イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N-n-オクタデシル-N,N-ジメチルアミン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.0063	mg/L				H12		1
P086	N, N－ジメチルオクタデカン－1－イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N-n-オクタデシル-N,N-ジメチルアミン	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			0.079	mg/L				H12		1
P086	N, N－ジメチルオクタデカン－1－イルアミン			N,N-ジメチルオクタデシルアミン													NOEC			0.00099	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BODによる分解度：51, 72, 46%（既存点検, 1989）)、藻類（Pseudokirchneriella subcapitata）での72時間NOEC = 0.00099 mg/Lである（環境省生態影響試験, 2000）ことから、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BODによる分解度：51, 72, 46%（既存点検, 1989）)、魚類（メダカ）の96時間LC50 = 0.079 mg/L（環境省生態影響試験, 2000）であることから、区分1となる。 以上の結果より、区分1とした。				平成24年度	1
P087	3, 7－ジメチルオクタン－3－オール	化審法スクリーニング評価結果		3, 7－ジメチルオクタン－3－オール	魚類											急性	EIL/LC50			8.9	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubushitsu/shinsa/pdf/118_02_04_02.pdf	平成24年7月27日				2
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.37	mg/L				H11		2
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			2.7	mg/L				H11		2
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.14	mg/L				H11		2
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			0.25	mg/L				H11		1
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.009	mg/L				H11		1
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			0.31	mg/L				H11		1
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	魚類	Oryzias latipes		魚類初期生活段階毒性試験		OECDテストガイドライン210に準拠				卵の段階から孵化後約30日まで			NOEC			0.034	mg/L				H11		1
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン			1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン													EC50			0.25	mg/L	区分1	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50 = 0.25 mg/L（環境庁生態影響試験, 1999, SIDS, 2004）から、区分1とした。				平成24年度	1
P088	1, 4－ジメチル－2－(1－フェニルエチル)ベンゼン			1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	甲殻類	オオミジンコ								21日間			NOEC			0.009	mg/L	区分1	急速分解性がなく(BODによる分解度：0%（既存点検, 2003）)、甲殻類（オオミジンコ）の21日間NOEC = 0.009 mg/L（環境庁生態影響試験, 1999, SIDS, 2004）であることから、区分1とした。				平成24年度	1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P089	4－（1，2，ジメチルプロピルアミノ）－2－エチルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s04_dimethametryn.pdf	ジメタメトリン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			2100, 2600, 3200, 4000, 5000	μg/L		96	hour	急性	LC50			4450	μg/L		被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 2,100、2,600、3,200、4,000、5,000 実測濃度（μg/L） 1,960、2,100、2,630、3,460、4,530 助剤 Tween80/DMSO (1:1 v/v) 0.1ml/L LC50（μg/L） 4,450（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 遊泳行動の変化（2,100μg/L 以上群）、平衡喪失（2,630μg/L 以上群）、呼吸低下（4,530μg/L 群）（いずれも実測濃度に基づく） 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメタメトリン	平成20年		2
P089	4－（1，2，ジメチルプロピルアミノ）－2－エチルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s04_dimethametryn.pdf	ジメタメトリン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			1200, 2000, 3500, 6000, 10000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		7890	μg/L	(95%信頼限界 6,620-9,550)（設定濃度に基づく有効成分換算値）	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 1,200、2,000、3,500、6,000、10,000 実測濃度（μg/L） 1,200、2,040、3,610、6,050、8,510 助剤 Tween80/DMSO(1:1 v/v) 0.1ml/L EC50（μg/L） 7,890 (95%信頼限界 6,620-9,550) （設定濃度に基づく有効成分換算値） 異常な症状及び反応 報告書に情報なし 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメタメトリン	平成20年		2
P089	4－（1，2，ジメチルプロピルアミノ）－2－エチルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s04_dimethametryn.pdf	ジメタメトリン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			0.25、0.55、1.2、2.5、5.5、12、26	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		12.1	μg/L	設定濃度に基づく有効成分換算値	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 0.25、0.55、1.2、2.5、5.5、12、26 実測濃度（μg/L） –、–、–、2.71-2.53、5.57-5.21、11.6-11.1、24.2-23.4 （暴露開始時-暴露終了時） 助剤 Tween80/DMSO (1:1 v/v) に溶解してストック溶液を作成 ErC50（μg/L） 12.1 (設定濃度に基づく有効成分換算値) NOECr（μg/L） 5.36 (設定濃度に基づく有効成分換算値) 異常な症状及び反応 観察の結果、奇形細胞あるいは細胞破壊は認められなかった。 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメタメトリン	平成20年		1
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	藻類	Skeletonema costatum				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		EC50			0.01	PPM				C. Belew（SBI）	1992	S	1
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		EC50			0.36	PPM				C. Belew（SBI）	1992	C	1
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	藻類	Lemna gibba				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		EC50			0.016	PPM				C. Belew（WLI）	1991	C	1
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			2.6	PPM				B. Montague（ABL）	1988	C	2
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			6.4	PPM				B. Montague（ABL）	1989	S	2
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				21	day		LC50			3.97	PPM				C. Belew（LSR）	1991	S	2
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3（Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			7.2	PPM				B. Montague（TES）	1991	C	2
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid 900 EC formulation	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		EC50			0.016	PPM				C. Belew/H. Craven（WLI）	1991	C	1
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	藻類	Skeletonema costatum				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL		<	0.004	PPM				C. Belew（SBI）	1992	S	1
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			0.096	PPM				C. Belew（SBI）	1992	C	1
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	藻類	Lemna gibba				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		NOEL			0.002	PPM				C. Belew（WLI）	1991	C	1
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				21	day		NOEL			0.58	PPM				C. Belew（LSR）	1991	S	2
P090	ジメテナミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Dimethenamid 900 EC formulation	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			0.004	PPM				C. Belew/H. Craven（WLI）	1991	C	1
P090	ジメテナミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s06_dimethenamid.pdf	ジメテナミド		Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			2,380、4,300、7,700、13,900、25,000	μg/L		96	hour	急性	LC50			6800	μg/L	(95%信頼限界 5,400-8,200)（実測濃度に基づく）	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 2,380、4,300、7,700、13,900、25,000 実測濃度（μg/L） 2,120、4,000、7,000、12,800、24,000 助剤 なし LC50（μg/L） 6,800 (95%信頼限界 5,400-8,200)（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 平衡感覚の喪失(2,120-7,000μg/L 群)、尾部優勢遊泳（4,000、7,000μg/L 群）、正向反射の消失、呼吸異常、着底（7,000μg/L 群）（いずれも実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメテナミド及びジメテナミドP	平成21年		2
P090	ジメテナミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s06_dimethenamid.pdf	ジメテナミド		Lepomis macrochrius	ブルーギル	魚類急性毒性試験			1,800、3,300、5,600、10,000、18,000（有効成分換算値）	μg/L		96	hour	急性	LC50			6400	μg/L	(95%信頼限界 3,300-10,000)（実測濃度に基づく）	被験物質 原体 供試生物 ブルーギル（Lepomis macrochirus） 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 1,800、3,300、5,600、10,000、18,000（有効成分換算値） 実測濃度（μg/L） 1,800、3,300、5,600、10,000、18,000 助剤 DMF 0.1ml/L (最高濃度) LC50（μg/L） 6,400 (95%信頼限界 3,300-10,000)（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 興奮症状（3,300、5,600μg/L 群）、難呼吸、平衡感覚の喪失（5,600μg/L 群）（いずれも実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメテナミド及びジメテナミドP	平成21年		2
P090	ジメテナミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s06_dimethenamid.pdf	ジメテナミド		Oncorhynchus mykiss	ニジマス	魚類急性毒性試験			160、310、630、1,250、2,500、5,000	μg/L		21	day	急性	LC50			3620	μg/L	（実測濃度に基づく有効成分換算値）	被験物質 原体 供試生物 ニジマス（Oncorhynchus mykiss） 暴露方法 流水式 暴露期間 21d 設定濃度（μg/L） 160、310、630、1,250、2,500、5,000 実測濃度（μg/L） 173、319、580、1,040、2,190、4,730 助剤 なし LC50（μg/L） 3,620（実測濃度に基づく有効成分換算値） 異常な症状及び反応 体色の黒化（1,040μg/L 群）、嗜眠（2,190μg/L 群）（いずれも実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメテナミド及びジメテナミドP	平成21年		2
P090	ジメテナミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s06_dimethenamid.pdf	ジメテナミド	藻類	Desmodesmus subspicatus		藻類生長阻害試験			試験1；78、156、313、625、1,250、2,500、5,000 試験2；1、2、5、10、20、39、78	μg/L		96	hour	急性	ErC50	生長阻害		151	μg/L	(設定濃度に基づく有効成分換算値)	被験物質 原体 供試生物 Desmodesmus subspicatus 暴露方法 振とう培養 暴露期間 96 h 設定濃度（μg/L） 試験1；78、156、313、625、1,250、2,500、5,000 試験2；1、2、5、10、20、39、78 実測濃度（μg/L） 92-84、557-669、4,969-4,338（それぞれ設定濃度 78、625、5,000μg/L の暴露開始時-暴露終了時） 助剤 アセトン（0.01%未満） ErC50（μg/L） 151(0-72h)（設定濃度に基づく有効成分換算値） NOECr（μg/L） 報告書に情報なし 異常な症状及び反応 報告書に情報なし		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ジメテナミド及びジメテナミドP	平成21年		1
P092	3－クロロ－N－［（4，6－ジメトキシピリミジン－2－イル）カルバモイル］－1－メチル－4－（5－メチル－5，6－ジヒドロ－1，4，2－ジオキサジン－3－イル）－1H－ピラゾール－5－スルホンアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/m15_metazosulfuron.pdf	メタゾスルフロン	藻類	P.subcapitata		藻類生長阻害試験			0、0.5、1.1、2.42、5.32、11.7、25.8、56.7	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		30.8	μg/L	95%信頼限界 20.1-51.8	被験物質 原体 供試生物 P.subcapitata 初期生物量 1.0×104 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72h 設定濃度（μg/L） 0 0.5 1.1 2.42 5.32 11.7 25.8 56.7 実測濃度（μg/L） （算術平均値） 0 0.571 1.23 2.60 5.02 10.3 24.1 56.0 72hr 後生物量 （×104 cells/ml) 96.2 99.2 111 94.1 58.3 28.1 16.2 6.31 0-72hr 生長阻害 率(%) -1.0 -3.6 0.3 10.7 38.3 38.9 59.6 助剤 － ErC50（μg/L） 30.8 (95%信頼限界 20.1-51.8)（実測濃度に基づく） NOECr（μg/L） 5.02（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 メタゾスルフロン	平成23年		1
P093	ストレプトマイシン（別名：D－ストレプタミン、アグリマイシン）	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Streptomycin	藻類	Chlamydomonas sp.				122-2（Tier I Aquatic Plant Growth-single dose(FIFRA 158.540))				NR.	–		EC50		<	0.9	PPM				C. Belew（REF）	1985	S	1
P093	ストレプトマイシン（別名：D－ストレプタミン、アグリマイシン）	U.S.EPA AQUIRE		O-2-Deoxy-2-(methylamino)-alpha-L-glucopyranosyl-(1->2)-O-5-deoxy-3-C-formyl-alpha-L-lyxofuranosyl-(1->4)-N1,N3-bis(aminoiminomethyl)-D-streptamine	藻類	Microcystis aeruginosa								4	day		EC50	POP		290	μg/L		Ref N: 158980		Qian,H., J. Li, X. Pan, Z. Sun, C. Ye, G. Jin, and Z. Fu, Effects of Streptomycin on Growth of Algae Chlorella vulgaris and Microcystis aeruginosa, Environ. Toxicol.27(4): 229-237, 2012	2012		1
P093	ストレプトマイシン（別名：D－ストレプタミン、アグリマイシン）	U.S.EPA AQUIRE		O-2-Deoxy-2-(methylamino)-alpha-L-glucopyranosyl-(1->2)-O-5-deoxy-3-C-formyl-alpha-L-lyxofuranosyl-(1->4)-N1,N3-bis(aminoiminomethyl)-D-streptamine	藻類	Microcystis aeruginosa								4	day		NOEC	ENZ		100	μg/L		Ref N: 158980		Qian,H., J. Li, X. Pan, Z. Sun, C. Ye, G. Jin, and Z. Fu, Effects of Streptomycin on Growth of Algae Chlorella vulgaris and Microcystis aeruginosa, Environ. Toxicol.27(4): 229-237, 2012	2012		1
P093	ストレプトマイシン（別名：D－ストレプタミン、アグリマイシン）	U.S.EPA AQUIRE		O-2-Deoxy-2-(methylamino)-alpha-L-glucopyranosyl-(1->2)-O-5-deoxy-3-C-formyl-alpha-L-lyxofuranosyl-(1->4)-N1,N3-bis(aminoiminomethyl)-D-streptamine	藻類	Microcystis aeruginosa								4	day		NOEC	ENZ		100	μg/L		Ref N: 158980		Qian,H., J. Li, X. Pan, Z. Sun, C. Ye, G. Jin, and Z. Fu, Effects of Streptomycin on Growth of Algae Chlorella vulgaris and Microcystis aeruginosa, Environ. Toxicol.27(4): 229-237, 2012	2012		1
P093	ストレプトマイシン（別名：D－ストレプタミン、アグリマイシン）	U.S.EPA AQUIRE		O-2-Deoxy-2-(methylamino)-alpha-L-glucopyranosyl-(1->2)-O-5-deoxy-3-C-formyl-alpha-L-lyxofuranosyl-(1->4)-N1,N3-bis(aminoiminomethyl)-D-streptamine	藻類	Microcystis aeruginosa								4	day		NOEC	ENZ		100	μg/L		Ref N: 158980		Qian,H., J. Li, X. Pan, Z. Sun, C. Ye, G. Jin, and Z. Fu, Effects of Streptomycin on Growth of Algae Chlorella vulgaris and Microcystis aeruginosa, Environ. Toxicol.27(4): 229-237, 2012	2012		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/9578	A mixture of: Spinosyn A:(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethyl-2,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-14-methyl-1H-8-oxacyclododeaca[b]as-indacene-7,15-dione; Spinosyn D:(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethy-2,3,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-4,14-dimethyl-1H-8-oxacyclododeaca[b]as-indacene-7,15-dione	魚類	Lepomis macrochirus			semi-static					96	hour	急性	LC50	mortality		5.94	mg/L		Short-term toxicity to fish 002		–			2
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/9578	A mixture of: Spinosyn A:(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethyl-2,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-14-methyl-1H-8-oxacyclododeaca[b]as-indacene-7,15-dione; Spinosyn D:(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethy-2,3,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-4,14-dimethyl-1H-8-oxacyclododeaca[b]as-indacene-7,15-dione	魚類	Cyprinus carpio			semi-static					96	hour	急性	LC50	mortality		4.99	mg/L		Short-term toxicity to fish 003		–			2

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果										文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン/GLP	投与条件				試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		発育段階	生物種（学名）	生物種（和名）		その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/9578	A mixture of: Spinosyn A(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethyl-2,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-14-methyl-1H-8-oxacyclododeca[b]as-indacene-7,15-dione; Spinosyn D(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethyl-2,3,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-4,14-dimethyl-1H-8-oxacyclododeca[b]as-indacene-7,15-dione	魚類	Cyprinus carpio				semi-static					96	hour	急性	NOEC			0.7	mg/L		Short-term toxicity to fish 003		-			2
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/9578	A mixture of: Spinosyn A(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethyl-2,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-14-methyl-1H-8-oxacyclododeca[b]as-indacene-7,15-dione; Spinosyn D(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethyl-2,3,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-4,14-dimethyl-1H-8-oxacyclododeca[b]as-indacene-7,15-dione	魚類	Cyprinus carpio				flow-through					96	hour	急性	LC50	mortality		3.49	mg/L		Short-term toxicity to fish 004		-			2
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/9578	A mixture of: Spinosyn A(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethyl-2,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-14-methyl-1H-8-oxacyclododeca[b]as-indacene-7,15-dione; Spinosyn D(2R,3aS,5aR,5bS,9S,13S,14R,16aS,16bR)-2-(6-deoxy-2,3,4-tri-O-methyl-α-L-mannopyranosyloxy)-13-(4-dimethylamino-2,3,4,6-tetradeoxy-β-D-erythropyranosyloxy)-9-ethyl-2,3,3a,5a,6,7,9,10,11,12,13,14,15,16a,16b-hexadecahydro-4,14-dimethyl-1H-8-oxacyclododeca[b]as-indacene-7,15-dione	魚類	Cyprinodon variegatus				static					96	hour	急性	LC50	mortality		7.87	mg/L		Short-term toxicity to fish 005		-			2
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									2	day		NOEC	ENZ		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									12	day		NOEC	MOR		0.23	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									14	day		NOEC	GRO		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									10	day		NOEC	GRO		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									2	day		NOEC	GRO		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									14	day		NOEC	MOR		0.23	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									8	day		NOEC	GRO		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									12	day		NOEC	GRO		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									10	day		NOEC	MOR		0.23	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									10	day		NOEC	ENZ		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									8	day		NOEC	ENZ		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									6	day		NOEC	GRO		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									14	day		NOEC	ENZ		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									8	day		NOEC	MOR		0.23	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									6	day		NOEC	ENZ		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									4	day		NOEC	GRO		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									12	day		NOEC	ENZ		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド(スピノシンAとスピノシンDの混合物)	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia magna									4	day		NOEC	ENZ		0.62	µg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic. Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法										試験結果										文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン/GLP	投与条件			試験期間	エンドポイント等		有害性データ					引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間 単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								10 day		NOEC	GRO		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								2 day		NOEC	GRO		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								4 day		NOEC	MOR		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								6 day		NOEC	REP		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								10 day		NOEC	ENZ		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								12 day		NOEC	ENZ		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								2 day		NOEC	ENZ		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								8 day		NOEC	ENZ		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								6 day		NOEC	ENZ		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								4 day		NOEC	ENZ		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								12 day		NOEC	GRO		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								6 day		NOEC	GRO		0.5	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								4 day		NOEC	GRO		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								14 day		NOEC	ENZ		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P094	スピノサド（スピノシンAとスピノシンDの混合物）	U.S.EPA AQUIRE		Spinosad	甲殻類	Daphnia pulex								2 day		NOEC	MOR		0.62	μg/L		Ref N: 174956		Duchet,C., M.M. Inafuku, T. Caquet, M. Larroque, E. Franquet, C. Lagneau, and L. Lagadic, Chitobiase Activity as an Indicator of Altered Survival, Growth and Reproduction in Daphnia pulex and Daphnia magna (Crustacea: Cladocera) Exposed to Spinosad and Diflubenzuron, Ecotoxicol. Environ. Saf.74(4): 800-810, 2011	2011		1
P095	セリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」		セリウム及びその化合物	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72 hour	急性	EC50	生長阻害		2900	μg Ce/L			2)	2) 環境省(2008): 平成 19 年度 生態影響試験	2008		2
P095	セリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」		セリウム及びその化合物	甲殻類	Daphnia magna								48 hour	急性	EC50	遊泳阻害		430	μg Ce/L			2)	2) 環境省(2008): 平成 19 年度 生態影響試験	2008		1
P095	セリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」		セリウム及びその化合物	魚類	Oryzias latipes								96 hour	急性	LC50	遊泳阻害		1800	μg Ce/L			2)	2) 環境省(2008): 平成 19 年度 生態影響試験	2008		2
P095	セリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」		セリウム及びその化合物	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72 hour	急性	NOEC	生長阻害		530	μg Ce/L			2)	2) 環境省(2008): 平成 19 年度 生態影響試験	2008		2
P095	セリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」		セリウム及びその化合物	甲殻類	Daphnia magna								21 day	慢性	NOEC	繁殖阻害		5.7	μg Ce/L			2)	2) 環境省(2008): 平成 19 年度 生態影響試験	2008		1
P096	(E)－2－[4－(tert－ブチル)フェニル]－2－シアノ－1－(1, 3, 4－トリメチル－1H－ピラゾール－5－イル)ビニル＝2, 2－ジメチルプロパノアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-hatsu/kijun/rv/d21_cyenopyrafen.pdf	シエノピラフェン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			12.5, 25, 50, 100, 200	μg/L		96 hour	急性	LC50			115	μg/L	95%信頼限界 90.1-175	被験物質 原体 供試生物 コイ(Cyprinus carpio) 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度(μg/L) 12.5, 25, 50, 100, 200 実測濃度(μg/L) 11.4, 23.7, 45.9, 90.1, 175 助剤 DMF 0.1mL/L LC50(μg/L) 115(95%信頼限界 90.1-175)(実測濃度に基づく) NOEC(μg/L) 23.7(実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 呼吸亢進(23.7μg/L 以上群)、体色暗化(45.9μg/L 以上群)、呼 吸数の減少、運動失調(175μg/L 群)いずれも実測濃度に基づ く 備考 23.7μg/L 群の呼吸亢進は一時的なものであったため、投与関連性の影響ではないと試験機関は考えている。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 シエノピラフェン	平成19年		1

■生態毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報 番号	化学物質名称	情報源	対象物質	物質名称	試験動物 栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報	テストガイドライン／GLP	投与条件 投与量	単位	備考	試験期間 時間	単位	エンドポイント等 急性/慢性	エンドポイント	症状	有害性データ 不等号	毒性値	単位	備考	引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年	備考	化管法クラス
P096	(E)－2－[4－(tert－ブチル)フェニル]－2－シアノ－1－(1，3，4－トリメチル－1H－ピラゾール－5－イル)ビニル＝2，2－ジメチルプロパノアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s01_cyenopyrafen.pdf	シエノピラフェン	魚類	Orcorhynchus mykiss	ニジマス	魚類急性毒性試験			3.2、7.04、15.5、34.1、75	μg/L		96	hour	急性	LC50			18.3	μg/L	95%信頼限界 12.2-27.6	被験物質 原体 供試生物 ニジマス（Orcorhynchus mykiss） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 3.2、7.04、15.5、34.1、75 実測濃度（μg/L） 2.26、4.95、12.2、27.6、72.6 助剤 DMF 0.1mL/L LC50（μg/L） 18.3（95%信頼限界 12.2-27.6）（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 2.26(実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 体色暗化(2.26μg/L 以上群)、眼色のみの暗化、昏睡状態及び 容器底での直立(4.95-27.6μg/L 群)、呼吸亢進(12.2 -27.6μg/L 群)、呼吸数の減少、横転して運動、横転して容器底での静止(72.6μg/L 群) (いずれも実測濃度に基づく) 備考 2.26μg/L 群で観察された体色暗化（1匹）は、容器内の攻撃的な動物を隔離することで正常になったことから、投与関連性の影響ではないと、試験機関は判断している。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 シエノピラフェン	平成19年		1
P096	(E)－2－[4－(tert－ブチル)フェニル]－2－シアノ－1－(1，3，4－トリメチル－1H－ピラゾール－5－イル)ビニル＝2，2－ジメチルプロパノアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s01_cyenopyrafen.pdf	シエノピラフェン	魚類	Pimephales promelas	ファットヘッドミノー	魚類急性毒性試験			10、20、40、80、160	μg/L		96	hour	急性	LC50			79.4	μg/L	95%信頼限界 60.5-107	被験物質 原体 供試生物 ファットヘッドミノー（Pimephales promelas） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 10、20、40、80、160 実測濃度（μg/L） 8.16、15.3、35.3、103、137 助剤 DMF 0.1mL/L LC50（μg/L） 79.4（95%信頼限界 60.5-107）（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 35.3（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 昏睡状態及び容器の底での直立(15.3μg/L 及び137μg/L 群)、 運動失調(35.3μg/L 群)、瀕死状態での横臥及び横転と静止(103μg/L 群)、体色暗化(137μg/L 群)(いずれも実測濃度に基づく) 備考 15.3μg/L 及び 35.3μg/L 群では、重大な若しくは継続的な毒性影響は認められなかったため、投与関連性の影響は 103μg/L 以上群と試験実施機関は考えている。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 シエノピラフェン	平成19年		1
P096	(E)－2－[4－(tert－ブチル)フェニル]－2－シアノ－1－(1，3，4－トリメチル－1H－ピラゾール－5－イル)ビニル＝2，2－ジメチルプロパノアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s01_cyenopyrafen.pdf	シエノピラフェン	魚類	Lepomis mecrochirus	ブルーギル	魚類急性毒性試験			25、50、100、200、400	μg/L		96	hour	急性	LC50			167	μg/L	95%信頼限界 128-231	被験物質 原体 供試生物 ブルーギル（Lepomis mecrochirus） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 25、50、100、200、400 実測濃度（μg/L） 21.9、41.9、83.6、208、460 助剤 DMF 0.1mL/L LC50（μg/L） 167（95%信頼限界 128-231）（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 41.9（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 背ビレの直立(41.9-83.6μg/L 群)、体色暗化(83.6μg/L 以上 群)、呼吸亢進、昏睡状態(208μg/L 以上群)、眼色のみの暗化、 運動失調(208μg/L 群)（いずれも実測濃度に基づく） 備考 41.9μg/L 群では、処理に対する有意な影響は見られなかったと試験機関は考えている。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 シエノピラフェン	平成19年		1
P096	(E)－2－[4－(tert－ブチル)フェニル]－2－シアノ－1－(1，3，4－トリメチル－1H－ピラゾール－5－イル)ビニル＝2，2－ジメチルプロパノアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s01_cyenopyrafen.pdf	シエノピラフェン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0.75、1.5、3、6、12、24	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		2.94	μg/L	95%信頼限界 2.39-3.60	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 半止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 0.75、1.5、3、6、12、24 実測濃度（μg/L） ND、0.366、0.801、1.72、4.03、6.88 助剤 DMF 0.1mL/L EC50（μg/L） 2.94（95%信頼限界 2.39-3.60）（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 異常な症状及び反応 水面遊泳（実測濃度 0.366、1.72、6.88μg/L 群） 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 シエノピラフェン	平成19年		1
P097	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン		藻類												EC50			0.00147	mg/L						平成27年11月26日	1
P097	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン		藻類												NOEC			0.00023	mg/L						平成27年11月26日	1
P097	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン		甲殻類												EC50			5.3	mg/L						平成27年11月26日	2
P097	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン		甲殻類												NOEC		<	0.56	mg/L						平成27年11月26日	2
P097	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン		魚類												EC50			0.75	mg/L						平成27年11月26日	1
P097	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン		魚類												NOEC			0.004	mg/L						平成27年11月26日	1
P097	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン			2-tert-ブチルアミノ-4-シクロプロピルアミノ-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン	藻類	珪藻、Navicula forcipata								96時間			EC50			0.0005	mg/L	区分1	藻類（珪藻、Navicula forcipata）による96時間EC50＝0.0005 mg/L（AQUIRE, 2013）であることから、区分1とした。				平成25年度	1
P097	2－tert－ブチルアミノ－4－シクロプロピルアミノ－6－メチルチオ－1，3，5－トリアジン			2-tert-ブチルアミノ-4-シクロプロピルアミノ-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン	藻類	珪藻、Navicula forcipata								96時間			NOEC			0.00001	mg/L	区分1	急速分解性がなく（BIOWIN）、藻類（珪藻、Navicula forcipata）による96時間NOEC = 0.00001 mg/L（AQUIRE, 2013）であることから、区分1とした。				平成25年度	1
P098	2－tert－ブチルシクロヘキサン－1－イル＝アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルシクロヘキサン－1－イル＝アセタート		藻類												EC50			3.6	mg/L						平成29年11月24日	2
P098	2－tert－ブチルシクロヘキサン－1－イル＝アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルシクロヘキサン－1－イル＝アセタート		藻類												NOEC			0.49	mg/L						平成29年11月24日	2
P098	2－tert－ブチルシクロヘキサン－1－イル＝アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルシクロヘキサン－1－イル＝アセタート		魚類												EC50			3.4	mg/L						平成29年11月24日	2
P099	p-tert-Butylhydrocinnamic aldehyde	化審法スクリーニング評価結果		p-tert-Butylhydrocinnamic aldehyde	甲殻類											急性	E(L)C50			1.8	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h29_03_02_b04.pdf		平成29年11月24日			2
P100	3－(4－tert－ブチルフェニル)－2－メチルプロパナール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	3－(4－tert－ブチルフェニル)－2－メチルプロパナール		甲殻類												EC50			9.84	mg/L						平成27年11月26日	2
P100	3－(4－tert－ブチルフェニル)－2－メチルプロパナール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	3－(4－tert－ブチルフェニル)－2－メチルプロパナール		魚類												EC50			2.04	mg/L						平成27年11月26日	2
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」		タリウム及びその化合物	魚類	Pimephales promelas								29-40	day	慢性	NOEC	Mortality	<	40	μg/L	被験物質：Tl2SO4						1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	藻類	Chlorella sp.			TS：Tl (I)					3	day	急性	EC50	growth rate		2.57	μgTl/L			4	U.S.EPA「ECOTOX」 Hassler,C.S., R.D. Chafin, M.B. Klinger, and M.R. Twiss (2007): Application of the Biotic Ligand Model to Explain Potassium Interaction with Thallium Uptake and Toxicity to Plankton.		信頼性D：信頼性の判定不可	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata			TS：TlNO3 、硬度：24mg/L					3	day	慢性	NOEC	growth rate	<	10	μgTl/L			4	Tatsi, K., A. Turner, R.D. Handy, and B.J.Shaw (2015): The Acute Toxicity of Thallium to Freshwater Organisms: Implications for Risk Assessment. Sci. Total Environ. 536(1): 382-390.		信頼性D：信頼性の判定不可	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata			TS：TlNO3 、硬度：24mg/L					3	day	急性	EC50	growth rate		87	μgTl/L			4	Tatsi, K., A. Turner, R.D. Handy, and B.J.Shaw (2015): The Acute Toxicity of Thallium to Freshwater Organisms: Implications for Risk Assessment. Sci. Total Environ. 536(1): 382-390.		信頼性D：信頼性の判定不可	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata			TS：Tl2SO4					3	day	急性	EC50	growth		130	μgTl/L			4	U.S.EPA「ECOTOX」 U.S.Environmental Protection Agency (1978): In-Depth Studies on Health and Environmental Impacts of Selected Water Pollutants. U.S.EPA Contract No.68-01-4646, Duluth, MN :9 p.		信頼性D：信頼性の判定不可	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	藻類	Ditylum brightwellii			TS：TlCl 、塩分：411mg/L					5	day	急性	EC50	growth		330	μgTl/L			4	U.S.EPA「ECOTOX」 Canterford, G.S., and D.R. Canterford (1980): Toxicity of Heavy Metals to the Marine Diatom Ditylum brightwellii (West) Grunow: Correlation between Toxicity and Metal Speciation. J.Mar.Biol.Assoc.U.K. 60(1):227-242.		信頼性D：信頼性の判定不可	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	甲殻類	Daphnia magna			TS：TlNO3 、硬度：28-40mg/L					2	day	急性	EC50	immobilization		510	μgTl/L			2	Tatsi, K., A. Turner, R.D. Handy, and B.J.Shaw (2015): The Acute Toxicity of Thallium to Freshwater Organisms: Implications for Risk Assessment. Sci. Total Environ. 536(1): 382-390.		信頼性B：試験は条件付きで信頼できる	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	甲殻類	Daphnia pulex			TS :TlNO3 、硬度：48mg/L					3	day	急性	EC50	immobilization		725	μgTl/L			2	Tatsi, K., A. Turner, R.D. Handy, and B.J.Shaw (2015): The Acute Toxicity of Thallium to Freshwater Organisms: Implications for Risk Assessment. Sci. Total Environ. 536(1): 382-390.		信頼性B：試験は条件付きで信頼できる	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	魚類	Pimephales promelas			TS：Tl2SO4 、硬度：40-48mg/L、は流水式(6 倍容量換水／日)、試験用水：曝気した地下水（硬度 28～40 mg/L、CaCO3換算）		0、40、120、200、350、720	μg Tl/L		30	day	慢性	NOEC	mortality	<	40	μgTl/L			1	U.S.EPA「ECOTOX」 LeBlanc, G.A., and J.W. Dean (1984): Antimony and Thallium Toxicity to Embryos and Larvae of Fathead Minnows (Pimephales promelas). Bull.Environ.Contam.Toxicol. 32(5):565-569.		信頼性A：試験は信頼できる	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	魚類	Oncorhynchus mykiss			TS：Tl2SO4 、塩分：34mg/L、止水式、試験用水：米国 ASTM 推奨の再調整脱塩軟水（硬度 48 mg/L、CaCO3換算）	米国 ASTM の試験方法 (E729, 1980)	0、0.3、0.5、0.8、1.3、2.4、4.1	mg/L		4	day	急性	LC50	mortality		1900	μgTl/L			2	U.S.EPA「ECOTOX」 Horne, J.D., M.A. Swirsky, T.A. Hollister, B.R. Oblad, and J.H. Kennedy (1983): 5 Aquatic Toxicity Studies of Five Priority Pollutants. Rep.No.4398, Final Report, EPA Contract No.68-01-6201, NUS Corp., Houston, TX :196 p.		信頼性B：試験は条件付きで信頼できる	2
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物	魚類	Oncorhynchus mykiss			TS：Tl (I) 、硬度：195mg/L					4	day	急性	LC50	mortality		3200	μgTl/L			2	U.S.EPA「ECOTOX」 Pickard,J., R. Yang, B. Duncan, C.A. McDevitt, and C. Eickhoff (2001): Acute and Sublethal Toxicity of Thallium to Aquatic Organisms. Bull. Environ. Contam. Toxicol.66(1): 94-101.		信頼性B：試験は条件付きで信頼できる	2
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物		Lemna minor			TS：TlNO3 、硬度：230mg/L					7	day	急性	EC50	growth rate		397	μgTl/L			4	U.S.EPA「ECOTOX」 Naumann, B., M. Eberius, and K.J. Appenroth (2007): Growth Rate Based Dose-Response Relationships and EC-Values of Ten Heavy Metals Using the Duckweed Growth Inhibition Test (ISO 20079) with Lemna minor L. Clone St. J.Plant Physiol. 164(12):1656-1664.		信頼性D：信頼性の判定不可	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物		Physa heterostropha			TS：Tl2SO4 、硬度：48mg/L、止水式、試験用水：米国ASTM推奨の再調整脱塩軟水（硬度48 mg/L、CaCO3換算）	米国ASTMの試験方法 (E729, 1980)				4	day	急性	LC50	mortality		2200	μgTl/L			2	U.S.EPA「ECOTOX」 Horne, J.D., M.A. Swirsky, T.A. Hollister, B.R. Oblad, and J.H. Kennedy (1983): 5 Aquatic Toxicity Studies of Five Priority Pollutants. Rep.No.4398, Final Report, EPA Contract No.68-01-6201, NUS Corp., Houston, TX :196 p.		信頼性B：試験は条件付きで信頼できる	2
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-10.pdf	タリウム及びその化合物		Brachionus calyciflorus			TS：Tl2SO4 、硬度：85mg/L					1	day	急性	LC50	mortality		7700	μgTl/L			3	U.S.EPA「ECOTOX」 Calleja, M.C., G. Persoone, and P. Geladi (1994): Comparative Acute Toxicity of the First 50 Multicentre Evaluation of In Vitro Cytotoxicity Chemicals to Aquatic Non-Vertebrates. Arch.Environ.Contam.Toxicol. 26(1):69-78.		信頼性C：試験の信頼性は低い	2
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-11.pdf	タリウム及びその化合物		Daphnia magna			TS：Tl(NO3)3・3H2O					2	day	急性	LC50	mortality		11	μgTl/L			3	U.S.EPA「ECOTOX」 Lan, C.H., and T.S. Lin (2005): Acute Toxicity of Trivalent Thallium Compounds to Daphnia magna. Ecotoxicol.Environ.Saf. 61(3):432-435.		信頼性C：試験の信頼性は低い	1
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-12.pdf	タリウム及びその化合物		Daphnia magna			TS：TlCl3・4H2O					2	day	急性	LC50	mortality		33	μgTl/L			3	U.S.EPA「ECOTOX」 Lan, C.H., and T.S. Lin (2005): Acute Toxicity of Trivalent Thallium Compounds to Daphnia magna. Ecotoxicol.Environ.Saf. 61(3):432-435.		信頼性C：試験の信頼性は低い	1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P102	タリウム	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h29-01/pdf/chpt1/1-2-2-13.pdf	タリウム及びその化合物		Gastrophryne carolinensis			TS：TlCl3 、硬度：195mg/L					7（～ふ化4日後）	day		LC50	mortality		110	μgTl/L			2	U.S.EPA「ECOTOX」 Birge, W.J. (1978): Aquatic Toxicology of Trace Elements of Coal and Fly Ash. In: J.H.Thorp and J.W.Gibbons (Eds.), Dep.Energy Symp.Ser., Energy and Environmental Stress in Aquatic Systems, Augusta, GA 48:219-240.		信頼性B：試験は条件付きで信頼できる	1
P105	炭酸リチウム	政府GHS分類結果		炭酸リチウム	魚類		マミチョグ							96	時間	急性	E(L)C50			8.1	mg/L	区分2	魚類（マミチョグ）の96時間LC50 = 8.1 mg/L（AQUIRE, 2011）から区分2とし		AQUIRE, 2011			2
P106	チオシアン酸銅(I)	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	チオシアン酸銅(I)		甲殻類												EC50			0.014	mg/L						平成27年11月26日	1
P106	チオシアン酸銅(I)	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	チオシアン酸銅(I)		魚類												EC50			0.031	mg/L						平成27年11月26日	1
P107	チフルザミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/t11_thifluzamide.pdf	チフルザミド	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、500、890、1600、2800、5000	μg/L		96	hour	急性	LC50			2230	μg/L	95%信頼限界 1,450-4,400	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 10 尾/群 暴露方法 半止水式（暴露開始 24 時間毎に換水） 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 500 890 1,600 2,800 5,000 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 450 710 1,450 2,530 4,400 死亡数 /供試生物数 （96hr 後；尾） 0/10 0/10 0/10 0/10 7/10 10/10 助剤 DMF 0.095ml/L LC50（μg/L） 2,230 (95%信頼限界 1,450-4,400)(実測濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 チフルザミド	平成24年		2
P107	チフルザミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/t11_thifluzamide.pdf	チフルザミド	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0、120、240、500、1000、2000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		1400	μg/L	95%信頼限界 1,200-1,500	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 40 頭/群 暴露方法 流水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 0 120 240 500 1,000 2,000 実測濃度（μ g/L） （算術平均値） 0 95 250 280 850 1,700 遊泳阻害数 /供試生 物数(48hr 後；頭) 0/40 0/40 0/40 0/40 2/40 31/40 助剤 DMF 0.049ml/L EC50（μg/L） 1,400 (95%信頼限界 1,200-1,500)（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 チフルザミド	平成24年		2
P108	1－デカナール	化審法スクリーニング評価結果		1－デカナール	甲殻類											急性	E(L)C50			1.17	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h28_02_b04_02.pdf		平成28年10月28日			2
P109	1, 1, 2, 2－テトラクロロエタン			1,1,2,2-テトラクロロエタン（別名：四塩化アセチレン）	甲殻類	オオミジンコ								48時間			EC50			9.3	mg/L	区分2	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50=9.3mg/L（SIDS、2005）他から、区分2とした。				平成22年度	2
P110	テトラナトリウム＝2, 2', 2'', 2'''－（エチレンジニトリロ）テトラアセタート	政府GHS分類結果		テトラナトリウム＝2, 2', 2'', 2'''－（エチレンジニトリロ）テトラアセタート	藻類	Scenedesmus subspicatus								72	時間	急性	E(L)C50			1.01	mg/L	区分2	藻類 (Scenedesmus subspicatus) の72時間EC50 = 1.01 mg/L (EU-RAR, 2004、IUCLID, 2000) であることから、区分2とした。		EU-RAR, 2004、IUCLID, 2000			2
P112	2, 2, 3, 3－テトラフルオロプロピオン酸ナトリウム	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/310tetrapion.pdf	フルプロパネートナトリウム塩（テトラピオン）	藻類	P. subcapitata		藻類生長阻害試験			0、1000、1700、3100、5600、10000	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		3540	μg/L	（95%信頼限界 3,300－3,820）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）	被験物質 原体 供試生物 P. subcapitata 初期生物量 1.0×10 4 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72h 設定濃度（μg/L） 0 1,000 1,700 3,100 5,600 10,000 実測濃度（μg/L） （算術平均値） 0 900 1,600 3,100 5,500 10,000 72hr 後生物量 （×10 4 cells/mL） 92.8 93.7 80.2 46.2 8.9 2.8 0-72hr 生長阻害率 （%） -0.4 3.1 15.4 51.9 78.3 助剤 なし ErC50（μg/L） 3,540（95%信頼限界 3,300－3,820）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 フルプロパネートナトリウム塩（テトラピオン）	平成28年		2
P113	テトラメチルアンモニウム＝ヒドロキシド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	テトラメチルアンモニウム＝ヒドロキシド		甲殻類												EC50			3	mg/L						平成29年11月24日	2
P114	1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8－オクタヒドロナフタレン－2－イル)エタン－1－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノン、1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8a－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノン及び1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノンの混合物を主成分(80%以上)とする、3－メチルペンタ－3－エン－2－オンと3－メチリデン－7－メチルオクタ－1, 6－ジエンの反応生成物		甲殻類												EC50			1.38	mg/L						平成27年10月23日	2
P114	1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8－オクタヒドロナフタレン－2－イル)エタン－1－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノン、1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8a－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノン及び1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノンの混合物を主成分(80%以上)とする、3－メチルペンタ－3－エン－2－オンと3－メチリデン－7－メチルオクタ－1, 6－ジエンの反応生成物		甲殻類												NOEC			0.028	mg/L						平成27年10月23日	1
P114	1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8－オクタヒドロナフタレン－2－イル)エタン－1－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノン、1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8a－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノン及び1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノンの混合物を主成分(80%以上)とする、3－メチルペンタ－3－エン－2－オンと3－メチリデン－7－メチルオクタ－1, 6－ジエンの反応生成物		魚類												EC50			1.3	mg/L						平成27年10月23日	2
P114	1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8－オクタヒドロナフタレン－2－イル)エタン－1－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノン、1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8a－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノン及び1－(2, 3, 8, 8－テトラメチル－1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a－オクタヒドロ－2－ナフチル)エタノンの混合物を主成分(80%以上)とする、3－メチルペンタ－3－エン－2－オンと3－メチリデン－7－メチルオクタ－1, 6－ジエンの反応生成物		魚類												NOEC			0.16	mg/L						平成27年10月23日	2
P115	1－[(3R, 3aR, 7R, 8aS)－3, 6, 8, 8－テトラメチル－2, 3, 4, 7, 8, 8a－ヘキサヒドロ－1H－3a, 7－メタノアズレン－5－イル]エタノン	化審法スクリーニング評価結果		1－[(3R, 3aR, 7R, 8aS)－3, 6, 8, 8－テトラメチル－2, 3, 4, 7, 8, 8a－ヘキサヒドロ－1H－3a, 7－メタノアズレン－5－イル]エタノン	藻類											慢性	NOEC			0.0716	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h27_03_b04_02.pdf		平成27年10月23日			1
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			3.8	mg/L					H16		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.73	mg/L					H17		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			1.9	mg/L					H16		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			2.6	mg/L					H17		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.59	mg/L					H16		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.36	mg/L					H17		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			2	mg/L					H16		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			3.9	mg/L					H17		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.98	mg/L					H16		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.29	mg/L					H17		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			0.88	mg/L					H16		1
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ジメチル-N-ドデシルグリシン	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			1.4	mg/L					H17		2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－(N－ドデシル－N, N－ジメチルアンモニオ)アセタート		藻類												EC50			3.81	mg/L						平成26年11月28日	2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－(N－ドデシル－N, N－ジメチルアンモニオ)アセタート		藻類												NOEC			0.73	mg/L						平成26年11月28日	2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－(N－ドデシル－N, N－ジメチルアンモニオ)アセタート		甲殻類												EC50			1.99	mg/L						平成26年11月28日	2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－(N－ドデシル－N, N－ジメチルアンモニオ)アセタート		甲殻類												NOEC			0.29	mg/L						平成26年11月28日	2
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－(N－ドデシル－N, N－ジメチルアンモニオ)アセタート		魚類												EC50			0.876	mg/L						平成26年11月28日	1
P118	[ドデカン－1－イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート			2－(N－ドデシル－N, N－ジメチルアンモニオ)アセタート	魚類	メダカ								96時間			LC50			0.88	mg/L	区分1	魚類（メダカ）96時間LC50 = 0.88 mg/L（環境省生態影響試験, 2004）であることから、区分1とした。				平成27年度	1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源	対象物質	物質名称	試験動物 栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報	テストガイドライン／GLP	投与条件 投与量	単位	備考	試験期間 時間	単位	エンドポイント等 急性/慢性	エンドポイント	症状	有害性データ 不等号	毒性値	単位	備考	引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
P118	[ドデカン−1−イル(ジメチル)アンモニオ]アセタート			2−(N−ドデシル−N, N−ジメチルアンモニオ)アセタート	甲殻類	オオミジンコ								21日間			NOEC			0.29	mg/L	区分3	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり(28日でのO2 consumption/BOD分解度＝96%、TOC removal分解度＝98%、HPLC分解度＝100%(経済産業公報, 2004)及び28日でのBOD (NH3)分解度＝96%、HPLC分解度＝100%(経済産業公報, 2004))、甲殻類(オオミジンコ)の21日間NOEC (繁殖) = 0.29 mg/L(環境省生態影響試験, 2005)であることから、区分3となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、魚類(メダカ)の96時間LC50 = 0.88 mg/L(環境省生態影響試験, 2004)であるが、急速分解性があり、生物蓄積性が低いと推定される(log Kow= 0.47(PHYSPROP Database, 2009))ことから、区分外となる。 以上の結果を比較し、区分3とした。				平成27年度	2
P121	トリオクタン−1−イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		トリ-n-オクチルアミン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.0022	mg/L					H20		1
P121	トリオクタン−1−イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		トリ-n-オクチルアミン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.0002	mg/L					H20		1
P121	トリオクタン−1−イルアミン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		トリ-n-オクチルアミン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			0.026	mg/L					H20		1
P121	トリオクタン−1−イルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	トリオクチルアミン		藻類												EC50			0.0022	mg/L						平成30年11月16日	1
P121	トリオクタン−1−イルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	トリオクチルアミン		藻類												NOEC			0.00078	mg/L						平成30年11月16日	1
P121	トリオクタン−1−イルアミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	トリオクチルアミン		甲殻類												EC50			0.026	mg/L						平成30年11月16日	1
P121	トリオクタン−1−イルアミン			トリオクチルアミン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72時間			EC50			0.0022	mg/L	区分1	藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)の72時間ErC50 = 0.0022 mg/L(環境省生態影響試験, 2008)から区分1とした。				平成23年度	1
P121	トリオクタン−1−イルアミン			トリオクチルアミン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72時間			NOEC			0.0002	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BODによる分解度:0%(既存点検, 1983))、藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)の72時間NOEC＝0.00020mg/Lである(環境省生態影響試験, 2008)ことから、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(BODによる分解度:0%(既存点検, 1983))、甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50＝0.026 mg/Lである(環境省生態影響試験, 2008)ことから、区分1となる。 以上の結果から、区分1とした。				平成23年度	1
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl (Rizolex)	魚類	Oncorhynchus mykiss								97	day		NOEC			0.012	ppm			C	C. Rodriquez	1991		1
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl	甲殻類	Daphnia magna								21	day		NOEC			0.026	ppm			C	C. Rodriguez	1989		1
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl	藻類	Scenedesmus subspicatus								72	h		EC50			0.31	ppm			S	K. Sappington	2003		1
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl	魚類	Oncorhynchus mykiss								96	h		LC50			0.69	ppm			C	K. Sappington	2003		1
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl	魚類	Oncorhynchus mykiss								96	h		LC50			0.87	ppm			C	D. Rieder	1982		1
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl	魚類	Cyprinus carpio								96	h		LC50			2.13	ppm			S	D. Rieder	1982		2
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl	甲殻類	Daphnia pulex								24	h		EC50			2.4	ppm			S	D. Rieder	1982		2
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl	魚類	Oryzias latipes								96	h		LC50			2.88	ppm			S	D. Rieder	1982		2
P122	トルクロホスメチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tolclofos-methyl	魚類	Poecilia reticulata								96	h		LC50			3.18	ppm			S	D. Rieder	1982		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Dunaliella tertiolecta				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				48	hour		EC50			2300	PPB				F.L. Mayer（EPA）	1986	S	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Pavlova gyrans				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				48	hour		EC50			760	PPB				F.L. Mayer（EPA）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Pavlova lutheri				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				48	hour		EC50			550	PPB				F.L. Mayer（EPA）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Isochrysis galbana				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				48	hour		EC50			210	PPB				F.L. Mayer（EPA）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Skeletonema costatum				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				48	hour		EC50			160	PPB				F.L. Mayer（EPA）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	甲殻類	Daphnia pulex				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				3	hour		EC50			1.5	PPM				R. Balcomb（REF）	1967	S	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		EC50			8.4	PPM				J. McCann（ARC）	1979	C	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				24	hour		EC50			0.5	PPM				K. Clark（MAI）		S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			0.31	PPM				J.McCann/Bascietto（ARC）	1979	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			72	PPB				R. Balcomb（EPA）	1973	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			0.141	PPM				R. Balcomb（FWS）	1974	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Salvelinus fontinalis				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			34	PPB				R. Balcomb（EPA）	1973	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Pimephales promelas				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			65	PPB				R. Balcomb（EPA）	1973	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Oncorhynchus kisutch				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			56	PPB				Mayer & Ellersieck（FWS）	1980	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Oncorhynchus tshawytscha				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			56	PPB				Johnson and Finley（FWS）	1980	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Oncorhynchus clarkii				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			56.4	PPB				Mayer & Ellersieck（FWS）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			73	PPB				Mayer & Ellersieck（FWS）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Salmo trutta				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			26.2	PPB				Mayer & Ellersieck（FWS）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Salvelinus namaycush				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			49	PPB				Mayer & Ellersieck（FWS）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Ictalurus punctatus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			77.5	PPB				Mayer & Ellersieck（FWS）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Perca flavescens				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			120	PPB				Mayer & Ellersieck（FWS）	1986	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Pimephales promelas				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			134	PPB				Mayer & Ellersieck（FWS）	1980	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				26	hour		EC50			0.5	PPM				D. McLane（CCC）	1967	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Scenedesmus subspicatus				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				96	hour		EC50			0.32	PPM				Holst/R.Sternberg（PFB）	1984	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Skeletonema costatum				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				96	hour		EC50			0.18	PPM				B. Montague（WLI）	1999	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				96	hour		EC50			1.2	PPM				B. Montague（WLI）	1999	C	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3（Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			1.9	PPM				B. Montague（WLI）	1999	C	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				96	hour		EC50			1.77	PPM				H. Craven（BRI）	1990	C	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan/Zineb mixture	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			0.74	PPM				J. McCann（ARC）	1974	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan/Hexachlorobenzene mixture	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			560	PPB				J. McCann（ARC）	1974	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan/Hexachlorobenzene mixture	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			163	PPB				J. McCann（ARC）	1974	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan/Methoxychlor Orthocide 75-3	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		LC50			402	PPB				J. McCann（ARC）	1971	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				24	hour		EC50			4.7	PPM				H. Craven（BRI）	1993	S	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				24	hour		NOEL			0.2	PPM				K. Clark（MAI）		S	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL		<	0.25	PPM				J.McCann/Bascietto（ARC）	1979	C	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL		<	47	PPB				R. Balcomb（EPA）	1973	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL		<	0.119	PPM				R. Balcomb（FWS）	1974	S	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Salvelinus fontinalis				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL		<	22	PPB				R. Balcomb（EPA）	1973	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Pimephales promelas				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL		<	59	PPB				R. Balcomb（EPA）	1973	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Scenedesmus subspicatus				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				96	hour		NOEL		<	0.08	PPM				Holst/R.Sternberg（PFB）	1984	S	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Skeletonema costatum				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				96	hour		NOEL			0.062	PPM				B. Montague（WLI）	1999	C	1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				96	hour		NOEL		<	0.23	PPM				B. Montague（WLI）	1999	C	2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Lemna gibba				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				7	day		NOEL			0.4	PPM				B. Montague（WLI）	1999	C	2

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果										文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン/GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ			引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		采食段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3(Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			1	PPM				B. Montague(WLI)	1999	C	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		NOEL			0.2	PPM				H. Craven(BPE)	1990	C	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan/Zineb mixture	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.42	PPM				J. McCann(ARC)	1974	S	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan/Hexachlorobenzene mixture	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			180	PPB				J. McCann(ARC)	1974	S	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan/Hexachlorobenzene mixture	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			140	PPB				J. McCann(ARC)	1974	S	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Captan/Methoxychlor Orthocide 75-3	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			240	PPB				J. McCann(ARC)	1971	S	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/12775	Captan	魚類	Salmo trutta		Fish, Acute Toxicity Test	static, freshwater	OECD TG 203/GLP				96	hour	急性	LC50	mortality		93	µg/L	nominal	1	study report	2002		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/12775	Captan	魚類	Salmo trutta		Fish, Acute Toxicity Test	static, freshwater	OECD TG 203/GLP				96	hour	急性	NOEC	exhibited hyperventilation		13.7	µg/L	nominal	1	study report	2002	Key result	1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/12775	Captan	魚類	Oncorhynchus mykiss		Fish, Prolonged Toxicity Test: 14-day Study	flow-through, freshwater	OECD TG 204/GLP				21	day	慢性	NOEC	mortality		56	µg/L	nominal	1	study report	1991	Key result	1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/12775	Captan	魚類	Oncorhynchus mykiss		Fish, Prolonged Toxicity Test: 14-day Study	flow-through, freshwater	OECD TG 204/GLP				21	day	慢性	LC50	mortality		75	µg/L	nominal	1	study report	1991	Key result	1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/12775	Captan	甲殻類	Daphnia magna		Daphnia magna Reproduction Test	semi-static, freshwater	OECD TG 211/GLP				21	day	慢性	NOEC	based on the reduction in offspring and body length recorded at 1.0 mg/L		0.56	mg/L	nominal	1	study report	1991	Key result	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/12775	Captan	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		Alga, Growth Inhibition Test	static, freshwater	OECD TG 201/GLP				96	hour		EC50	biomass		1.8	mg/L	nominal	1	study report	1991	Key result	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/12775	Captan	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		Alga, Growth Inhibition Test	static, freshwater	OECD TG 201/GLP				96	hour		NOEC	biomass		0.2	mg/L	nominal	1	study report	1991	Key result	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/12775	Captan	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		Alga, Growth Inhibition Test	static, freshwater	OECD TG 201/GLP				96	hour		NOEC	growth rate		0.8	mg/L	nominal	1	study report	1991	Key result	2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Isochrysis galbana								2	day		EC50	POP		210	µg/L			Ref N: 3947		Mayer,F.L.Jr.,Acute Toxicity Handbook of Chemicals to Estuarine Organisms. EPA 600/8-87-017, U.S.EPA, Gulf Breeze, FL,274 p., 1987	1987		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Pavlova gyrans								2	day		EC50	POP		760	µg/L			Ref N: 3947		Mayer,F.L.Jr.,Acute Toxicity Handbook of Chemicals to Estuarine Organisms. EPA 600/8-87-017, U.S.EPA, Gulf Breeze, FL,274 p., 1987	1987		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Pavlova lutheri								2	day		EC50	POP		550	µg/L			Ref N: 3947		Mayer,F.L.Jr.,Acute Toxicity Handbook of Chemicals to Estuarine Organisms. EPA 600/8-87-017, U.S.EPA, Gulf Breeze, FL,274 p., 1987	1987		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Dunaliella tertiolecta								2	day		EC50	POP		2300	µg/L			Ref N: 3947		Mayer,F.L.Jr.,Acute Toxicity Handbook of Chemicals to Estuarine Organisms. EPA 600/8-87-017, U.S.EPA, Gulf Breeze, FL,274 p., 1987	1987		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Scenedesmus subspicatus								4	day		EC50	POP		320	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Scenedesmus subspicatus								4	day		NOEL	POP	<	80	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata							NR	day		EC50	POP		2600	µg/L			Ref N: 2478		Kikuchi,M., Toxicity Evaluation of Selected Pesticides Used in Golf Links by Algal Growth Inhibition Test. Mizu Kankyo Gakkaishi (J. Jpn. Soc. Water Environ.)16(10): 704-710, 1993	1993		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata							NR	day		EC50	POP		5000	µg/L			Ref N: 2478		Kikuchi,M., Toxicity Evaluation of Selected Pesticides Used in Golf Links by Algal Growth Inhibition Test. Mizu Kankyo Gakkaishi (J. Jpn. Soc. Water Environ.)16(10): 704-710, 1993	1993		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Anabaena flosaquae								4	day		EC50	POP		1200	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata							NR	day		EC50	POP		2400	µg/L			Ref N: 2478		Kikuchi,M., Toxicity Evaluation of Selected Pesticides Used in Golf Links by Algal Growth Inhibition Test. Mizu Kankyo Gakkaishi (J. Jpn. Soc. Water Environ.)16(10): 704-710, 1993	1993		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Skeletonema costatum								2	day		EC50	POP		160	µg/L			Ref N: 3947		Mayer,F.L.Jr.,Acute Toxicity Handbook of Chemicals to Estuarine Organisms. EPA 600/8-87-017, U.S.EPA, Gulf Breeze, FL,274 p., 1987	1987		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Skeletonema costatum								4	day		EC50	POP		180	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								4	day		EC50	POP		1770	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Skeletonema costatum								4	day		NOEL	POP		62	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								4	day		NOEL	POP		200	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	藻類	Anabaena flosaquae								4	day		NOEL	POP	<	230	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								0.0417	day		EC50	ENZ		123	µg/L			Ref N: 117832		Fochtman,P., A. Rasika, and E. Nerzelska. The Use of Conventional Bioassays, Microbiotests, and Some "Rapid" Methods in the Selection of an Optimal Test Battery for the Assessment of Pesticides Toxicity, Environ. Toxicol.15(3): 376-384, 2000	2000		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia pulex								0.125	day		EC50	ITX		1500	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								0.0417	day		EC50	FDB		980	µg/L			Ref N: 117832		Fochtman,P., A. Rasika, and E. Nerzelska. The Use of Conventional Bioassays, Microbiotests, and Some "Rapid" Methods in the Selection of an Optimal Test Battery for the Assessment of Pesticides Toxicity, Environ. Toxicol.15(3): 376-384, 2000	2000		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								1	day		EC50	ITX		500	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								2	day		EC50	ITX		8400	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								1	day		EC50	ITX		500	µg/L			Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)); Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								63	day		LC50	MOR		920	µg/L			Ref N: 117172		Biesinger,K.E., The Chronic Toxicity of Some Pesticides to Daphnia magna. Interim Rep.No.ROAP 16AAK, Task 06. Nat'l.Water Qual.Lab., Duluth, MN 5 p., 1973	1973		1
P123	N-トリクロロメチルチオ-4-シクロヘキセン-1, 2-ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								21	day		LC50	MOR		1100	µg/L			Ref N: 117172		Biesinger,K.E., The Chronic Toxicity of Some Pesticides to Daphnia magna. Interim Rep.No.ROAP 16AAK, Task 06. Nat'l.Water Qual.Lab., Duluth, MN 5 p., 1973	1973		2

■生態毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性／慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia pulex								0.125	day		LC50*	MOR		1500	μg/L		Ref N: 15192		Nishiuchi,Y., and Y. Hashimoto, Toxicity of Pesticide Ingredients to Some Fresh Water Organisms, Sci. Pest Control (Botyu-Kagaku)32(1): 5-11, 1967	1967		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia pulex								0.125	day		LC50*	MOR		1500	μg/L		Ref N: 5761		Hashimoto,Y., and Y. Nishiuchi, Establishment of Bioassay Methods for the Evaluation of Acute Toxicity of Pesticides to Aquatic Organisms, J. Pestic. Sci.6(2): 257-264, 1981	1981		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								1.0833	day		LC50*	MOR		1300	μg/L		Ref N: 2820		Frear,D.E.H., and J.E. Boyd, Use of Daphnia magna for the Microbioassay of Pesticides. I. Development of Standardized Techniques for Rearing Daphnia and Preparation of Dosage-Mortality Curves for Pesticides, J. Econ.	1967		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								42	day		LC50	MOR		1050	μg/L		Ref N: 117172		Biesinger,K.E., The Chronic Toxicity of Some Pesticides to Daphnia magna, Interim Rep.No.ROAP 16AAK, Task 06, Natl.Water Qual.Lab., Duluth, MN:5 p., 1973	1973		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia pulex								0.125	day		LC50*	MOR		1500	μg/L		Ref N: 2682		Nishiuchi,Y., and Y. Hashimoto, Toxicity of Pesticides to Some Fresh Water Organisms, Rev. Plant Prot. Res.2:137-139, 1969	1969		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								21	day		NOEC	REP		560	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								21	day		NOEC	GRO		560	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								441	day		NOEC	REP		1000	μg/L		Ref N: 117172		Biesinger,K.E., The Chronic Toxicity of Some Pesticides to Daphnia magna, Interim Rep.No.ROAP 16AAK, Task 06, Natl.Water Qual.Lab., Duluth, MN:5 p., 1973	1973		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								1	day		NOEL	ITX		200	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	甲殻類	Daphnia magna								1	day		NOEL	ITX		100	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus clarkii								4	day		LC50	MOR		56.4	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Acheilognathus moriokae								2	day		LC50*	MOR		250	μg/L		Ref N: 7591		Nishiuchi,Y., Toxicity of Formulated Pesticides to Some Fresh Water Organisms. XXXXI, Suisan Zoshoku24(4): 146-150, 1977	1977		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Rasbora heteromorpha								4	day		LC50	MOR		300	μg/L		Ref N: 848		Tooby,T.E., P.A. Hursey, and J.S. Alabaster, The Acute Toxicity of 102 Pesticides and Miscellaneous Substances to Fish, Chem. Ind. (Lond.)21:523-526, 1975	1975		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Rasbora heteromorpha								2	day		LC50	MOR		330	μg/L		Ref N: 848		Tooby,T.E., P.A. Hursey, and J.S. Alabaster, The Acute Toxicity of 102 Pesticides and Miscellaneous Substances to Fish, Chem. Ind. (Lond.)21:523-526, 1975	1975		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Rasbora heteromorpha								1	day		LC50	MOR		460	μg/L		Ref N: 848		Tooby,T.E., P.A. Hursey, and J.S. Alabaster, The Acute Toxicity of 102 Pesticides and Miscellaneous Substances to Fish, Chem. Ind. (Lond.)21:523-526, 1975	1975		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Misgurnus anguillicaudatus								2	day		LC50*	MOR		340	μg/L		Ref N: 5761		Hashimoto,Y., and Y. Nishiuchi, Establishment of Bioassay Methods for the Evaluation of Acute Toxicity of Pesticides to Aquatic Organisms, J. Pestic. Sci.6(2): 257-264, 1981	1981		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus clarkii								1	day		LC50	MOR		74.1	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Clarias batrachus								40	day		LC50	MOR		547.3	μg/L		Ref N: 14634		Tripathi,G., Relative Toxicity of Aldrin, Fenvalerate, Captan and Diazinon to the Freshwater Food-Fish, Clarias batrachus, Biomed. Environ. Sci.5:33-38, 1992	1992		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Clarias batrachus								4	day		LC50	MOR		4103.6	μg/L		Ref N: 14634		Tripathi,G., Relative Toxicity of Aldrin, Fenvalerate, Captan and Diazinon to the Freshwater Food-Fish, Clarias batrachus, Biomed. Environ. Sci.5:33-38, 1992	1992		2
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Anguilla japonica								2	day		LC50	MOR		300	μg/L		Ref N: 8570		Yokoyama,T., H. Saka, S. Fujita, and Y. Nishiuchi, Sensitivity of Japanese Eel, Anguilla japonica, to 68 Kinds of Agricultural Chemicals, Bull. Agric. Chem. Insp. Stn. (Tokyo)28:26-33, 1988	1988		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Anguilla japonica								1	day		LC50	MOR		580	μg/L		Ref N: 8570		Yokoyama,T., H. Saka, S. Fujita, and Y. Nishiuchi, Sensitivity of Japanese Eel, Anguilla japonica, to 68 Kinds of Agricultural Chemicals, Bull. Agric. Chem. Insp. Stn. (Tokyo)28:26-33, 1988	1988		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Perca flavescens								4	day		LC50	MOR		120	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salvelinus fontinalis								4	day		LC50	MOR		34	μg/L		Ref N: 945		Hermanutz,R.O., L.H. Mueller, and K.D. Kempfert, Captan Toxicity to Fathead Minnows (Pimephales promelas), Bluegills (Lepomis macrochirus), and Brook Trout (Salvelinus fontinalis), J. Fish. Res. Board Can.30(12): 1811-1817, 1973	1973		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salmo trutta								4	day		LC50	MOR		26.2	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Ictalurus punctatus								1	day		LC50	MOR		79.8	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Pimephales promelas								4	day		LC50	MOR		65	μg/L		Ref N: 945		Hermanutz,R.O., L.H. Mueller, and K.D. Kempfert, Captan Toxicity to Fathead Minnows (Pimephales promelas), Bluegills (Lepomis macrochirus), and Brook Trout (Salvelinus fontinalis), J. Fish. Res. Board Can.30(12): 1811-1817, 1973	1973		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Danio rerio								0.0625	day		LC50	MOR		670	μg/L		Ref N: 14345		Abedi,Z.H., and W.P. McKinley, Bioassay of Captan by Zebrafish Larvae, Nature216:1321-1322, 1967	1967		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salvelinus namaycush								4	day		LC50	MOR		49	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salvelinus namaycush								1	day		LC50	MOR		63.2	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Pimephales promelas								4	day		LC50	MOR		200	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salvelinus namaycush								1	day		LC50	MOR		75	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								2	day		LC50	MOR		800	μg/L		Ref N: 12497		Tsuji,S., Y. Tonogai, Y. Ito, and S. Kanoh, The Influence of Rearing Temperatures on the Toxicity of Various Environmental Pollutants for Killifish (Oryzias latipes), Jpn. J. Toxicol. Environ. Health32(1): 46-53, 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								1	day		LC50	MOR		500	μg/L		Ref N: 12497		Tsuji,S., Y. Tonogai, Y. Ito, and S. Kanoh, The Influence of Rearing Temperatures on the Toxicity of Various Environmental Pollutants for Killifish (Oryzias latipes), Jpn. J. Toxicol. Environ. Health32(1): 46-53, 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salvelinus namaycush								4	day		LC50	MOR		63.2	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								2	day		LC50*	MOR		1000	μg/L		Ref N: 5761		Hashimoto,Y., and Y. Nishiuchi, Establishment of Bioassay Methods for the Evaluation of Acute Toxicity of Pesticides to Aquatic Organisms, J. Pestic. Sci.6(2): 257-264, 1981	1981		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								1	day		LC50	MOR		660	μg/L		Ref N: 12497		Tsuji,S., Y. Tonogai, Y. Ito, and S. Kanoh, The Influence of Rearing Temperatures on the Toxicity of Various Environmental Pollutants for Killifish (Oryzias latipes), Jpn. J. Toxicol. Environ. Health32(1): 46-53, 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Danio rerio								0.0625	day		LC50	MOR	~	700	μg/L		Ref N: 17312		Abedi,Z.H., and D.E. Turton, Note on the Response of Zebra Fish Larvae to Folpet and Difolatan, J. AOAC Int.51(5): 1108-1109, 1968	1968		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Pimephales promelas								1	day		LC50	MOR		290	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								2	day		LC50	MOR		500	μg/L		Ref N: 12497		Tsuji,S., Y. Tonogai, Y. Ito, and S. Kanoh, The Influence of Rearing Temperatures on the Toxicity of Various Environmental Pollutants for Killifish (Oryzias latipes), Jpn. J. Toxicol. Environ. Health32(1): 46-53, 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								2	day		LC50*	MOR		1000	μg/L		Ref N: 15192		Nishiuchi,Y., and Y. Hashimoto, Toxicity of Pesticide Ingredients to Some Fresh Water Organisms, Sci. Pest Control (Botyu-Kagaku)32(1): 5-11, 1967	1967		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Lepomis macrochirus								4	day		LC50	MOR		141	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.,	1992		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salvelinus namaycush								4	day		LC50	MOR		51	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Lepomis macrochirus								4	day		LC50	MOR		160	μg/L		Ref N: 70421		Mayer,F.L.,Jr., Pesticides as Pollutants, In: B.G.Liptak (Ed.), Environmental Engineer's Handbook, Chilton Book Co., Radnor, PA:405-418, 1974	1974		1
P123	N−トリクロロメチルチオ−4−シクロヘキセン−1，2−ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salmo trutta								1	day		LC50	MOR		81	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Pimephales promelas								4	day		LC50	MOR		134	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salvelinus namaycush								1	day		LC50	MOR		53	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Pimephales promelas								1	day		LC50	MOR		152	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Lepomis macrochirus								1	day		LC50	MOR		145	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Cyprinodon variegatus								4	day		LC50	MOR		1900	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.:,	1992		2
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Ictalurus punctatus								4	day		LC50	MOR		77.5	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Lepomis macrochirus								4	day		LC50	MOR		310	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.:,	1992		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Lepomis macrochirus								4	day		LC50	MOR		72	μg/L		Ref N: 945		Hermanutz,R.O., L.H. Mueller, and K.D. Kempfert, Captan Toxicity to Fathead Minnows (Pimephales promelas), Bluegills (Lepomis macrochirus), and Brook Trout (Salvelinus fontinalis), J. Fish. Res. Board Can.30(12): 1811-1817, 1973	1973		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salmo trutta								4	day		LC50	MOR		80	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								1	day		LC50	MOR		900	μg/L		Ref N: 12497		Tsuji,S., Y. Tonogai, Y. Ito, and S. Kanoh, The Influence of Rearing Temperatures on the Toxicity of Various Environmental Pollutants for Killifish (Oryzias latipes), Jpn. J. Toxicol. Environ. Health32(1): 46-53, 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Lepomis macrochirus								4	day		LC50	MOR		141	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								2	day		LC50	MOR		610	μg/L		Ref N: 12497		Tsuji,S., Y. Tonogai, Y. Ito, and S. Kanoh, The Influence of Rearing Temperatures on the Toxicity of Various Environmental Pollutants for Killifish (Oryzias latipes), Jpn. J. Toxicol. Environ. Health32(1): 46-53, 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Salmo trutta								1	day		LC50	MOR		26.2	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oryzias latipes								2	day		LC50*	MOR		1000	μg/L		Ref N: 2682		Nishiuchi,Y., and Y. Hashimoto, Toxicity of Pesticides to Some Fresh Water Organisms, Rev. Plant Prot. Res.2:137-139, 1969	1969		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Cyprinodon variegatus								4	day		NOEL	MOR		1000	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.:,	1992		2
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Lepomis macrochirus								4	day		NOEL	MOR	<	119	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.:,	1992		2
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Lepomis macrochirus								4	day		NOEL	MOR	<	250	μg/L		Ref N: 344		U.S. Environmental Protection Agency, Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)), Environmental Fate and Effects Division, U.S.EPA, Washington, D.C.:,	1992		2
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Cyprinus carpio								2	day		LC50*	MOR		250	μg/L		Ref N: 15192		Nishiuchi,Y., and Y. Hashimoto, Toxicity of Pesticide Ingredients to Some Fresh Water Organisms, Sci. Pest Control (Botyu-Kagaku)32(1): 5-11, 1967	1967		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Cyprinus carpio								2	day		LC50*	MOR		250	μg/L		Ref N: 2682		Nishiuchi,Y., and Y. Hashimoto, Toxicity of Pesticides to Some Fresh Water Organisms, Rev. Plant Prot. Res.2:137-139, 1969	1969		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Cyprinus carpio								2	day		LC50*	MOR		250	μg/L		Ref N: 5761		Hashimoto,Y., and Y. Nishiuchi, Establishment of Bioassay Methods for the Evaluation of Acute Toxicity of Pesticides to Aquatic Organisms, J. Pestic. Sci.6(2): 257-264, 1981	1981		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								4	day		LC50	MOR		380	μg/L		Ref N: 159420		Boran,H., E. Capkin, I. Altinok, and E. Terzi, Assessment of Acute Toxicity and Histopathology of the Fungicide Captan in Rainbow Trout, Exp. Toxicol. Pathol.64(3): 175-179, 2012	2012		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								4	day		LC50	MOR		100	μg/L		Ref N: 70421		Mayer,F.L.,Jr., Pesticides as Pollutants, In: B.G.Liptak (Ed.), Environmental Engineer's Handbook, Chilton Book Co., Radnor, PA:405-418, 1974	1974		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus tshawytscha								4	day		LC50	MOR		120	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		130	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		75	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		490	μg/L		Ref N: 159420		Boran,H., E. Capkin, I. Altinok, and E. Terzi, Assessment of Acute Toxicity and Histopathology of the Fungicide Captan in Rainbow Trout, Exp. Toxicol. Pathol.64(3): 175-179, 2012	2012		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								3	day		LC50	MOR		440	μg/L		Ref N: 159420		Boran,H., E. Capkin, I. Altinok, and E. Terzi, Assessment of Acute Toxicity and Histopathology of the Fungicide Captan in Rainbow Trout, Exp. Toxicol. Pathol.64(3): 175-179, 2012	2012		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								4	day		LC50	MOR		75	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		75	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus kisutch								1	day		LC50	MOR		75	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								1	day		LC50	MOR		570	μg/L		Ref N: 159420		Boran,H., E. Capkin, I. Altinok, and E. Terzi, Assessment of Acute Toxicity and Histopathology of the Fungicide Captan in Rainbow Trout, Exp. Toxicol. Pathol.64(3): 175-179, 2012	2012		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus kisutch								1	day		LC50	MOR		137	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		75	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								1	day		LC50	MOR		76.4	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								4	day		LC50	MOR		73.2	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		180	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		120	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		84	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		570	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								4	day		LC50	MOR		90	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								2	day		LC50	MOR		100	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								4	day		LC50	MOR		75	μg/L		Ref N: 18916		Kikuchi,M., T. Miyagaki, and M. Wakabayashi, Evaluation of Pesticides Used in Golf Links by Acute Toxicity Test on Rainbow Trout, Nippon Suisan Gakkaishi62(3): 414-419, 1996	1996		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus kisutch								4	day		LC50	MOR		56.5	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus tshawytscha								1	day		LC50	MOR		139	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus kisutch								4	day		LC50	MOR		137	μg/L		Ref N: 6797		Mayer,F.L.,Jr., and M.R. Ellersieck, Manual of Acute Toxicity: Interpretation and Data Base for 410 Chemicals and 66 Species of Freshwater Animals, USDI Fish and Wildlife Service, Publication No.160, Washington, DC:505 p., 1986	1986		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－４－シクロヘキセン－１，２－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Oncorhynchus mykiss								3	day		NOEC	MOR		180	μg/L		Ref N: 14397		Holland,G.A., J.E. Lasater, E.D. Neumann, and W.E. Eldridge, Toxic Effects of Organic and Inorganic Pollutants on Young Salmon and Trout, Res. Bull. No. 5, State of Washington Dept. Fish., Seattle, WA:263 p., 1960	1960		2

■生態毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報：番号	物質情報：化学物質名称	情報源：情報源	情報源：対象物質	情報源：物質名称	試験動物：栄養段階	試験動物：生物種（学名）	試験動物：生物種（和名）	試験名：試験名	試験名：その他試験情報	テストガイドライン／GLP	投与条件：投与量	投与条件：単位	投与条件：備考	試験期間：時間	試験期間：単位	エンドポイント等：急性/慢性	エンドポイント等：エンドポイント	エンドポイント等：症状	有害性データ：不等号	有害性データ：毒性値	有害性データ：単位	有害性データ：備考	引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年	備考	化管法クラス
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Carassius auratus								1.125	day		EC50	PHY		6500	μg/L		Ref N: 175895		Saito,H., S. Iwami, and T. Shigeoka, In Vitro Cytotoxicity of 45 Pesticides to Goldfish GF-Scale (GFS) Cells, Chemosphere23(4): 525-537, 1991	1991		2
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Carassius auratus								2	day		LC50*	MOR		37	μg/L		Ref N: 5761		Hashimoto,Y., and Y. Nishiuchi, Establishment of Bioassay Methods for the Evaluation of Acute Toxicity of Pesticides to Aquatic Organisms, J. Pestic. Sci.6(2): 257-264, 1981	1981		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Carassius auratus								2	day		LC50*	MOR		37	μg/L		Ref N: 2682		Nishiuchi,Y., and Y. Hashimoto, Toxicity of Pesticides to Some Fresh Water Organisms, Rev. Plant Prot. Res.2:137-139, 1969	1969		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Carassius auratus								2	day		LC50*	MOR		37	μg/L		Ref N: 15192		Nishiuchi,Y., and Y. Hashimoto, Toxicity of Pesticide Ingredients to Some Fresh Water Organisms, Sci. Pest Control (Botyu-Kagaku)32(1): 5-11, 1967	1967		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	U.S.EPA AQUIRE		3a,4,7,7a-Tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-1H-isoindole-1,3-(2H)-dione	魚類	Carassius auratus								4	day		LC50	MOR		890	μg/L		Ref N: 6218		Anton,F.A., Acute Toxicity of Technical Captan to Algae and Fish, Bull. Environ. Contam. Toxicol.50(3): 392-399, 1993	1993		1
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/380captan.pdf	キャプタン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験						96	hour	急性	LC50			137	μg/L							1
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/380captan.pdf	キャプタン	魚類	Oncorhynchus mykiss	ニジマス	魚類急性毒性試験						96	hour	急性	LC50			26.4	μg/L							1
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/380captan.pdf	キャプタン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	ムレミカヅキモ	藻類生長阻害試験						72	hour	急性	ErC50			700	μg/L							1
P123	N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	政府GHS分類結果		N－トリクロロメチルチオ－4－シクロヘキセン－1，2－ジカルボキシイミド	魚類		ニジマス							96	時間	急性	E(L)C50			50	μg/L	区分1	魚類（ニジマス）の96時間LC50=50μg/L（農薬登録申請資料、1991）から、区分1とした。		農薬登録申請資料、1991			1
P124	トリシクロ[5．2．1．02，6]デカー4－エン－3－イル＝プロピオナート	化審法スクリーニング評価結果		トリシクロ[5．2．1．02，6]デカー4－エン－3－イル＝プロピオナート	甲殻類											慢性	NOEC			1	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h29_03_02_b04.pdf		平成29年11月24日			2
P124	トリシクロ[5．2．1．02，6]デカー4－エン－3－イル＝プロピオナート	化審法スクリーニング評価結果		トリシクロ[5．2．1．02，6]デカー4－エン－3－イル＝プロピオナート	藻類											急性	E(L)C50			2.5	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h29_03_02_b04.pdf		平成29年11月24日			2
P125	トリス（2－ヒドロキシプロピル）アミン［別名：トリイソプロパノールアミン］	化審法スクリーニング評価結果		トリス（2－ヒドロキシプロピル）アミン［別名：トリイソプロパノールアミン］	藻類											慢性	NOEC			0.64	mg/L		https://www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h30_03_01_b04.pdf		平成30年11月16日			2
P126	トリブロモメタン	ECETOC TR91		BROMOFORM	魚類	Cyprinodon variegatus	キプリノドン科							96	hour		EC50			7.1	mg/L				Ward ea 81	1981		2
P126	トリブロモメタン	NITE初期リスク評価書(CERI有害性評価書)	http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/dt/pdf/CI_02_001/risk/pdf_hyoukasyo/222riskdoc.pdf	トリブロモメタン(別名ブロモホルム)	魚類	Cyprinodon variegatus	キプリノドン科		流水					96	hour	急性	LC50			7.1	mg/L		淡水魚のブルーギルに対する 96 時間LC50 は29.0 mg/L (Buccafusco et al., 1981)、海水魚のシープスヘッドミノーに対する96 時間LC50 は7.1 mg/L であった (Ward et al.,1981)。長期毒性としては、シープスヘッドミノーの受精後4 時間以内の卵を用い、ふ化後28 日間まで暴露した初期生活段階毒性試験でのふ化後の致死を指標としたNOEC が4.8 mg/L であった (Ward et al.,1981)。		Ward et al.	1981		2
P126	トリブロモメタン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h15-01/pdf/chap01/02-3/57.pdf	ブロモホルム	魚類	Cyprinodon variegatus	キプリノドン科	－		－	－	－		4	day	急性	LC50	死亡		7100	μg/L		－		Ward, G.S., P.R. Parrish, and R.A. Rigby (1981) : Early Life Stage Toxicity Tests with a Saltwater Fish: Effects of Eight Chemicals on Survival, Growth, and Development of Sheepshead Minnows. J.Toxicol.Environ.Health 8(1-2):225-240	1981		2
P126	トリブロモメタン			トリブロモメタン	魚類	シップヘッドミノー								96時間			LC50			7.1	mg/L	区分2	魚類(シップヘッドミノー)96時間LC50 = 7.1 mg/L(環境省環境リスク評価(第2巻):2003、ECETOC TR91:2003)であることから、区分2とした。				平成29年度	2
P128	トリメチル（オクタデカン－1－イル）アンモニウム＝クロリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	トリメチル（オクタデカン－1－イル）アンモニウム＝クロリド		藻類												EC50			0.08	mg/L						平成27年10月23日	1
P128	トリメチル（オクタデカン－1－イル）アンモニウム＝クロリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	トリメチル（オクタデカン－1－イル）アンモニウム＝クロリド		藻類												NOEC			0.04	mg/L						平成27年10月23日	1
P128	トリメチル（オクタデカン－1－イル）アンモニウム＝クロリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	トリメチル（オクタデカン－1－イル）アンモニウム＝クロリド		甲殻類												EC50			0.037	mg/L						平成27年10月23日	1
P128	トリメチル（オクタデカン－1－イル）アンモニウム＝クロリド	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	トリメチル（オクタデカン－1－イル）アンモニウム＝クロリド		魚類												EC50			0.064	mg/L						平成27年10月23日	1
P128	N，N，N－トリメチルオクタデカン－1－アミニウム＝メチル＝スルファート	U.S.EPA AQUIRE		N,N,N-Trimethyl-1-octadecanaminium methyl sulfate (1:1)	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ							4	day		LC50	MOR		233	μg/L		Ref N: 6252		Strzelecka,B., H. Hubner, T. Jankowska, and J. Rouba, Biological Evaluation of Acute Toxicity of Selected Finishing Agents (Biologiczna Ocena Toksycznosci Ostrej Wybranych Srodkow Pomocniczych), Przegl. Wlok.32(2): 74-76, 1978	1978		1
P129	(E)－4－(2，6，6－トリメチルシクロヘキサー1－エン－1－イル)ブタ－3－エン－2－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ヨノン		甲殻類												EC50			3.7	mg/L						平成24年7月27日	2
P129	(E)－4－(2，6，6－トリメチルシクロヘキサー1－エン－1－イル)ブタ－3－エン－2－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ヨノン		魚類												EC50			5.09	mg/L						平成24年7月27日	2
P129	(E)－4－(2，6，6－トリメチルシクロヘキサー1－エン－1－イル)ブタ－3－エン－2－オン			ヨノン													EC50			1.1	mg/L	区分2	甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50 = 1.1 mg/L(SIDS, 2006)であることから、区分2とした。				平成24年度	2
P130	ドデシルトリメチルアンモニウムクロライド	化審法スクリーニング評価結果		N，N，N－トリメチルドデカン－1－アミニウムの塩	藻類	Peudokirchreilla subcapitata								72	hour		EC50	growth rate		0.058	mg/L						平成30年11月16日	1
P130	ドデシルトリメチルアンモニウムクロライド	化審法スクリーニング評価結果		N，N，N－トリメチルドデカン－1－アミニウムの塩	藻類	Peudokirchreilla subcapitata								72	hour		NOEC			0.01	mg/L						平成30年11月16日	1
P130	ドデシルトリメチルアンモニウムクロライド	化審法スクリーニング評価結果		N，N，N－トリメチルドデカン－1－アミニウムの塩	甲殻類	Daphnia magna								48	hour		LC50	Mortality		0.46	mg/L						平成30年11月16日	1
P131	1，2，3－トリメチルベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,2,3-トリメチルベンゼン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			5.7	mg/L					H24		2
P131	1，2，3－トリメチルベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,2,3-トリメチルベンゼン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.38	mg/L					H24		2
P131	1，2，3－トリメチルベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,2,3-トリメチルベンゼン	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			2.7	mg/L					H24		2
P131	1，2，3－トリメチルベンゼン	環境省「化学物質の生態影響試験について」		1,2,3-トリメチルベンゼン	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			7.8	mg/L					H24		2
P133	(ヒドロキシアルカン(C＝14～16)スルホン酸とアルケン(C＝14～16)スルホン酸)のナトリウム塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ヒドロキシアルカン(C=14～16)スルホン酸及びアルケン(C=14～16)スルホン酸のナトリウム塩		甲殻類												EC50			3.48	mg/L						平成25年7月19日	2
P133	(ヒドロキシアルカン(C＝14～16)スルホン酸とアルケン(C＝14～16)スルホン酸)のナトリウム塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ヒドロキシアルカン(C=14～16)スルホン酸及びアルケン(C=14～16)スルホン酸のナトリウム塩		魚類												EC50			2.6	mg/L						平成25年7月19日	2
P133	(ヒドロキシアルカン(C＝14～16)スルホン酸とアルケン(C＝14～16)スルホン酸)のナトリウム塩			ヒドロキシアルカン(C=14～16)スルホン酸及びアルケン(C=14～16)スルホン酸のナトリウム塩	魚類	ゼブラフィッシュ								96時間			LC50			2.6	mg/L	区分2	魚類（ゼブラフィッシュ）の96時間LC50＝2.6 mg/Lである（SIDS, 2009）ことから、区分2とした。				平成25年度	2
P134	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩		藻類												EC50			0.46	mg/L						平成30年11月16日	1
P134	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩		藻類												NOEC			0.08	mg/L						平成30年11月16日	1
P134	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩		甲殻類												EC50			0.022	mg/L						平成30年11月16日	1
P134	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－メルカプトピリジン－N－オキサイドナトリウム塩		魚類												EC50			0.0073	mg/L						平成30年11月16日	1
P135	ナトリウム＝ドデカノイルオキシベンゼンスルホナート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ナトリウム＝ドデカノイルオキシベンゼンスルホナート		藻類												NOEC			0.092	mg/L						平成30年11月16日	1
P136	四ナトリウム＝5，8－ビス（ジチオカルボナト）－2，5，8，11，14－ペンタアザペンタデカンビス（ジチオアート）	化審法スクリーニング評価結果		四ナトリウム＝5，8－ビス（ジチオカルボナト）－2，5，8，11，14－ペンタアザペンタデカンビス（ジチオアート）	藻類											慢性	NOEC			0.32	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h28_02_b04_02.pdf		平成28年10月28日			2
P136	四ナトリウム＝5，8－ビス（ジチオカルボナト）－2，5，8，11，14－ペンタアザペンタデカンビス（ジチオアート）	化審法スクリーニング評価結果		四ナトリウム＝5，8－ビス（ジチオカルボナト）－2，5，8，11，14－ペンタアザペンタデカンビス（ジチオアート）	藻類											急性	E(L)C50			9.05	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h28_02_b04_02.pdf		平成28年10月28日			2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Orthophenylphenol sodium（Dowicide A mixture)	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ			72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour	急性	EC50			3.8	PPM				L. Turner			2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Orthophenyl phenol sodium (Dowacide A mixture)	藻類	Skeletonema costatum	スケレトネマ属			123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour	慢性	EC50			6.4	PPM				K. Montague			2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Orthophenyl phenol sodium (Dowacide A mixture)	藻類	Navicula pelliculosa	ナビクラ属			123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour	慢性	EC50			1.9	PPM				K. Montague			2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	プセウドキルクネリエラ属(緑藻)	藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	hour	急性	EC50			4.1	mg/L				平成15年度生態影響試験（環境省）	2003		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	プセウドキルクネリエラ属(緑藻)	藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	hour	慢性	NOEC			0.77	mg/L				平成15年度生態影響試験（環境省）	2003		2

■生態毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	プセウドキルクネリエラ属(緑藻)	藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	hour	急性	EC50			2.5	mg/L				平成15年度生態影響試験（環境省）	2003		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata	プセウドキルクネリエラ属(緑藻)	藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	hour	慢性	NOEC			0.34	mg/L				平成15年度生態影響試験（環境省）	2003		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	hour	急性	EC50			3.2	mg/L				平成15年度生態影響試験（環境省）	2003		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	繁殖阻害試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	day	慢性	NOEC			0.6	mg/L				平成15年度生態影響試験（環境省）	2003		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	魚類	Oryzias latipes	メダカ	急性毒性		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	hour	急性	LC50			7	mg/L				平成15年度生態影響試験（環境省）	2003		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			4.1	mg/L					H15		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.77	mg/L					H15		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			2.5	mg/L					H15		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.34	mg/L					H15		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			3.2	mg/L					H15		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.6	mg/L					H15		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート<o-フェニルフェノールナトリウム>	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			7	mg/L					H15		2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート			ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	甲殻類	オオミジンコ								48時間			EC50			3.2	mg/L	区分2	甲殻類（オオミジンコ）48時間EC50 = 3.2 mg/L（環境省生態影響試験, 2003）であることから、区分2とした。				平成28年度	2
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート			ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	甲殻類	オオミジンコ								21日間			NOEC			0.6	mg/L	区分2	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性に関する適切なデータが得られておらず、甲殻類(オオミジンコ）の21日間NOEC（繁殖） = 0.6 mg/L（環境省生態影響試験, 2003)であることから、区分2となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性に関する適切なデータが得られておらず、魚類（メダカ）の96時間LC50 = 7.0 mg/L（環境省生態影響試験, 2003）であることから、区分2となる。 以上の結果を比較し、区分2とした。				平成28年度	2
P139	テトラキス[N, N－ジメチル－N－テトラデシル－１－テトラデカンアミニウム]＝ヘキサ－μ－オキソ－テトラ－μ３－オキソ－ジ－μ５－オキソ(テトラデカオキソ)オクタモリブダート(４－)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/14642	Tetrakis(dimethylditetradecylammonium) hexa-μ-oxotetra-μ3-oxodi-μ5-oxotetradecaoxooctamolybdate(4-)	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	Daphnia sp. Acute Immobilisation Test	static, freshwater	OECD TG 202				48	hour	急性	LC50	mobility		1.03	mg/L	meas. (arithm. mean)			study report	1989		2
P139	テトラキス[N, N－ジメチル－N－テトラデシル－１－テトラデカンアミニウム]＝ヘキサ－μ－オキソ－テトラ－μ３－オキソ－ジ－μ５－オキソ(テトラデカオキソ)オクタモリブダート(４－)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/14642	Tetrakis(dimethylditetradecylammonium) hexa-μ-oxotetra-μ3-oxodi-μ5-oxotetradecaoxooctamolybdate(4-)	藻類	Desmodesmus subspicatus	デスモデスムス属	Alga, Growth Inhibition Test	static, freshwater	OECD TG 201				72	hour		NOEC	growth rate		0.31	mg/L	meas. (geom. mean)			study report	1996		2
P139	テトラキス[N, N－ジメチル－N－テトラデシル－１－テトラデカンアミニウム]＝ヘキサ－μ－オキソ－テトラ－μ３－オキソ－ジ－μ５－オキソ(テトラデカオキソ)オクタモリブダート(４－)	EU ECHA Information on Registered Substance	https://echa.europa.eu/registration-dossier/-/registered-dossier/14642	Tetrakis(dimethylditetradecylammonium) hexa-μ-oxotetra-μ3-oxodi-μ5-oxotetradecaoxooctamolybdate(4-)	藻類	Desmodesmus subspicatus	デスモデスムス属	Alga, Growth Inhibition Test	static, freshwater	OECD TG 201				72	hour		NOEC	biomass		0.31	mg/L	meas. (geom. mean)			study report	1996		2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	ECETOC TR91		PROMETRYN	藻類	Skeletonema costatum	スケレトネマ属							96	hour		EC50			0.021	mg/L				Gaggi ea 95	1995		1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	ECETOC TR91		PROMETRYN	藻類	Dunaliella tertiolecta	ドゥナリエラ属							96	hour		EC50			0.053	mg/L				Gaggi ea 95	1995		1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				4	day		EC50			12	PPB				C. Laird(MPI)	1987	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Navicula pelliculosa				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		EC50			1	PPB				C. Laird(MPI)	1992	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		EC50			40.1	PPB				C. Laird(MPI)	1992	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		EC50			11.8	PPB				C. Laird(MPI)	1992	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Skeletonema costatum				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		EC50			7.6	PPB				C. Laird(MPI)	1993	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			10	PPM				C. Brassard(WDR)	1965	C	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			2.9	PPM				C. Brassard(WDR)	1965	C	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn Caparol 80W formulation	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			10	PPM				C. Brassard(ARC)	1971	C	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn Caparol 80W formulation	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			7.2	PPM				C. Brassard(ARC)	1970	C	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3(Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			5.1	PPM				C. Laird(SBI)	1988	C	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	魚類	Carassius auratus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			4	PPM				C. Brassard(WDR)	1965	S	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn/Atrazine Primaze 80 W formulation	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			9.62	PPM				McCann/C. Brassard(ARC)	1970	C	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				4	day		NOEL			8	PPB				C. Laird(MPI)	1987	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Navicula pelliculosa				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			0.3	PPB				C. Laird(MPI)	1992	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			20.2	PPB				C. Laird(MPI)	1992	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		NOEL			3.99	PPB				C. Laird(MPI)	1992	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	藻類	Skeletonema costatum				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				5	day		NOEL			2.22	PPB				C. Laird(MPI)	1993	C	1
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.56	PPM				C. Brassard(WDR)	1965	C	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3(Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.88	PPM				C. Laird(SBI)	1988	C	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Prometryn	魚類	Carassius auratus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL		<	0.56	PPM				C. Brassard(WDR)	1965	S	2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h13_prometryn.pdf	プロメトリン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験					OECD TG202 に従っているとしている。	48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		9700	μg/L		被験物質 原体（有効成分 96-99.9%） 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） OECD TG202 に従っているとしている。 実測濃度（μg/L） 保存液中の濃度は実測している。 助剤 使用していない EC50（μg/L） 9,700 （実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 特に情報無し 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロメトリン	平成20年		2
P140	2, 4－ビス(イソプロピルアミノ)－6－メチルチオ－1, 3, 5－トリアジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h13_prometryn.pdf	プロメトリン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			2.5、5.0、10、20、40、80	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		35	μg/L		被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72h 設定濃度（μg/L） 2.5、5.0、10、20、40、80 実測濃度（μg/L） 3.5、5.7、10.7、23.0、44.9、87.7 助剤 なし ErC50（μg/L） 35(95%信頼限界 31.2-38.6)(実測濃度に基づく) NOECr（μg/L） 5.7(実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 観察の結果、異常な症状は見られなかった。 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロメトリン	平成20年		1
P141	ビス(２－エチルヘキサン－１－イル)＝マレアート	化審法スクリーニング評価結果		ビス(２－エチルヘキサン－１－イル)＝マレアート	甲殻類											慢性	NOEC			0.1	mg/L		https://www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h30_03_01_b04.pdf		平成30年11月16日			1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法										試験結果										文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源	対象物質	物質名称	試験動物 栄養段階	生物種 （学名）	生物種 （和名）	試験名 試験名	その他試験情報	テストガイドライン/GLP	投与条件 投与量	単位	備考	試験期間 時間	単位	エンドポイント等 急性/慢性	エンドポイント	症状	有害性データ 不等号	毒性値	単位	備考	引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
P142	ビス(2-スルフィドピリジン-1-オラト)銅	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	ビス(2-スルフィドピリジン-1-オラト)銅（別名:ピリチオン）		甲殻類												EC50			0.0101	mg/L						平成27年10月23日	1
P142	ビス(2-スルフィドピリジン-1-オラト)銅	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	ビス(2-スルフィドピリジン-1-オラト)銅（別名:ピリチオン）		魚類												EC50			0.0043	mg/L						平成27年10月23日	1
P142	ビス(2-スルフィドピリジン-1-オラト)銅	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	ビス(2-スルフィドピリジン-1-オラト)銅（別名:ピリチオン）		魚類												NOEC			0.00096	mg/L						平成27年10月23日	1
P143	ビス(2-メルカプトピリジン-N-オキシド)亜鉛(II)	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	[(1-オキシ-2-ピリジンチオン)-(チオキソ-κS)]-ビス[(1-オキシ-2-ピリジンチオ-κO)亜鉛(II)]		甲殻類												EC50			0.0047	mg/L						平成29年3月24日	1
P143	ビス(2-メルカプトピリジン-N-オキシド)亜鉛(II)	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	[(1-オキシ-2-ピリジンチオ-κS)-(チオキソ-κS)]-ビス[(1-オキシ-2-ピリジンチオ-κO)亜鉛(II)]		甲殻類												NOEC			0.00229	mg/L						平成29年3月24日	1
P143	ビス(2-メルカプトピリジン-N-オキシド)亜鉛(II)	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	[(1-オキシ-2-ピリジンチオ-κS)-(チオキソ-κS)]-ビス[(1-オキシ-2-ピリジンチオ-κO)亜鉛(II)]		魚類												EC50			0.00268	mg/L						平成29年3月24日	1
P143	ビス(2-メルカプトピリジン-N-オキシド)亜鉛(II)	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	[(1-オキシ-2-ピリジンチオ-κS)-(チオキソ-κS)]-ビス[(1-オキシ-2-ピリジンチオ-κO)亜鉛(II)]		魚類												NOEC			0.00122	mg/L						平成29年3月24日	1
P143	ビス(2-メルカプトピリジン-N-オキシド)亜鉛(II)			2-ピリジンチオール-1-オキシドの亜鉛塩（別名:ジンクピリチオン）													EC50			2.6	ppb	区分1	薬類(殺藻)のEC50 = 2.6 ppb(U.S. EPA; RED, 2004)から区分とした。				FY2012	1
P143	ビス(2-メルカプトピリジン-N-オキシド)亜鉛(II)			2-ピリジンチオール-1-オキシドの亜鉛塩（別名:ジンクピリチオン）													NOEC			1.22	ppb	区分1	急速分解性がなく(難分解性、BODによる分解度: 0%(既存点検, 2003)、魚類(ファットヘッドミノー)のNOEC = 1.22 ppb(U.S. EPA; RED, 2004)から区分1とした。				FY2012	1
P144	ビス(2, 2, 6, 6−テトラメチルピペリジン−4−イル)＝デカンジオアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		デカン二酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			1.1	mg/L					H11		2
P144	ビス(2, 2, 6, 6−テトラメチルピペリジン−4−イル)＝デカンジオアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		デカン二酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.05	mg/L					H11		1
P144	ビス(2, 2, 6, 6−テトラメチルピペリジン−4−イル)＝デカンジオアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		デカン二酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.39	mg/L					H11		1
P144	ビス(2, 2, 6, 6−テトラメチルピペリジン−4−イル)＝デカンジオアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		デカン二酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.093	mg/L					H11		1
P144	ビス(2, 2, 6, 6−テトラメチルピペリジン−4−イル)＝デカンジオアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		デカン二酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			8.6	mg/L					H11		2
P144	ビス(2, 2, 6, 6−テトラメチルピペリジン−4−イル)＝デカンジオアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		デカン二酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.23	mg/L					H11		2
P144	ビス(2, 2, 6, 6−テトラメチルピペリジン−4−イル)＝デカンジオアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		デカン二酸ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			5.3	mg/L					H11		2
P144	ビス(2, 2, 6, 6−テトラメチルピペリジン−4−イル)＝デカンジオアート			ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジニル)セバケート													NOEC			0.05	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(OECDテストガイドライン301Bによる28日後分解度: 10-24%(SIAP(Conclusions Agreed in SIAM 26, 2006)))、藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)での72時間NOEC = 0.050 mg/Lである(環境庁生態影響試験, 1999)ことから、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(OECDテストガイドライン301Bによる28日後分解度: 10-24%(SIAP(Conclusions Agreed in SIAM 26, 2006)))、魚類(フルーギル、ニジマス)の96時間LC50 = 4.3 mg/L(SIAP(Conclusions Agreed in SIAM 26, 2006))であることから、区分2となる。 以上の結果を比較し、区分1とした。					平成24年度	1
P145	(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)オレアミド	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)-オレアミド	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			0.05	mg/L					H11		1
P145	(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)オレアミド	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)-オレアミド	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.057	mg/L					H11		1
P145	(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)オレアミド	環境省「化学物質の生態影響試験について」		N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)-オレアミド	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			1.5	mg/L					H11		2
P145	(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)オレアミド	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)アルカンアミド(C＝8, 10, 12, 14, 16, 18, 直鎖型)、(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)-オクタデカ−9-エンアミドまたは(9Z, 12Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)-オクタデカ−9, 12−ジエンアミド		甲殻類												EC50			0.05	mg/L						平成28年12月27日	1
P145	(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)オレアミド	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)アルカンアミド(C＝8, 10, 12, 14, 16, 18, 直鎖型)、(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)-オクタデカ−9-エンアミドまたは(9Z, 12Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)-オクタデカ−9, 12−ジエンアミド		甲殻類												NOEC			0.057	mg/L						平成28年12月27日	1
P145	(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)オレアミド	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)アルカンアミド(C＝8, 10, 12, 14, 16, 18, 直鎖型)、(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)-オクタデカ−9-エンアミドまたは(9Z, 12Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)-オクタデカ−9, 12−ジエンアミド		魚類												EC50			1.5	mg/L						平成28年12月27日	2
P145	(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)オレアミド			N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)-オレアミド	甲殻類	オオミジンコ								48時間			EC50			0.05	mg/L	区分1	甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50 = 0.050 mg/L(環境庁生態影響試験, 1999)等より、区分1とした。				平成23年度	1
P145	(Z)−N, N−ビス(2−ヒドロキシエチル)オレアミド			N,N-ビス(2-ヒドロキシエチル)-オレアミド	甲殻類	オオミジンコ								21日間			NOEC			0.057	mg/L	区分1	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性に関する適切なデータが得られておらず、甲殻類(オオミジンコ)での21日間NOEC = 0.057 mg/Lである(環境庁生態影響試験, 1999)ことから、区分1となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性に関する適切なデータが得られておらず、魚類(メダカ)のLC50時間LC50 = 1.5 mg/L(環境庁生態影響試験, 1999)であることから区分2となる。 以上の結果を比較し、区分1とした。					平成23年度	1
P147	1−ヒドロキシエタン−1, 1−ジイルビス(ホスホン酸)	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	(1−ヒドロキシエタン−1, 1−ジイル)ジホスホン酸		藻類												EC50			3	mg/L						平成27年11月26日	2
P147	1−ヒドロキシエタン−1, 1−ジイルビス(ホスホン酸)	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	(1−ヒドロキシエタン−1, 1−ジイル)ジホスホン酸		藻類												NOEC			0.14	mg/L						平成27年11月26日	2
P147	P, P′−(1−ヒドロキシエタン−1, 1−ジイル)ビス(ホスホン酸)ナトリウム塩	OECD SIDS(SIAR)	https://hpvchemicals.oecd.org/UI/handler.axd?id=8825ffa3-c5fe-46ad-a4fd-1bb9c6ce45ed	1-Hydroxy-1,1-ethane-diphosphonic acid, sNa Salt; HEDP-xNa	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	Prolonged toxicity test with Daphnia magna		method corresponds to the OECD Guideline 211	0, 0.01, 0.03, 0.1, 0.3, 1.0, 3.0, 10, 30, 100, 300, 1000	mg/L		21	day	慢性	NOEC	reproduction rate		0.1	mg/L		Species: Daphnia magna (Crustacea) Endpoint: reproduction rate Exposure period: 21 day(s) Unit: mg/l Analytical monitoring: no NOEC: = .1 Method: other Year: 1984 GLP: no Test substance: as prescribed by 1.1 - 1.4 Method: GUIDELINE: Draft method of the working group of the Umweltbundesamt for the development of ecotoxicological test methods in aquatic systems. Prolonged toxicity test with Daphnia magna (Determination of the NOEC [no observed effect concentration] for reproduction rate, mortality and the moment of the first appearance of decendants; 21 d). This method corresponds to the OECD Guideline 211. TEST CONCENTRATIONS: Nominal test concentrations were: 0, 0.01, 0.03, 0.1, 0.3, 1.0, 3.0, 10, 30, 100, 300, 1000 mg/L active acid WATER QUALITY The test was conducted in 1984 according to the UBA-Test Proposal "21-day Daphnia toxicity test". The method did not at that time include the obligation to measure some test parameters that are nowadays part of the quality criteria. Here there were no regular measurement of pH, DO or water hardness during the test. However, based on the test protocol and the test guideline applied, the following conditions may		Henkel (1984); Henkel KGaA, Biological Research 4and Product Safety Ecology; unpublished results ; internal report 1984/2247.		1984	Test substance: CAS No: 7414-83-7, x = 2	1
P148	ピペロナール	化審法スクリーニング評価結果		ピペロナール	魚類											急性	EIL/LC50			2.5	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shinghyo/kagaku/kasinsaisy/screen/screen-sol/j-h37-03-p04-02.pdf			平成27年10月23日			2
P150	フタル酸ジ−n−オクチル	環境省「化学物質の環境リスク評価」		フタル酸ジ−n−オクチル	甲殻類	Daphnia magna								21	day	慢性	NOEC	Reproduction		0.607	μg/L		また、環境省 及び OECD テストガイドライン No. 211(1998)に準拠し、オオミジンコ Daphniamagna の繁殖試験を GLP 試験として実施した。試験は半止水式(毎日換水、テフロンシート被覆、密閉容器使用)で行われ、設定試験濃度は 0(対照区、助剤対照区)、0.000990mg/L(試験対象最高濃度での限度試験)であった。試験用水には Elendt M4 飼育水(硬度 250mg/L、CaCO3換算)が用いられ、N,N-ジメチルホルムアミド(DMF)100μL/L を助剤として試験溶液が調製された。被験物質は C国によるオオミジンコの繁殖阻害率は、助剤対照区と有意差が認められなかった。被験物質の実測濃度は換水前に設定濃度の 2%〜4%に減少したため、毒性値の算出には実測濃度(時間加重平均)が用いられた。繁殖阻害に関する21 日間無影響濃度(NOEC)は、0.607μg/L とされた。						1
P151	tert-ブチル-2-エチルペルオキシヘキサノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		t-ブチルパーオキシオクトエート	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.3	mg/L					H14		1
P151	tert-ブチル-2-エチルペルオキシヘキサノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		t-ブチルパーオキシオクトエート	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.017	mg/L					H14		1
P151	tert-ブチル-2-エチルペルオキシヘキサノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		t-ブチルパーオキシオクトエート	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.23	mg/L					H14		1
P151	tert-ブチル-2-エチルペルオキシヘキサノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		t-ブチルパーオキシオクトエート	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.044	mg/L					H14		1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源	対象物質	物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
					栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P151	tert-ブチル=2-エチルペルオキシヘキサノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		t-ブチルパーオキシオクトエート	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			3.9	mg/L					H14		2
P151	tert-ブチル=2-エチルペルオキシヘキサノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		t-ブチルパーオキシオクトエート	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.62	mg/L					H14		2
P151	tert-ブチル=2-エチルペルオキシヘキサノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		t-ブチルパーオキシオクトエート	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			4.6	mg/L					H14		2
P151	tert-ブチル=2-エチルペルオキシヘキサノアート			t-ブチルパーオキシオクトエート													NOEC			0.017	mg/L	区分2	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(分解性試験において被験物質は試験液中で変化し、変化物であるtert-ブチルアルコールは残留した(既存点検, 2002))、藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)の72時間NOEC(r)= 0.017 mg/L(環境省生態影響試験, 2002)から区分2となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく(分解性試験において被験物質は試験液中で変化し、変化物であるtert-ブチルアルコールは残留した(既存点検, 2002))、魚類(メダカ)の96時間LC50 = 4.6 mg/L(環境省生態影響試験, 2002)であることから区分2となる。 以上の結果から、区分2とした。				平成25年度	1
P152	t－ブチルカルバミン酸－m－（N, Nジメチルウレイド）フェニル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/k09_karbutilate.pdf	カルブチレート	藻類	P.subcapitata		藻類生長阻害試験			0、9.7、21、47、100、230、500	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		120	μg/L	(95%信頼限界 100-130)（実測濃度に基づく)	被験物質 原体 供試生物 P.subcapitata 初期生物量 1.0×104 cells/mL 暴露方法 静置培養(2 回/日の振とう操作) 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 0 9.7 21 47 100 230 500 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 3.6 8.1 28 94 220 480 72hr 後生物量 （×104 cells/mL） 108 99.0 89.8 60.3 18.4 4.16 1.80 0-72hr 生長阻害率 (%) 2.81 4.26 12.7 37.6 69.5 86.5 助剤 ﾎﾟﾘｵｷｼｴﾁﾚﾝｿﾙﾋﾞﾀﾝﾓﾉﾗｳﾗｰﾄ 1.0 mg/L ErC50（μg/L） 120 (95%信頼限界 100-130)（実測濃度に基づく） NOECr（μg/L） —		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 カルブチレート	平成22年		1
P153	4－tert－ブチルシクロヘキサン－1－イル＝アセタート	化審法スクリーニング評価結果		4－tert－ブチルシクロヘキサン－1－イル＝アセタート	甲殻類											急性	E(L)C50			5.3	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h27_03_b04_02.pdf		平成27年10月23日			2
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	ECETOC TR91		TEBUTHIURON	藻類	Selenastrum capricornutum	プセウドキルクネリエラ属							336	hour		NOEC			0.033	mg/L				Meyerhoff ea 85	1985		1
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tebuthiuron	藻類	Skeletonema costatum				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		EC50			0.05	PPM				S. Carey-reeval（LRL）	1989	S	1
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tebuthiuron	藻類	Navicula pelliculosa				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		EC50			0.09	PPM				S. Carey-reeval（LRL）	1989	S	1
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tebuthiuron	藻類	Lemna gibba				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		EC50			0.126	PPM				S. Carey-reeval（LRL）	1989	S	1
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tebuthiuron	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		EC50			0.05	PPM				M. Rostker（LRL）	1983	S	1
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tebuthiuron	藻類	Skeletonema costatum				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		NOEL			0.038	PPM				S. Carey-reeval（LRL）	1989	S	1
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tebuthiuron	藻類	Navicula pelliculosa				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		NOEL			0.056	PPM				S. Carey-reeval（LRL）	1989	S	1
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tebuthiuron	藻類	Lemna gibba				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		NOEL			0.05	PPM				S. Carey-reeval（LRL）	1989	S	1
P154	1－（5－tert－ブチル－1，3，4－チアジアゾール－2－イル）－1，3－ジメチルウレア	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Tebuthiuron	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				14	day		NOEL			0.013	PPM				M. Rostker（LRL）	1983	S	1
P155	2－tert－ブチルフェノール	環境省「化学物質の生態影響試験について」		2-tert-ブチルフェノール	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			1.3	mg/L					H22		2
P155	2－tert－ブチルフェノール	環境省「化学物質の生態影響試験について」		2-tert-ブチルフェノール	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.098	mg/L					H22		1
P155	2－tert－ブチルフェノール	環境省「化学物質の生態影響試験について」		2-tert-ブチルフェノール	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			3.7	mg/L					H22		2
P155	2－tert－ブチルフェノール	環境省「化学物質の生態影響試験について」		2-tert-ブチルフェノール	魚類	Oryzias latipes		魚類急性毒性試験		OECDテストガイドライン203又は化審法テストガイドラインに準拠				96	時間		LC50			3.7	mg/L					H22		2
P155	2－tert－ブチルフェノール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルフェノール		藻類												EC50			1.3	mg/L						平成27年10月23日	2
P155	2－tert－ブチルフェノール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルフェノール		藻類												NOEC			0.098	mg/L						平成27年10月23日	1
P155	2－tert－ブチルフェノール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルフェノール		甲殻類												EC50			3.7	mg/L						平成27年10月23日	2
P155	2－tert－ブチルフェノール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－tert－ブチルフェノール		魚類												EC50			3.7	mg/L						平成27年10月23日	2
P155	2－tert－ブチルフェノール			2-tert-ブチルフェノール	藻類	セレナストラム								72時間			EC50			1.3	mg/L	区分2	藻類（セレナストラム）による72時間EC50＝1.3 mg/L（環境省生態影響試験, 2010）であることから、区分2とした。				平成24年度	2
P155	2－tert－ブチルフェノール			2-tert-ブチルフェノール	藻類	セレナストラム								72時間			NOEC			0.098	mg/L	区分1	慢性データを用いた場合、急速分解性がなく（難分解性、BOD-3, -4, -4%（既存点検, 2008））、藻類（セレナストラム）による72時間NOEC＝0.098mg/L（環境省生態影響試験, 2010）であることから、区分1となる。 慢性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく（難分解性、BOD-3, -4, -4%（既存点検, 2008））、魚類（メダカ）による96時間LC50＝3.7mg/L（環境省生態影響試験, 2010）、甲殻類（オオミジンコ）による48時間EC50＝3.7mg/L（環境省生態影響試験, 2010）であることから、区分2となる。 以上の結果を比較して、区分1とした。				平成24年度	1
P157	Primary tallow amine ethylene oxide adduct; Tallow amine, ethoxylated; Tallow amine, ethoxylated	化審法スクリーニング評価結果		Primary tallow amine ethylene oxide adduct; Tallow amine, ethoxylated; Tallow amine, ethoxylated	魚類											急性	E(L)C50			1	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			1
P158	フラメトピル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h69_furametpyr.pdf	フラメトピル	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、560、1000、1350、1800、2400、3200	μg/L		96	hour	急性	LC50			1470	μg/L	（95%信頼限界 1,330-1,630）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 10 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 560 1,000 1,350 1,800 2,400 3,200 死亡数 /供試生物数 (96hr 後；尾) 0/10 0/10 0/10 1/10 9/10 10/10 10/10 助剤 DMSO 32mg/L（使用した最高濃度） LC50（μg/L） 1,470（95%信頼限界 1,330-1,630）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 フラメトピル	平成25年		2
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			0.31	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	1
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	魚類	Pimephales promelas				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			0.116	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	1
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	魚類	Cyprinus carpio				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			0.09	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	1
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3（Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			1.15	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	2
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen 240FS formulation	魚類	Cyprinus carpio				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			0.101	PPM				B. Kiernan（N.R）	2009	C	1
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen 240 FS formulation	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				72	hour		EC50			7500	PPB				B. Kiernan（BCA）	2009	S	2
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.11	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	2
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	魚類	Pimephales promelas				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.055	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	1
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	魚類	Cyprinus carpio				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.061	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	1
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen pyrazolyl-AAP degradate	魚類	Cyprinus carpio				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.799	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	2
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3（Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.43	PPM				B. Kiernan（BCA）	2009	C	2
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen 240FS formulation	魚類	Cyprinus carpio				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			0.062	PPM				B. Kiernan（N.R）	2009	C	1
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penflufen	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				72	hour		NOEL			520	PPB				B. Kiernan（BCA）	2009	S	2
P159	5－フルオロ－1，3－ジメチル－N－［2－（4－メチルペンタン－2－イル）フェニル］－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h60_penflufen.pdf	ペンフルフェン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、47.8、95.6、191、382、765	μg/L		96	hour	急性	LC50			103	μg/L	95%信頼限界 83-128	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 10 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 47.8 95.6 191 382 765 実測濃度（μg/L） （算術平均値） 0 61.0 117 196 475 751 死亡数/供試生物数 (96hr 後；尾) 0/10 0/10 9/10 10/10 10/10 10/10 助剤 DMF 0.05ml/L LC50（μg/L） 103（95%信頼限界 83-128）（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ペンフルフェン	平成24年		1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P160	N－（4'－フルオロフエニル）－2，3－ジクロロマレイミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h79_fluoroimide.pdf	フルオルイミド	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、2000、3000、4500、6800、10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			4480	μg/L		被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 10 尾/群 暴露方法 半止水式（24 時間毎に換水） 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 2,000 3,000 4,500 6,800 10,000 実測濃度（μg/L） （暴露開始時（初期 値）） 0 1,130 1,480 3,210 6,260 9,960 死亡数/供試生物数 （96hr 後；尾） 0/10 0/10 0/10 0/10 10/10 10/10 助剤 硬化ヒマシ油/DMSO（9:1 w/w） 1,000 mg/L LC50（μg/L） 4,480（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準値（案）の設定に関する資料 フルオルイミド	平成25年		2
P160	N－（4'－フルオロフエニル）－2，3－ジクロロマレイミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h79_fluoroimide.pdf	フルオルイミド	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0、3000、5000、8000、12000、20000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		3230	μg/L		被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 20 頭/群 暴露方法 半止水式 暴露期間 48h（暴露開始 24 時間後に換水） 設定濃度（μg/L） 0 3,000 5,000 8,000 12,000 20,000 実測濃度（μg/L） （暴露開始時（初期 値）） 0 1,890 3,590 6,880 11,330 19,110 遊泳阻害数/供試生 物数（48hr 後；頭） 0/20 0/20 12/20 19/20 15/20 20/20 助剤 硬化ヒマシ油/DMSO（9:1 v/v） 1,000 μL/L EC50（μg/L） 3,230（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準値（案）の設定に関する資料 フルオルイミド	平成25年		2
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			7.44	PPB				A. Stavola（TES）	1992	C	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			11.6	PPB				A. Stavola（TES）	1992	C	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3（Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			60.2	PPB				W. Evans（TES）	1993	C	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		EC50			7.8	PPB				A. Stavola（TES）	1993	S	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr CL 357,806 photolytic degradate	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		EC50			18	PPB				W. Evans（TES）	1995	C	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		EC50			5.83	PPB				A. Stavola（TES）	1993	S	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			2.61	PPB				A. Stavola（TES）	1992	C	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL		<	5	PPB				A. Stavola（TES）	1992	C	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3（Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			30.7	PPB				W. Evans（TES）	1993	C	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr CL 312094 metabolite	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			242	PPB				W. Evans（TES）	1994	C	2
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		NOEL			2.7	PPB				A. Stavola（TES）	1993	S	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr CL 357,806 photolytic degradate	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		NOEL			13	PPB				W. Evans（TES）	1995	C	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Chlorfenapyr	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			2.52	PPB				A. Stavola（TES）	1993	S	1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/k08_chlorfenapyr.pdf	クロルフェナピル	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、110、160、240、360、540	μg/L		96	hour	急性	LC50			175	μg/L	95%信頼限界 133-240	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio）10 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 110 160 240 360 540 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 53 78 131 196 270 死亡数/供試生物数 （96hr 後；尾） 0/10 0/10 2/10 0/10 6/10 9/10 助剤 DMSO 0.1ml/L LC50（μg/L） 175（95%信頼限界 133-240）（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 クロルフェナピル	平成22年		1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/k08_chlorfenapyr.pdf	クロルフェナピル	魚類	Lepomis macrochirus	ブルーギル	魚類急性毒性試験			0、7.44、12.4、20.7、34.5、57.4	μg/L		96	hour	急性	LC50			11.6	μg/L	95%信頼限界 9.53-14.7	被験物質 原体 供試生物 ブルーギル（Lepomis macrochirus）20 尾/群 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 7.44 12.4 20.7 34.5 57.4 実測濃度（μg/L） （算術平均値） 0 5.03 9.53 14.7 26.2 43.2 死亡数/供試生物 数(96hr 後；尾) 0/20 1/20 2/20 19/20 20/20 20/20 助剤 DMF 6.0μl/L LC50（μg/L） 11.6 （95%信頼限界 9.53-14.7）（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 クロルフェナピル	平成22年		1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/k08_chlorfenapyr.pdf	クロルフェナピル	魚類	Oncorhynchus myskiss	ニジマス	魚類急性毒性試験			0、5.2、8.6、14、24、40	μg/L		96	hour	急性	LC50			7.44	μg/L	95%信頼限界 6.48-8.95	被験物質 原体 供試生物 ニジマス（Oncorhynchus myskiss）20 尾/群 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 5.2 8.6 14 24 40 実測濃度（μg/L） （算術平均値） 0 2.61 4.68 8.01 18.4 32.4 死亡数/供試生物 数(96hr 後；尾) 0/20 0/20 1/20 12/20 20/20 20/20 助剤 DMF 4.3μl/L LC50（μg/L） 7.44（95%信頼限界 6.48-8.95）（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 クロルフェナピル	平成22年		1
P162	4－ブロモ－2－（4－クロロフェニル）－1－エトキシメチル－5－（トリフルオロメチル）ピロール－3－カルボニトリル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/k08_chlorfenapyr.pdf	クロルフェナピル	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0、1.94、3.24、5.4、9.0、15	μg/L		96	hour	急性	EC50	遊泳阻害		7.03	μg/L	(0-48h)（95%信頼限界 6.19-8.04）	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna）20 頭/群 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 0 1.94 3.24 5.4 9.0 15 実測濃度（μg/L） （算術平均値） 0 1.40 2.52 3.86 6.31 10.7 遊泳阻害数/供試生 物数(48hr 後；頭) 0/20 0/20 0/20 1/20 4/20 20/20 助剤 DMF 0.1ml/L EC50（μg/L） 7.03(0-48h)（95%信頼限界 6.19-8.04）（実測濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 クロルフェナピル	平成22年		1
P163	3－（3－ブロモ－6－フルオロ－2－メチルインドール－1－イルスルホニル）－N，N－ジメチル－1，2，4－トリアゾール－1－スルホンアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a01_amisulbrom.pdf	アミスルブロム	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			5.98、13.1、28.9、63.6、140	μg/L		96	hour	急性	LC50			22.9	μg/L	95%信頼限界 12.1～62.8	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 5.98, 13.1, 28.9, 63.6, 140（公比 2.2） 実測濃度（μg/L） 5.04, 12.1, 24.5, 62.8, 122 助剤 DMF 0.1mL/L LC50（μg/L） 22.9 (95%信頼限界 12.1～62.8)（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 12.1（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 不活発、呼吸亢進、暗色色素沈着、遊泳行動に対する影響及び 運動失調（実測濃度 24.5μg/L 以上群）。 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 アミスルブロム	平成19年		1
P163	3－（3－ブロモ－6－フルオロ－2－メチルインドール－1－イルスルホニル）－N，N－ジメチル－1，2，4－トリアゾール－1－スルホンアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a01_amisulbrom.pdf	アミスルブロム	魚類	Oncorhynchus mykiss	ニジマス	魚類急性毒性試験			1.94、4.27、9.39、20.7、45.5、100	μg/L		96	hour	急性	LC50			51.5	μg/L	95%信頼限界 33.8～78.6	被験物質 原体 供試生物 ニジマス（Oncorhynchus mykiss） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 1.94, 4.27, 9.39, 20.7, 45.5, 100（公比 2.2） 実測濃度（μg/L） 0.971, 2.88, 6.63, 13.6, 33.8, 78.6 助剤 DMF 0.1mL/L LC50（μg/L） 51.5(95%信頼限界 33.8～78.6)（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 13.6（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 不活発、呼吸亢進、暗色色素沈着、神経質/異常遊泳行動及び 運動失調（実測濃度 33.8μg/L 以上群）。 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 アミスルブロム	平成19年		1
P163	3－（3－ブロモ－6－フルオロ－2－メチルインドール－1－イルスルホニル）－N，N－ジメチル－1，2，4－トリアゾール－1－スルホンアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a01_amisulbrom.pdf	アミスルブロム	魚類	Pimephales promelas	ファットヘッドミノー	魚類急性毒性試験			2.72、5.98、13.1、28.9、63.6、140	μg/L		96	hour	急性	LC50			36.3	μg/L	95%信頼限界 24.7～59.9	被験物質 原体 供試生物 ファットヘッドミノー（Pimephales promelas） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 2.72, 5.98, 13.1, 28.9, 63.6, 140（公比 2.2） 実測濃度（μg/L） 2.11, 4.81, 9.96, 24.7, 59.9, 116 助剤 DMF 0.1mL/L LC50（μg/L） 36.3 (95%信頼限界 24.7～59.9)（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 4.81（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 不活発、呼吸亢進、神経質/異常遊泳行動、出血及び運動失調 （実測濃度 9.96μg/L 以上群）、暗色色素沈着（実測濃度 24.7 μg/L 以上群）。 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 アミスルブロム	平成19年		1
P163	3－（3－ブロモ－6－フルオロ－2－メチルインドール－1－イルスルホニル）－N，N－ジメチル－1，2，4－トリアゾール－1－スルホンアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a01_amisulbrom.pdf	アミスルブロム	魚類	Lepomis macrochirus	ブルーギル	魚類急性毒性試験			5.98、13.1、28.9、63.6、140	μg/L		96	hour	急性	LC50			40.7	μg/L	95%信頼限界 23.2～56.0	被験物質 原体 供試生物 ブルーギル（Lepomis macrochirus） 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 5.98, 13.1, 28.9, 63.6, 140（公比 2.2） 実測濃度（μg/L） 5.48, 11.2, 23.2, 56.0, 110 助剤 DMF 0.1mL/L LC50（μg/L） 40.7 (95%信頼限界 23.2～56.0)（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 11.2（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 呼吸亢進、暗色色素沈着（実測濃度 23.2μg/L 以上群）、不活 発、遊泳に対する影響、出血及び運動失調（実測濃度 56.0μg/L 以上群）。 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 アミスルブロム	平成19年		1
P163	3－（3－ブロモ－6－フルオロ－2－メチルインドール－1－イルスルホニル）－N，N－ジメチル－1，2，4－トリアゾール－1－スルホンアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a01_amisulbrom.pdf	アミスルブロム	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			10、20、40、80、160	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		36.8	μg/L	95%信頼限界 31.0～43.6	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 10, 20, 40, 80, 160（公比 2） 実測濃度（μg/L） 10.3, 19.6, 38.3, 65.3, 104 助剤 DMF 0.1mL/L EC50（μg/L） 36.8 (95%信頼限界 31.0～43.6)（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 19.6（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 報告書に情報なし 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 アミスルブロム	平成19年		1
P163	3－（3－ブロモ－6－フルオロ－2－メチルインドール－1－イルスルホニル）－N，N－ジメチル－1，2，4－トリアゾール－1－スルホンアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a01_amisulbrom.pdf	アミスルブロム	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			5、10、20、40、80、160	μg/L		96	hour	急性	EbC50	生長阻害		23.4	μg/L		被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 96 h 設定濃度（μg/L） 5, 10, 20, 40, 80, 160（公比 2） 実測濃度（μg/L） 3.39, 6.97, 13.9, 27.6, 49.6, 69.8 助剤 DMF 0.1mL/L EbC50（μg/L） 23.4 (95%信頼限界 21.3～25.7)(0-72h)(実測濃度に基づく) ErC50（μg/L） 52.1 (95%信頼限界 46.3～59.8)(0-72h)(実測濃度に基づく) NOECb（μg/L） 13.9（実測濃度に基づく） NOECr（μg/L） 13.9（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 49.6μg/L 以上群では、藻類細胞の膨張がみられた。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 アミスルブロム	平成19年	ばく露期間が総合評価で72h、水産動植物への毒性で96hとなっている。	1

■生態毒性

※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P163	3－(3－ブロモ－6－フルオロ－2－メチルインドール－1－イルスルホニル)－N, N－ジメチル－1, 2, 4－トリアゾール－1－スルホンアミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a01_amisulbrom.pdf	アミスルブロム	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			5、10、20、40、80、160	μg/L		96	hour	急性	ErC50	生長阻害		52.1	μg/L		被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 96 h 設定濃度（μg/L） 5, 10, 20, 40, 80, 160（公比 2） 実測濃度（μg/L） 3.39, 6.97, 13.9, 27.6, 49.6, 69.8 助剤 DMF 0.1mL/L EbC50（μg/L） 23.4 (95%信頼限界 21.3～25.7)(0-72h)(実測濃度に基づく) ErC50（μg/L） 52.1 (95%信頼限界 46.3～59.8)(0-72h)(実測濃度に基づく) NOECb（μg/L） 13.9（実測濃度に基づく） NOECr（μg/L） 13.9（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 49.6μg/L 以上群では、藻類細胞の膨張がみられた。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 アミスルブロム	平成19年	ばく露期間が総合評価で72h、水産動植物への毒性で96hとなっている。	1
P165	4, 6, 6, 7, 8, 8－ヘキサメチル－1, 3, 4, 6, 7, 8－ヘキサヒドロシクロペンタ[g]イソクロメン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4, 6, 6, 7, 8, 8－ヘキサメチル－1, 3, 4, 6, 7, 8－ヘキサヒドロシクロペンタ[g]イソク		藻類												NOEC			0.201	mg/L						平成26年11月28日	2
P165	4, 6, 6, 7, 8, 8－ヘキサメチル－1, 3, 4, 6, 7, 8－ヘキサヒドロシクロペンタ[g]イソクロメン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4, 6, 6, 7, 8, 8－ヘキサメチル－1, 3, 4, 6, 7, 8－ヘキサヒドロシクロペンタ[g]イソク		甲殻類												NOEC			0.111	mg/L						平成26年11月28日	2
P165	4, 6, 6, 7, 8, 8－ヘキサメチル－1, 3, 4, 6, 7, 8－ヘキサヒドロシクロペンタ[g]イソクロメン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	4, 6, 6, 7, 8, 8－ヘキサメチル－1, 3, 4, 6, 7, 8－ヘキサヒドロシクロペンタ[g]イソク		魚類												NOEC			0.068	mg/L						平成26年11月28日	1
P166	ヘキサン－1－イル＝2－ヒドロキシベンゾアート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ヘキサン－1－イル＝2－ヒドロキシベンゾアート		甲殻類												EC50			0.357	mg/L						平成26年11月28日	1
P167	1－ヘキセン	化審法スクリーニング評価結果		1－ヘキセン	魚類											急性	E(L)C50			5.6	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2
P167	1－ヘキセン	政府GHS分類結果		1－ヘキセン	魚類		ニジマス							96	時間	急性	E(L)C50			5.6	mg/L	区分2	魚類（ニジマス）の96時間LC50=5.6mg/L（SIDS、2004）から、区分2とした。		SIDS、2004			2
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide SC 480 formula (low feed cond.)	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			6.44	PPB				H. Galavotti(BAY)	2005	S	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide SC480 formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			1.51	PPB				L. Brown(BAY)	2003	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide WG24 formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			1.26	PPB				L. Brown(BAY)	2005	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide	藻類	Lemna gibba				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		NOEL			54.6	PPB				L. Brown(BCA)	2004	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide NNI-0001	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		NOEL			69.3	PPB				L. Brown(BCA)	2003	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide SC 480 formula (low feed cond.)	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			4.24	PPB				H. Galavotti(BAY)	2005	S	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			54.8	PPB				L. Brown(BAY)	2003	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide SC480 formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			0.45	PPB				L. Brown(BAY)	2003	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide WG24 formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL		<	1.21	PPB				L. Brown(BAY)	2005	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide des-iodo metabolite	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			881	PPB				L. Brown(BAY)	2004	C	2
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide	魚類	Pimephales promelas				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			66.5	PPB				L. Brown(BCA)	2004	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3(Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			29.8	PPB				L. Brown(BCA)	2004	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide	魚類	Lepomis macrochirus				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			67.7	PPB				L. Brown(BAY)	2003	C	1
P169	N－[4－(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3－ヘプタフルオロプロパン－2－イル)－2－メチルフェニル]－3－ヨード－N'－[2－メチル－1－(メチルスルホニル)プロパン－2－イル]フタルアミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Flubendiamide	魚類	Cyprinus carpio				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			84.8	PPB				L. Brown(BCA)	2003	C	1
P170	n－ヘプタン	化審法スクリーニング評価結果		n－ヘプタン	甲殻類											急性	E(L)C50			1.5	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2
P171	5－ヘプチルオキソラン－2－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	5－ヘプチルオキソラン－2－オン		藻類												EC50			1.5	mg/L						平成27年10月23日	2
P171	5－ヘプチルオキソラン－2－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	5－ヘプチルオキソラン－2－オン		藻類												NOEC			1	mg/L						平成27年10月23日	2
P171	5－ヘプチルオキソラン－2－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	5－ヘプチルオキソラン－2－オン		甲殻類												EC50			6.1	mg/L						平成27年10月23日	2
P171	5－ヘプチルオキソラン－2－オン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	5－ヘプチルオキソラン－2－オン		魚類												EC50			7.3	mg/L						平成27年10月23日	2
P173	2－ベンジリデンオクタナール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－ベンジリデンオクタナール		甲殻類												EC50			0.258	mg/L						平成27年10月23日	1
P173	2－ベンジリデンオクタナール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－ベンジリデンオクタナール		甲殻類												NOEC			0.063	mg/L						平成27年10月23日	1
P173	2－ベンジリデンオクタナール	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	2－ベンジリデンオクタナール		魚類												EC50			1.7	mg/L						平成27年10月23日	2
P174	S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a03_esprocarb.pdf	エスプロカルブ	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			630, 1300, 2500, 5000, 10000	μg/L		96	hour	急性	LC50			1780	μg/L	95%信頼限界 1100～2870	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 630, 1300, 2500, 5000, 10,000 実測濃度（μg/L） 350, 690, 1110, 2870, 3800 助剤 ジメチルホルムアミド 0.1ml/L LC50（μg/L） 1780 (95%信頼限界 1100～2870)（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 690 （実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 不活発化、平衡感覚の一部あるいは完全な喪失、 水面上の浮遊、 水槽の底にいる状態（1110μg/L 群）（濃度は実測濃度） 備考 異常な症状及び反応は、試験終了に向かって回復がみられ、ほとんどが被験物質濃度の低下によるものと考えられた。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 エスプロカルブ	平成19年		2
P174	S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a03_esprocarb.pdf	エスプロカルブ	魚類	Oryzias latipes	メダカ	魚類急性毒性試験			180, 320, 560, 1000, 1800, 3200, 5600	μg/L		96	hour	急性	LC50			1300	μg/L	(95%信頼限界 1000～1600)（設定濃度に基づく）	被験物質 原体（純度 100%） 供試生物 メダカ（Oryzias latipes） 暴露方法 半止水式(換水時間 24 時間) 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 180, 320, 560, 1000, 1800, 3200, 5600（公比 1.8） 実測濃度（μg/L） （開始時）167-4810μg/L（設定濃度の 85.9-93.2%） （24 時間後）151-5510μg/L（設定濃度の 83.9-108%） 助剤 ジメチルスルホキシド(DMSO)、ポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルを併せて 56mg/L 以下 LC50（μg/L） 1300 (95%信頼限界 1000～1600)（設定濃度に基づく） NOEC（μg/L） 異常な症状及び反応 平衡状態の喪失（横転）、不活発、水面浮上（異常）が毒性症状と して見られた。 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 エスプロカルブ	平成19年		2
P174	S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a03_esprocarb.pdf	エスプロカルブ	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			8、25、80、250、800	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		410	μg/L	95%信頼限界 210～790	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 8, 25, 80, 250, 800 実測濃度（μg/L） 10, 25, 73, 210, 790 助剤 ジメチルホルムアミド 0.1ml/L EC50（μg/L） 410(95%信頼限界 210～790)（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 73（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 底での沈静（210μg/L 群）、活動低下（210μg/L 以上群）、 浮遊（790μg/L 群） 備考 24h での 73μg/L 群2頭の浮遊、物質とともに遊泳（210μ/L 群）が見られた。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 エスプロカルブ	平成19年		1
P174	S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a03_esprocarb.pdf	エスプロカルブ	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			32、56、100、180、320、560、1000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		150	μg/L	(95%信頼限界 130～190)（設定濃度に基づく）	被験物質 原体（純度 100%） 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 32, 56, 100, 180, 320, 560, 1000（公比 1.8） 実測濃度（μg/L） （開始時）34.5-1090μg/L(設定濃度の 101-112%) （終了時）34.2- 971μg/L（設定濃度の 85.7-107%） 助剤 ジメチルスルホキシド(DMSO)とポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルを併せて 10mg/L EC50（μg/L） 150 (95%信頼限界 130～190)（設定濃度に基づく） NOEC（μg/L） 異常な症状及び反応 報告書に情報なし 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 エスプロカルブ	平成19年		1
P174	S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a03_esprocarb.pdf	エスプロカルブ	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			1.6、8、40、200、1000	μg/L		72	hour	急性	EbC50	生長阻害		18	μg/L	95%信頼限界 0.76～380	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 1.6, 8, 40, 200, 1000 実測濃度（μg/L） 1.8, 6.3, 36, 190, 980 助剤 ジメチルホルムアミド 0.1ml/L EbC50（μg/L） 18(95%信頼限界 0.76～380)（実測濃度に基づく） ErC50（μg/L） 66(95%信頼限界 4.3～1100)（実測濃度に基づく） NOECb（μg/L） 1.8（実測濃度に基づく） NOECr（μg/L） 6.3（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 報告書に情報なし 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 エスプロカルブ	平成19年		1
P174	S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/a03_esprocarb.pdf	エスプロカルブ	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			1.6、8、40、200、1000	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		66	μg/L	95%信頼限界 4.3～1100	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） 1.6, 8, 40, 200, 1000 実測濃度（μg/L） 1.8, 6.3, 36, 190, 980 助剤 ジメチルホルムアミド 0.1ml/L EbC50（μg/L） 18(95%信頼限界 0.76～380)（実測濃度に基づく） ErC50（μg/L） 66(95%信頼限界 4.3～1100)（実測濃度に基づく） NOECb（μg/L） 1.8（実測濃度に基づく） NOECr（μg/L） 6.3（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 報告書に情報なし 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 エスプロカルブ	平成19年		1
P174	S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	政府GHS分類結果		S－ベンジル＝エチル(3－メチルブタン－2－イル)カルバモチオアート	藻類		緑藻							0-72	時間	急性	E(L)C50			0.066	mg/L	区分1	藻類（緑藻）の0-72時間ErC50=0.066mg/L（農薬登録申請資料、2004）から、区分1とした。		農薬登録申請資料、2004			1
P175	S－ベンジル＝ジプロピルカルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h09_prosulfocarb.pdf	プロスルホカルブ	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			380, 750, 1500, 3000, 6000	μg/L		96	hour	急性	LC50			1800	μg/L	95%信頼限界 800-5,700	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio） 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） 380、750、1,500、3,000、6,000 (公比約 2) 実測濃度（μg/L） 180、440、800、1,630、5,720 助剤 DMF 0.1ml/L LC50（μg/L） 1,800 (95%信頼限界 800-5,700)（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L） 800 (実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 嗜眠（1,630、5,720μg/L 群）、瀕死状態（1,630μg/L 群）、 異常遊泳（5,720μg/L 群）（いずれも実測濃度に基づく） 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロスルホカルブ	平成20年		2
P175	S－ベンジル＝ジプロピルカルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h09_prosulfocarb.pdf	プロスルホカルブ	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			100, 220, 460, 1000, 2200, 4600	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		510	μg/L	95%信頼限界 380-700	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna） 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） 100、220、460、1,000、2,200、4,600 実測濃度（μg/L） 84、220、410、830、1,700、3,000 助剤 DMF 0.1ml/L EC50（μg/L） 510 (95%信頼限界 380-700) (実測濃度に基づく) NOEC（μg/L） 異常な症状及び反応 報告書に情報無し 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロスルホカルブ	平成20年		1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法										試験結果										文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン/GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等		有害性データ				引用箇文	信頼性ランク	文献			化管法クラス
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考			試験実施年		
P175	S－ベンジル－3ジプロピルカルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/h09.prosulfocarb.pdf	プロスルホカルブ	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			3.2, 10, 32, 100, 320, 1000	μg/L		72	hour	急性	EbC50	生長阻害		49	μg/L	95%信頼限界 0.2-490	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L）3.2, 10, 32, 100, 320, 1,000 実測濃度（μg/L）－, 9, 29.3, 80.9, 260, 780 助剤 なし EbC50（μg/L）49（95%信頼限界 0.2-490）（実測濃度に基づく） ErC50（μg/L）120（95%信頼限界 39-510）（実測濃度に基づく） NOEC0（μg/L）9.0（実測濃度に基づく） NOEC0（μg/L）9.0（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 設定濃度 100 μg/L 区での観察の結果、異常な症状は認められなかった。 備考 設定濃度 3.2 μg/L の濃度は測定されていない。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロスルホカルブ	平成20年		1
P175	S－ベンジル－3ジプロピルカルバモチオアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/h09.prosulfocarb.pdf	プロスルホカルブ	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			3.2, 10, 32, 100, 320, 1000	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		126	μg/L	95%信頼限界 39-510	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L）3.2, 10, 32, 100, 320, 1,000 実測濃度（μg/L）－, 9, 29.3, 80.9, 260, 780 助剤 なし EbC50（μg/L）49（95%信頼限界 0.2-490）（実測濃度に基づく） ErC50（μg/L）120（95%信頼限界 39-510）（実測濃度に基づく） NOEC0（μg/L）9.0（実測濃度に基づく） NOEC0（μg/L）9.0（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 設定濃度 100 μg/L 区での観察の結果、異常な症状は認められなかった。 備考 設定濃度 3.2 μg/L の濃度は測定されていない。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 プロスルホカルブ	平成20年		1
P176	2－メチル－3－（3，4－ジオキシフェニル）－プロパナール	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果			魚類												EC50			5.3	mg/L					平成27年10月23日		2
P177	ペントキサゾン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/h01.pentoxazone.pdf	ペントキサゾン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			【本試験】600, 1000, 1500, 2200, 3300, 5000【追加試験】7500, 10000, 15000	μg/L		96	hour	急性	LC50			7580	μg/L		被験物質 原体 供試生物 コイ(Cyprinus carpio) 暴露方法 半止水式（48h 毎換水） 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L）【本試験】600, 1000, 1500, 2200, 3300, 5000 （公比 1.5） 【追加試験】7500, 10000, 15000 実測濃度（μg/L）【本試験】290, 600, 930, 1520, 2500, 3600, 【追加試験】5500, 7270, 13910 助剤 硬化ヒマシ油(HCO-40) 10%追加 DMSO 200 mg/L LC50（μg/L）7580（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L）600（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 体色黒化、表層遊泳、自発運動減少（930 μg/L 以上群）、遊泳 姿勢不安定（1520 μg/L 以上群）、横転状態（2500 μg/L を除く1500 μg/L 以上群）、反応過敏（2500 μg/L 以上群） （本剤中の濃度はいずれも実測濃度） 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ペントキサゾン	平成18年	設定濃度に【本試験】と【追加試験】とがある。	2
P177	ペントキサゾン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/h01.pentoxazone.pdf	ペントキサゾン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			【本試験】1000, 2000, 4000, 8000, 16000【追加試験】300, 500	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		510	μg/L		被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ(Daphnia magna) 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L）【本試験】1000, 2000, 4000, 8000, 16000（公比 2） 【追加試験】300, 500 実測濃度（μg/L）【本試験】580, 790, 1440, 6140, 12500 【追加試験】180, 340 助剤 硬化ヒマシ油(HCO-40) 10%追加 DMSO 200 mg/L EC50（μg/L）510（実測濃度に基づく） NOEC（μg/L）340（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 備考 異常な症状に関する記載なし。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ペントキサゾン	平成18年	設定濃度に【本試験】と【追加試験】とがある。	1
P177	ペントキサゾン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/h01.pentoxazone.pdf	ペントキサゾン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			0.313, 0.625, 1.25, 2.50, 5.0, 10.0	μg/L		72	hour	急性	EbC50	生長阻害		0.794	μg/L	実測濃度に基づく, 最小二乗法	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L）0.313, 0.625, 1.25, 2.50, 5.0, 10.0（公比 2.0） 実測濃度（μg/L）0.0538, 0.219, 0.642, 1.30, 2.90, 6.36（暴露開始時測定濃度 と終了時測定濃度の幾何平均） 助剤 DMSO 100 μL/L EbC50（μg/L）0.794（実測濃度に基づく, 最小二乗法） ErC50（μg/L）0.846（実測濃度に基づく, 最小二乗法） NOEC（μg/L）0.219（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 備考 異常な症状に関する記載なし。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ペントキサゾン	平成18年		1
P177	ペントキサゾン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/suiri-kaitei/kijun/rv/h01.pentoxazone.pdf	ペントキサゾン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			0.313, 0.625, 1.25, 2.50, 5.0, 10.0	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		0.846	μg/L	実測濃度に基づく, 最小二乗法	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L）0.313, 0.625, 1.25, 2.50, 5.0, 10.0（公比 2.0） 実測濃度（μg/L）0.0538, 0.219, 0.642, 1.30, 2.90, 6.36（暴露開始時測定濃度 と終了時測定濃度の幾何平均） 助剤 DMSO 100 μL/L EbC50（μg/L）0.794（実測濃度に基づく, 最小二乗法） ErC50（μg/L）0.846（実測濃度に基づく, 最小二乗法） NOEC（μg/L）0.219（実測濃度に基づく） 異常な症状及び反応 備考 異常な症状に関する記載なし。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ペントキサゾン	平成18年		1
P178	ナトリウム＝(Z)－オレアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		オレイン酸ナトリウム	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.11	mg/L				H12		2
P178	ナトリウム＝ドデカノアート	ECETOC TRR1		SODIUM LAURATE	魚類	Brachydanio rerio	ゼブラフィッシュ							192	hour		EC50			7.8	mg/L			Van Egmond ea 99	1999		2
P178	ナトリウム＝ドデカノアート	ECETOC TRR1		SODIUM LAURATE	魚類	Brachydanio rerio	ゼブラフィッシュ							360	hour		EC50			7.8	mg/L			Van Egmond ea 99	1999		2
P178	ナトリウム＝ドデカノアート	U.S.EPA AQUIRE		Dodecanoic acid, Sodium salt	魚類	Danio rerio	ゼブラフィッシュ							28	day		LC50	MOR		9900	μg/L		Ref N: 55084		Van Egmond,R., S. Hambling, and S. Marshall, Bioconcentration, Biotransformation, and Chronic Toxicity of Sodium Laurate to Zebrafish (Danio rerio), Environ. Toxicol. Chem.18(3): 466-473, 1999	1999		2
P178	ナトリウム＝ドデカノアート	U.S.EPA AQUIRE		Dodecanoic acid, Sodium salt	魚類	Danio rerio	ゼブラフィッシュ							15	day		LC50	MOR		9900	μg/L		Ref N: 55084		Van Egmond,R., S. Hambling, and S. Marshall, Bioconcentration, Biotransformation, and Chronic Toxicity of Sodium Laurate to Zebrafish (Danio rerio), Environ. Toxicol. Chem.18(3): 466-473, 1999	1999		2
P178	ナトリウム＝ドデカノアート	U.S.EPA AQUIRE		Dodecanoic acid, Sodium salt	魚類	Danio rerio	ゼブラフィッシュ							8	day		LC50	MOR		7600	μg/L		Ref N: 55084		Van Egmond,R., S. Hambling, and S. Marshall, Bioconcentration, Biotransformation, and Chronic Toxicity of Sodium Laurate to Zebrafish (Danio rerio), Environ. Toxicol. Chem.18(3): 466-473, 1999	1999		2
P178	ナトリウム＝ドデカノアート	U.S.EPA AQUIRE		Dodecanoic acid, Sodium salt	魚類	Danio rerio	ゼブラフィッシュ							15	day		LC50	MOR		7600	μg/L		Ref N: 55084		Van Egmond,R., S. Hambling, and S. Marshall, Bioconcentration, Biotransformation, and Chronic Toxicity of Sodium Laurate to Zebrafish (Danio rerio), Environ. Toxicol. Chem.18(3): 466-473, 1999	1999		2
P178	ナトリウム＝ドデカノアート	U.S.EPA AQUIRE		Dodecanoic acid, Sodium salt	魚類	Danio rerio	ゼブラフィッシュ							28	day		LC50	MOR		7600	μg/L		Ref N: 55084		Van Egmond,R., S. Hambling, and S. Marshall, Bioconcentration, Biotransformation, and Chronic Toxicity of Sodium Laurate to Zebrafish (Danio rerio), Environ. Toxicol. Chem.18(3): 466-473, 1999	1999		2
P178	ミリスチン酸ナトリウム	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ミリスチン酸ナトリウム	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.29	mg/L				H12		2
P178	ナトリウム＝ステアラート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ステアリン酸ナトリウム	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.48	mg/L				H12		2
P178	ナトリウム＝ステアラート			ステアリン酸ナトリウム	甲殻類	オオミジンコ								21日間			NOEC			0.48	mg/L	区分3	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり(BODによる分解度：83%（既存点検，1994）)、甲殻類（オオミジンコ）の21日間NOEC = 0.48 mg/L（環境庁生態影響試験，2000）であることから、区分3となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性があり(BODによる分解度：83%（既存点検，1994）)、魚類（メダカ）の96時間LC50 > 100 mg/L（環境庁生態影響試験，2000）より、区分外となる。 以上の結果を比較し、区分3とした。					平成26年度		2
P178	アルキル（C＝16～18、不飽和C＝16～18）脂肪酸のナトリウム塩	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	飽和脂肪酸（C＝8～18、直鎖型）のナトリウム塩又は不飽和脂肪酸（C＝16～18、直鎖型）のナトリウム塩		甲殻類												EC50			4.2	mg/L					平成28年12月27日		2
P178	アルキル（C＝16～18、不飽和C＝16～18）脂肪酸のナトリウム塩	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	飽和脂肪酸（C＝8～18、直鎖型）のナトリウム塩又は不飽和脂肪酸（C＝16～18、直鎖型）のナトリウム塩		甲殻類												NOEC			0.11	mg/L					平成28年12月27日		2
P178	アルキル（C＝16～18、不飽和C＝16～18）脂肪酸のナトリウム塩	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果		飽和脂肪酸（C=8～18）及び不飽和脂肪酸（C=16～18）のナトリウム塩	甲殻類	オオミジンコ								24時間			EC50			4.2	mg/L	区分2	甲殻類（オオミジンコ）の24時間EC50＝4.2 mg/L（IUCLID，2000）であることから、区分2とした。					平成25年度		2
P179	カリウム＝(Z)－オレアート	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	カリウム＝(Z)－オレアート		甲殻類												EC50			0.57	mg/L					平成26年11月28日		1
P179	カリウム＝(Z)－オレアート			カリウム＝(Z)－オレアート	甲殻類	オオミジンコ								48時間			EC50			0.57	mg/L	区分1	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50 = 0.57 mg/L（AQUIRE，2012）から区分1とした。					平成23年度		1
P179	脂肪酸（C＝8～18、不飽和C＝18）のカリウム塩	化審法スクリーニング評価-リスク評価結果	Fattyacids,C8-18and-C18-unsatd,potassiumsalts		魚類												EC50			9.19	mg/L					平成26年11月28日		2
P180	ホセチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fosetyl-Aluminum	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		EC50			7.24	PPM			C. Lewis(MPI)	1989	C	2
P180	ホセチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fosetyl-Aluminum	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		EC50			4.99	PPM			C. Lewis(MPI)	1989	C	2
P180	ホセチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fosetyl-Aluminum	藻類	Navicula pelliculosa				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		EC50			8.93	PPM			C. Lewis(MPI)	1989	C	2
P180	ホセチル	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Fosetyl-Aluminum	藻類	Skeletonema costatum				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				7	day		NOEL			0.33	PPM			C. Lewis(MPI)	1989	C	2

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	化管法クラス
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P180	ホセチル	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/338fosetyl_aluminium.pdf	ホセチルアルミニウム（ホセチル）	藻類	P. subcapitata		藻類生長阻害試験			0、1000、1800、3200、5600、10000	μg/L		168	hour	急性	ErC50	生長阻害		6900	μg/L	（95%信頼限界 6,540－7,320）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）	被験物質 原体 供試生物 P. subcapitata 初期生物量 0.3×10 4 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 168h 設定濃度（μg/L） （有効成分換算値） 0 1,000 1,800 3,200 5,600 10,000 実測濃度（μg/L） （0-168h 算術平均値、 有効成分換算値） 0 1,330 2,280 4,280 9,010 12,500 72hr 後生物量 （×10 4 cells/mL） 20.8 22.1 15.7 11.6 2.87 1.40 0-72hr 生長阻害率 （%） -1.4 6.8 15 47 64 助剤 なし ErC50（μg/L） 6,900（95%信頼限界 6,540－7,320）（設定濃度（有効成分換算値）に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として 環境大臣が定める基準の設定に関する資料 ホセチルアルミニウム（ホセチル）	平成29年	ばく露期間が総合評価で72h、水産動植物への毒性で168hとなっている。	2
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			16.8	PPB				T. Steeger（BAY）	2002	C	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen BSN 2060 SC 240 formulation	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			56.75	PPB				T. Steeger（BAY）	1999	C	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen BSN 2060 SC 240 formulation	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		LC50			72.7	PPB				T. Steeger（BAY）	1999	S	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				96	hour		NOEL			37.5	PPB				T. Steeger（BAY）	2002	C	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			14	PPB				T. Steeger（BAY）	2002	C	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			7.25	PPB				T. Steeger（BAY）	2002	C	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3（Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			46.3	PPB				T. Steeger（BAY）	2002	C	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen	魚類	Pimephales promelas				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			26.9	PPB				T. Steeger（BAY）	2002	C	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen	藻類	Lemna gibba				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				7	day		NOEL			101	PPB				T. Steeger（BAY）	2002	C	2
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen BSN 2060 SC 240 formulation	魚類	Lepomis macrochirus				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL			7.56	PPB				T. Steeger（BAY）	1999	C	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen BSN 2060 SC 240 formulation	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1（Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				96	hour		NOEL		<	7.9	PPB				T. Steeger（BAY）	1999	S	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen BSN 2060 SC 240 formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		NOEL			83	PPB				T. Steeger（BAY）	1999	S	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Spiromesifen	甲殻類	Daphnia magna				72-2（Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490)）				48	hour		NOEL			92.3	PPB				T. Steeger（BCA）	2000	S	1
P183	3ーメシチルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]ノナー3ーエンー4ーイル＝3, 3ージメチルブタノアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/s10_spiromesifen.pdf	スピロメシフェン	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、27、88、290、967、1740、3130、5640、10200	μg/L	（有効成分換算値）	96	hour	急性	LC50			1180	μg/L	95%信頼限界 860-1,500	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio）10 尾/群 暴露方法 半止水式（暴露開始 48 時間後に換水） 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） （有効成分換算値） 0 27 88 290 967 1,740 3,130 5,640 10,200 実測濃度（μg/L） （時間加重平均値） 0 20 75 234 795 1,160 1,860 2,670 4,370 死亡数/供試生物 数(96hr 後;尾) 0/10 0/10 0/10 0/10 0/10 9/10 6/10 10/10 10/10 助剤 DMF 0.1ml/L LC50（μg/L） 1,180 (95%信頼限界 860-1,500)(実測濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 スピロメシフェン	平成22年		2
P185	2ーメチルー3ー（pーイソプロピルフェニル）プロピオンアルデヒド	化審法スクリーニング評価結果		2ーメチルー3ー（pーイソプロピルフェニル）プロピオンアルデヒド	藻類											慢性	NOEC			0.72	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h29_03_02_b04.pdf		平成29年11月24日			2
P185	2ーメチルー3ー（pーイソプロピルフェニル）プロピオンアルデヒド	化審法スクリーニング評価結果		2ーメチルー3ー（pーイソプロピルフェニル）プロピオンアルデヒド	甲殻類											急性	E(L)C50			1.4	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h29_03_02_b04.pdf		平成29年11月24日			2
P186	メチル＝[2ークロロー5ー（(E)ー1ー[[(6ーメチルー2ーピリジル）メトキシ]イミノ]エチル）ベンジル]カルバマート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h27_pyribencarb.pdf	ピリベンカルブ	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			0、800、1200、1800、2700、4050	μg/L		96	hour	急性	LC50			2000	μg/L	設定濃度に基づく	被験物質 原体 供試生物 コイ（Cyprinus carpio）10 尾/群 暴露方法 止水式 暴露期間 96h 設定濃度（μg/L） （有効成分換算値） 0 800 1,200 1,800 2,700 4,050 実測濃度（μg/L） （暴露開始時 -暴露終了時） 0 790 -720 1,200 -1,130 1,800 -1,740 2,690 -2,540 4,030 -4,050 死亡数/供試生物数 (96hr 後;尾) 0/10 0/10 1/10 0/10 10/10 10/10 助剤 アセトン 0.1 ml/L LC50（μg/L） 2,000（設定濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ピリベンカルブ	平成21年		2
P186	メチル＝[2ークロロー5ー（(E)ー1ー[[(6ーメチルー2ーピリジル）メトキシ]イミノ]エチル）ベンジル]カルバマート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h27_pyribencarb.pdf	ピリベンカルブ	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			0、125、250、500、1000、2000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		600	μg/L	（95%信頼限界 510-700）（設定濃度に基づく）	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ（Daphnia magna）20 頭/群 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度（μg/L） （有効成分換算値） 0 125 250 500 1,000 2,000 実測濃度（μg/L） （暴露開始時 -暴露終了時） 0 117 -112 236 -232 475 -469 949 -944 1,990 -1,900 遊泳阻害数/供試生 物数(48hr 後;頭) 0/20 1/20 1/20 3/20 20/20 20/20 助剤 アセトン 0.1 ml/L EC50（μg/L） 600(95%信頼限界 510-700)（設定濃度に基づく）		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ピリベンカルブ	平成21年		1
P186	メチル＝[2ークロロー5ー（(E)ー1ー[[(6ーメチルー2ーピリジル）メトキシ]イミノ]エチル）ベンジル]カルバマート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h27_pyribencarb.pdf	ピリベンカルブ	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			0、200、500、1000、2270、5000	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		4600	μg/L	（95%信頼限界 3,700-6,300）（設定濃度に基づく）	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 初期生物量 1×104 cells/mL 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度（μg/L） （有効成分換算値） 0 200 500 1,000 2,270 5,000 実測濃度（μg/L） （暴露開始時 -暴露終了時） 0 206 -180 512 -455 993 -955 2,110 -1,940 4,980 -4,230 72hr 後生物量 （×104 cells/mL） 67.2 68.6 59.1 44.3 25.9 7.53 0-72hr 生長阻害 率（%） -2.27 3.44 11.8 23.9 54.7 助剤 なし ErC50（μg/L） 4,600(95%信頼限界 3,700-6,300)（設定濃度に基づく） NOECr（μg/L） 200(設定濃度に基づく)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ピリベンカルブ	平成21年		2
P187	ジデカー1ーイル（メチル）アミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ジデカー1ーイル（メチル）アミン		藻類												EC50			0.004	mg/L						平成24年7月27日	1
P187	ジデカー1ーイル（メチル）アミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ジデカー1ーイル（メチル）アミン		藻類												NOEC			0.002	mg/L						平成24年7月27日	1
P187	ジデカー1ーイル（メチル）アミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ジデカー1ーイル（メチル）アミン		甲殻類												EC50			0.024	mg/L						平成24年7月27日	1
P187	ジデカー1ーイル（メチル）アミン	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	ジデカー1ーイル（メチル）アミン		魚類												EC50			0.41	mg/L						平成24年7月27日	1
P188	メチル＝2ー（[[3ー（4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル）ウレイド]スルホニル]メチル）ベンゾアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Bensulfuron Methyl	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				122-2（Tier I Aquatic Plant Growth-single dose(FIFRA 158.540)）				5	day		EC50			800	PPB				C. Lewis（HRC）	1987	S	1
P188	メチル＝2ー（[[3ー（4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル）ウレイド]スルホニル]メチル）ベンゾアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Bensulfuron Methyl	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				5	day		EC50			18.4	PPB				C. Lewis（UCD）	1989	C	1
P188	メチル＝2ー（[[3ー（4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル）ウレイド]スルホニル]メチル）ベンゾアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Bensulfuron Methyl	藻類	Anabaena flos-aquae				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				5	day		EC50			118	PPB				C. Lewis（UCD）	1989	C	1
P188	メチル＝2ー（[[3ー（4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル）ウレイド]スルホニル]メチル）ベンゾアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Bensulfuron Methyl	藻類	Nitzschia palea				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				5	day		EC50			8.2	PPB				C. Lewis（UCD）	1989	C	1
P188	メチル＝2ー（[[3ー（4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル）ウレイド]スルホニル]メチル）ベンゾアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Bensulfuron Methyl	藻類	Lemna gibba				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				15	day		EC50			0.1	PPB				C. Lewis（UCD）	1989	C	1
P188	メチル＝2ー（[[3ー（4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル）ウレイド]スルホニル]メチル）ベンゾアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Bensulfuron Methyl	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				122-2（Tier I Aquatic Plant Growth-single dose(FIFRA 158.540)）				5	day		NOEL			400	PPB				C. Lewis（HRC）	1987	S	2
P188	メチル＝2ー（[[3ー（4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル）ウレイド]スルホニル]メチル）ベンゾアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Bensulfuron Methyl	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				5	day		NOEL			6.25	PPB				C. Lewis（UCD）	1989	C	1
P188	メチル＝2ー（[[3ー（4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル）ウレイド]スルホニル]メチル）ベンゾアート	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Bensulfuron Methyl	藻類	Lemna gibba				123-2（Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540)）				15	day		NOEL		<	3.12	PPB				C. Lewis（UCD）	1989	C	1

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報		情報源			試験方法											試験結果									文献		備考	
番号	化学物質名称	情報源		物質名称	試験動物			試験名		テストガイドライン／GLP	投与条件			試験期間		エンドポイント等			有害性データ				引用原文	信頼性ランク	文献	試験実施年		化管法クラス
			対象物質		栄養段階	生物種（学名）	生物種（和名）	試験名	その他試験情報		投与量	単位	備考	時間	単位	急性/慢性	エンドポイント	症状	不等号	毒性値	単位	備考						
P188	メチル＝2－({[3－(4，6－ジメトキシピリミジン－2－イル)ウレイド]スルホニル}メチル)ベンゾアート	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h23_bensulfuron-methyl.pdf	ベンスルフロンメチル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			10、20、40、80、160	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		56.6	μg/L	(95%信頼限界 48.2-67.4)(設定濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度(μg/L) 10、20、40、80、160 実測濃度(μg/L) 11-11、21-22、41-43、82-85、170-180(暴露開始時－暴露終了時) 助剤 なし ErC50(μg/L) 56.6(95%信頼限界 48.2-67.4)(設定濃度(有効成分換算値)に基 づく) NOECr(μg/L) 39 (設定濃度(有効成分換算値)に基づく) 異常な症状及び反応 報告書に情報なし		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ベンスルフロンメチル	平成21年		1
P189	メチル＝ドデカノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ドデカン酸メチル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.32	mg/L					H16		1
P189	メチル＝ドデカノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ドデカン酸メチル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	速度法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.04	mg/L					H16		1
P189	メチル＝ドデカノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ドデカン酸メチル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		EC50			0.18	mg/L					H16		1
P189	メチル＝ドデカノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ドデカン酸メチル	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験	面積法	OECDテストガイドライン201又は化審法テストガイドラインに準拠				72	時間		NOEC			0.04	mg/L					H16		1
P189	メチル＝ドデカノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ドデカン酸メチル	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ急性遊泳阻害試験		OECDテストガイドライン202又は化審法テストガイドラインに準拠				48	時間		EC50			0.23	mg/L					H16		1
P189	メチル＝ドデカノアート	環境省「化学物質の生態影響試験について」		ドデカン酸メチル	甲殻類	Daphnia magna		ミジンコ繁殖試験		OECDテストガイドライン211に準拠				21	日		NOEC			0.081	mg/L					H16		1
P189	メチル＝ドデカノアート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	メチル＝ドデカノアート		藻類												EC50			0.324	mg/L						平成27年11月26日	1
P189	メチル＝ドデカノアート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	メチル＝ドデカノアート		藻類												NOEC			0.0396	mg/L						平成27年11月26日	1
P189	メチル＝ドデカノアート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	メチル＝ドデカノアート		甲殻類												EC50			0.225	mg/L						平成27年11月26日	1
P189	メチル＝ドデカノアート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	メチル＝ドデカノアート		甲殻類												NOEC			0.0814	mg/L						平成27年11月26日	1
P189	メチル＝ドデカノアート			メチル=ドデカノアート	甲殻類	オオミジンコ								48時間			EC50			0.23	mg/L	区分1	甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50 = 0.23 mg/L(環境省生態影響試験, 2004)等より、区分1とした。				平成23年度	1
P189	メチル＝ドデカノアート			メチル＝ドデカノアート	藻類	ﾑﾚﾐｶｽﾞｷﾓ								72時間			EC50			0.017	mg/L	区分1	藻類(ﾑﾚﾐｶｽﾞｷﾓ)72時間EC50(生長速度) = 0.017 mg/L(OECD SIDS: 2013)であることから、区分1とした。				平成30年度	1
P189	メチル＝ドデカノアート			メチル=ドデカノアート	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata								72時間			NOEC			0.04	mg/L	区分2	急速分解性があり(BODによる分解度：78%(既存点検, 2004))、藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)の72時間NOEC＝0.040mg/L、甲殻類(オオミジンコ)の21日間NOEC＝0.081 mg/Lである(環境省生態影響試験, 2004)ことから、区分2となる。				平成23年度	1
P189	メチル＝ドデカノアート			メチル＝ドデカノアート	藻類	ﾑﾚﾐｶﾂﾞｷﾓ								72時間			NOEC			0.003	mg/L	区分1	急速分解性があり(良分解性、BODによる平均分解度: 78% (化審法DB: 1995))、藻類(ﾑﾚﾐｶﾂﾞｷﾓ)の72時間NOEC(生長速度)= 0.003 mg/L(OECD SIDS: 2013)であることから、区分1とした。				平成30年度	1
P190	1－メチル－2－ニトロ－3－[(3－テトラヒドロフリル)メチル]グアニジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/350dinotefuran_1.pdf	ジノテフラン	甲殻類	Chironomus yoshimatsui	セスジユスリカ	ユスリカ幼虫急性遊泳阻害試験						48	hour	急性	EC50			36	μg/L							1
P190	1－メチル－2－ニトロ－3－[(3－テトラヒドロフリル)メチル]グアニジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/350dinotefuran_1.pdf	ジノテフラン	甲殻類	Hyalella azteca	ヨコエビ属の一種	ヨコエビ急性毒性試験						96	hour	急性	LC50			1100	μg/L							2
P190	1－メチル－2－ニトロ－3－[(3－テトラヒドロフリル)メチル]グアニジン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/350dinotefuran_1.pdf	ジノテフラン	甲殻類	Neocaridina denticulata	ミナミヌマエビ	ヌマエビ・ヌカエビ急性毒性試験						96	hour	急性	LC50			2300	μg/L							2
P191	メチル＝2－ヒドロキシベンゾアート	化審法スクリーニング評価結果		メチル＝2－ヒドロキシベンゾアート	藻類											慢性	NOEC			0.79	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2
P191	メチル＝2－ヒドロキシベンゾアート	化審法スクリーニング評価結果		メチル＝2－ヒドロキシベンゾアート	藻類											急性	E(L)C50			1.6	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2
P193	2－メチルプロパン－2－チオール	化審法スクリーニング評価結果		2－メチルプロパン－2－チオール	甲殻類											急性	E(L)C50			6.7	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h29_03_02_b04.pdf		平成29年11月24日			2
P194	メチル＝1H－ベンゾイミダゾール－2－イルカルバマート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カルベンダジム (別名メチル＝ベンゾイミダゾール－2－イルカルバマート)		甲殻類												EC50			0.35	mg/L						平成30年11月16日	1
P194	メチル＝1H－ベンゾイミダゾール－2－イルカルバマート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カルベンダジム (別名メチル＝ベンゾイミダゾール－2－イルカルバマート)		甲殻類												NOEC			0.0066	mg/L						平成30年11月16日	1
P194	メチル＝1H－ベンゾイミダゾール－2－イルカルバマート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カルベンダジム (別名メチル＝ベンゾイミダゾール－2－イルカルバマート)		魚類												EC50			0.41	mg/L						平成30年11月16日	1
P194	メチル＝1H－ベンゾイミダゾール－2－イルカルバマート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	カルベンダジム (別名メチル＝ベンゾイミダゾール－2－イルカルバマート)		魚類												NOEC			0.034	mg/L						平成30年11月16日	1
P195	メチル(2－ペンチル－3－オキソ－シクロペンチル)アセテート	化審法スクリーニング評価結果		メチル(2－ペンチル－3－オキソ－シクロペンチル)アセテート	甲殻類											慢性	NOEC			0.79	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2
P195	メチル(2－ペンチル－3－オキソ－シクロペンチル)アセテート	化審法スクリーニング評価結果		メチル(2－ペンチル－3－オキソ－シクロペンチル)アセテート	甲殻類											急性	E(L)C50			8.25	mg/L		http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11223892/www.meti.go.jp/shingikai/kagakubusshitsu/anzen_taisaku/pdf/h26_02_04_b02.pdf		平成26年11月28日			2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			386	PPB				C. Wendel(WLI)	2007	C	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	魚類	Cyprinus carpio				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			572	PPB				C. Wendel(KRL)	2005	S	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	魚類	Pimephales promelas				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			290	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	C	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 753-T-DO metabolite	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			5004	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			2531	PPB				C. Wendel(KRL)	2005	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				72	hour		EC50			2200	PPB				C. Wendel(KRL)	2005	S	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		EC50			1600	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	藻類	Skeletonema costatum				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		EC50			1200	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 EC formulation	魚類	Pimephales promelas				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			1506	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 EC formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			5841	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad PCA Metabolite	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		EC50			83	PPB				C. Wendel(RCS)	2008	C	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 753-T-DO metabolite	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		EC50			1800	PPB				C. Wendel(WLI)	2008	S	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3(Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			1381	PPB				C. Wendel(WLI)	2007	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad/Chlorothalonil DPX-QFA61 Mixture	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			202	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad/Chlorothalonil DPX-QFA61 Mixture	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			219.5	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad/Chlorothalonil DPX-QFA61 Mixture	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				72	hour		EC50			840	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC formulation	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		LC50			356	PPB				C. Wendel(WLI)	2008	C	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			289.6	PPB				C. Wendel(WLI)	2007	C	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		EC50			758	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	1
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC formulation	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				72	hour		EC50			6757	PPB				C. Wendel(WLI)	2008	S	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			146	PPB				C. Wendel(WLI)	2007	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	魚類	Cyprinus carpio				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			274	PPB				C. Wendel(KRL)	2005	S	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	魚類	Pimephales promelas				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			203	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			835	PPB				C. Wendel(KRL)	2005	C	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 753-T-DO metabolite	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			979	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－[2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル]－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				72	hour		NOEL			450	PPB				C. Wendel(KRL)	2005	S	2

■生態毒性
※第2回合同会合からの修正箇所は黄色網掛け

物質情報 番号	化学物質名称	情報源 情報源	対象物質	物質名称	試験方法 試験動物 栄養段階	生物種(学名)	生物種(和名)	試験名 試験名	その他試験情報	テストガイドライン／GLP	投与条件 投与量	単位	備考	試験期間 時間	単位	試験結果 エンドポイント等 急性/慢性	エンドポイント	症状	有害性データ 不等号	毒性値	単位	備考	引用原文	信頼性ランク	文献 文献	試験実施年	備考	化管法クラス
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		NOEL			938	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	C	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	藻類	Skeletonema costatum				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		NOEL			417	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	C	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad PCA Metabolite	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		NOEL			24.8	PPB				C. Wendel(RCS)	2008	C	1
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 753-T-DO metabolite	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				96	hour		NOEL		<	459	PPB				C. Wendel(WLI)	2008	S	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad	魚類	Cyprinodon variegatus				72-3(Estuarine/ Marine Fish, Shellfish, Shrimp Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			630	PPB				C. Wendel(WLI)	2007	C	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad/Chlorothalonil DPX-QFA61 Mixture	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			110	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad/Chlorothalonil DPX-QFA61 Mixture	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			140	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad/Chlorothalonil DPX-QFA61 Mixture	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata				123-2(Tier II Aquatic Plant Growth-multi-dose(FIFRA 158.540))				72	hour		NOEL			510	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC formulation	魚類	Oncorhynchus mykiss				72-1(Freshwater Fish Acute-warm and coldwater species with TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				96	hour		NOEL			190	PPB				C. Wendel(WLI)	2008	C	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL			63	PPB				C. Wendel(WLI)	2007	C	1
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL		<	630	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC MTF-753 formulation	甲殻類	Daphnia magna				72-2(Freshwater Invertebrate Acute using TGAI or TEP (FIFRA 158.490))				48	hour		NOEL		<	630	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC formulation	甲殻類	Daphnia magna				N.G.				48	hour		NOEL			107	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	EPA Pesticide Ecotoxicity Database		Penthiopyrad 20 SC MTF-753 formulation	甲殻類	Daphnia magna				N.G.				48	hour		NOEL		<	107	PPB				C. Wendel(WLI)	2009	S	2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h04_penthiopyrad.pdf	ペンチオピラド	魚類	Cyprinus carpio	コイ	魚類急性毒性試験			96.8、296、444、667、1000	μg/L	(有効成分換算値)	96	hour	急性	LC50			568	μg/L	(95%信頼限界 444-667)(設定濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 コイ(Cyprinus carpio) 暴露方法 流水式 暴露期間 96h 設定濃度(μg/L) 98.8、296、444、667、1,000(有効成分換算値) 実測濃度(μg/L) 96.9、274、434、685、1,010 助剤 DMF 0.100mL/L LC50(μg/L) 568(95%信頼限界 444-667)(設定濃度(有効成分換算値)に基づ く) NOEC(μg/L) 296(設定濃度(有効成分換算値)に基づく) 異常な症状及び反応 表層集中、完全平衡喪失、嗜眠状態、軽度平衡喪失及び活動度 の低下(667μg/L 以上群)、出血(444μg/L-667μg/L 群)(いずれも設定濃度(有効成分換算値)に基づく) 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ペンチオピラド	平成19年		1
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h04_penthiopyrad.pdf	ペンチオピラド	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			525, 839, 1340, 2150, 3440, 4890	μg/L	(有効成分換算値)	48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		2530	μg/L	(95%信頼限界 2,260-2,830)(設定濃度(有効成分換算値)に基づく)	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ(Daphnia magna) 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度(μg/L) 525、839、1,340、2,150、3,440、4,890(公比 1.6)(有効成分換 算値) 実測濃度(μg/L) 530、835、1,320、2,160、3,410、4,890 助剤 なし EC50(μg/L) 2,530(95%信頼限界 2,260-2,830)(設定濃度(有効成分換算値) に基づく) NOEC(μg/L) 839(設定濃度(有効成分換算値)に基づく) 異常な症状及び反応 活動度の低下(1,340μg/L 以上群)、嗜眠状態(2,150μg/L 以上 群)(いずれも設定濃度(有効成分換算値)に基づく) 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ペンチオピラド	平成19年		2
P196	1－メチル－N－［2－(4－メチルペンタン－2－イル)－3－チエニル］－3－(トリフルオロメチル)－1H－ピラゾール－4－カルボキサミド	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h04_penthiopyrad.pdf	ペンチオピラド	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			4.27、9.39、20.7、45.5、100	μg/L	(飽和濃度比)	72	hour	急性	EbC50	生長阻害		2210	μg/L	95%信頼限界 1,290-3,810	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養法 暴露期間 72 h 設定濃度(%) 4.27、9.39、20.7、45.5、100(飽和濃度比)(公比 2.2) 実測濃度(μg/L) 199 、449、960、2,090、4,020 助剤 なし EbC50(μg/L) 2,210 (95%信頼限界 1,290-3,810)(実測濃度に基づく) ErC50(μg/L) >4,020 (実測濃度に基づく) NOECb(μg/L) 449 (実測濃度に基づく) NOECr(μg/L) 960 (実測濃度に基づく) 異常な症状及び反応 やや膨張している細胞が多数(4,020μg/L 群)、やや膨張している 細胞がやや多く(2,090μg/L 群)存在。(いずれも実測濃度に基づ く) 備考		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 ペンチオピラド	平成19年		2
P197	m－アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h23-01/pdf/chpt1/1-2-2-13.pdf	3-メトキシアニリン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata					0、1.0、1.7、3.1、5.6、10.0	mg/L		3	day	急性	EC50	growth		10000	μg/L			2	環境庁(1991):OECD 高生産量化学物質生態影響検討調査(平成 2 年度環境保全総合調査促進調整費による報告書)		信頼性B:試験は条件付きで信頼できる	2
P197	m－アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h23-01/pdf/chpt1/1-2-2-13.pdf	3-メトキシアニリン	甲殻類	Daphnia magna								21	day	慢性	NOEC	reproduction		28	μg/L			2	環境庁(1991):OECD 高生産量化学物質生態影響検討調査(平成 2 年度環境保全総合調査促進調整費による報告書)		信頼性B:試験は条件付きで信頼できる	1
P197	m－アニシジン	環境省「化学物質の環境リスク評価」	http://www.env.go.jp/chemi/report/h23-01/pdf/chpt1/1-2-2-13.pdf	3-メトキシアニリン	甲殻類	Daphnia magna			試験用水:オランダ標準水(DSW:硬度 1～2mmol/L)	OECD 提案の試験方法(1979)				2	day	急性	EC50	immobilization		110	μg/L			2	U.S.EPA「AQUIRE」 Canton, J.H., W. Slooff, H.J. Kool, J. Struys, Th.J.M. Pouw, R.C.C. Wegman, and G.J. Piet (1985): Toxicity, Biodegradability and Accumulation of a Number of Cl/N-Containing Compounds for Classification and Establishing Water Quality Criteria. Regul.Toxicol.Pharmacol. 5:123-131.		信頼性B:試験は条件付きで信頼できる	1
P201	メトミノストロビン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/m07_metominostrobin.pdf	メトミノストロビン	甲殻類	Daphnia magna	オオミジンコ	ミジンコ類急性遊泳阻害試験			2000, 3600, 6300, 11000, 20000	μg/L		48	hour	急性	EC50	遊泳阻害		4860	μg/L	(95%信頼限界 4,210-5,610)(設定濃度に基づく有効成分換算値)	被験物質 原体 供試生物 オオミジンコ(Daphnia magna) 暴露方法 止水式 暴露期間 48h 設定濃度(μg/L) 2,000、3,600、6,300、11,000、20,000 実測濃度(μg/L) 2,040、3,610、6,270、11,000、20,200 助剤 DMSO 0.1ml/L EC50(μg/L) 4,860 (95%信頼限界 4,210-5,610)(設定濃度に基づく有効成 分換算値)		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 メトミノストロビン	平成21年		2
P201	メトミノストロビン	水産動植物の被害防止に係る農薬登録基準	http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/m07_metominostrobin.pdf	メトミノストロビン	藻類	Pseudokirchneriella subcapitata		藻類生長阻害試験			100, 220, 480, 1000, 2300, 5000	μg/L		72	hour	急性	ErC50	生長阻害		4080	μg/L	(95%信頼限界 1,470-11,300)(実測濃度に基づく有効成分換算値)	被験物質 原体 供試生物 Pseudokirchneriella subcapitata 暴露方法 振とう培養 暴露期間 72 h 設定濃度(μg/L) 100、220、480、1,000、2,300、5,000 実測濃度(μg/L) 79、175、383、812、1,850、4,050(被験物質濃度) 助剤 DMF 25mg/L ErC50(μg/L) 4,080 (95%信頼限界 1,470-11,300)(実測濃度に基づく有効成分 換算値) NOECr(μg/L) 219.4 (24-72h)(設定濃度に基づく有効成分換算値) 異常な症状及び反応 観察の結果、異常な症状は見られなかった。		水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料 メトミノストロビン	平成21年		2
P203	クロロアルカン(C＝14～17)	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	alkanes,C14_17chloro-		甲殻類												EC50			0.0059	mg/L						平成28年10月28日	1
P203	クロロアルカン(C＝14～17)	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	alkanes,C14_17chloro-		甲殻類												NOEC			0.004	mg/L						平成28年10月28日	1
P204	モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム	政府GHS分類結果		モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム	魚類		ブルーギル									急性	E(L)C50			0.175	mg/L	区分1	魚類(ブルーギル)でのLC50=0.175mg/L(測定値)(IUCLID 2000)から、区分1とした。		IUCLID 2000			1
P206	ジメチル＝スルファート	化審法スクリーニング評価・リスク評価結果	硫酸ジメチル		魚類												EC50			8.3	mg/L						平成27年11月26日	2
P207	りん酸ジ-n-ブチル=フェニル			りん酸ジ-ノルマル-ブチル=フェニル	甲殻類	オオミジンコ								48時間			LC50			0.26	mg/L	区分1	甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50=0.26mg/L(ECETOC TR91、2003)から、区分1とした。				平成18年度	1